はじめに

職業教育の重要性が、近年、強調されています。世界に目を向けると、欧米はじめ世界各国が、高等職業教育の改革に積極的に取り組んでいます。さらに、わが国では、少子高齢化が進み生産年齢人口が減少し、人生 100 年時代を迎えている中、リカレント教育のニーズが高まり、多様な視点に立った専門職高等教育改革が求められています。この改革を進めるには、これからの専門職高等教育に求められる三つの要素に配慮しなければなりません。

- ① 多様性 (diversity)
 - 多様な社会のニーズに対応できる多様で柔軟な教育プログラムによって学修を進めることを可能 とする。
- ② 流動性 (mobility) 国際間、教育セクター間における人材や教育材の移動を円滑に進めることを可能とする。
- ③ 生産性 (productivity)
 定期間で最大の学修成果があがるとともに、学修に関する情報について、効率的に入手することを可能とする。

当機構では以上の認識を基礎として、本年度三つの文部科学省委託事業を提案し、採択されました。

A FD・SD 事業「職業実践専門課程の質保証・向上につながる専修学校教職員資質能力向上プログラム開発」

専門学校の教職員を対象として、多様な学生を対象とした生産性の高い教育を進めるために必要な知識・技能を研修するためのプログラムの構築と実践に取り組んでいます。

- B コンピテンシー事業「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」 学修成果の可視化を実現するためのコンピテンシー体系を構築し、プログラムの質保証・向上を 通じて、国際間、教育セクター間における人材・教育材の流動性を高める研究に取り組んでいます。
- C ポートレート事業「職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義」 利用者目線に沿って、学修に必要な情報を効率的に入手することができ、かつ、職業教育の国際 通用性にも配慮したデータベースシステムの開発に取り組んでいます。

本書は、以上のうち、平成30年度におけるC(ポートレート事業)の成果をまとめたものです。本年度は、「職業実践専門課程の基本情報」をデータベース上で編集・閲覧することを可能にする「ポートレートシステム」のプロトタイプを開発し、学校側と利用者側のご意見を聴取することを通じて、同システムの要件定義に取り組みました。本報告書では、それらの全容を紹介いたします。

なお、本プログラムの開発にあたっては、当機構の会員校を中心とした 16 の専門学校・専門職大学 院の実施協力を得ました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

> 平成31年3月 一般社団法人専門職高等教育質保証機構 ポートレート事業 実施委員会 委員長 川口 昭彦

目次

1	 本事	「業の概要	1
	1.1 目	的と概要	. 1
	1.2 背	景	. 1
	А	問題意識と経緯	1
	В	職業実践専門課程に関する情報公開への期待	
	С	NICとの連携の必要性	
	_		
	1.3 実	施内容	. 5
	1	要件定義	. 5
	2	プロトタイプ作成	
	3	試用と意見聴取	. 7
	平成	₹31年度事業の予定	. 7
2	2 要件	- 定義	9
	2.1 要	件定義の位置づけ	. 9
	22 亜	件定義の構成	10
	2.2 安	厂及我切情况	10
3	3 プロ	I トタイプ作成 1	1
	3.1 画	面 (メニュー) 体系	11
	3.2 テ	ーブル設計	18
	3.3 UN	ИL	25
4	▮意見		5
	, , 		
	4.1 意	見聴取の方法	35

4.2	2 意見聴取の結果	38
•	付録	48
Α	要件定義書	48
В	ポートレート入力操作説明書	143
С	ポートレート検索操作説明書	179
D	意見聴取フォーム	187

ポートレート事業 実施委員会名簿

氏名(敬称略)	所属・職名					
川口 昭彦	一般社団法人専門職高等教育質保証機構代表理事					
山中 祥弘	学校法人メイ・ウシヤマ学園理事長					
岡本比呂志	学校法人中央情報学園理事長					
小林 浩	リクルート進学総研所長					
	東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授					
野田 文香	大学改革支援・学位授与機構客員准教授					

実施協力校

ハリウッド大学院大学
早稲田文理専門学校
ハリウッド美容専門学校
星槎大学大学院教育実践研究科
高崎動物専門学校
中央情報専門学校
アリアーレビューティー専門学校
ECC国際外語専門学校
ECC コンピュータ専門学校
ECC アーティスト美容専門学校
修成建設専門学校
奈良歯科衛生士専門学校
朝日医療大学校
専門学校岡山情報ビジネス学院
松江理容美容専門大学校
四国医療専門学校

1 本事業の概要

1.1 目的と概要

専修学校職業実践専門課程制度は、「情報公開」を認定要件の要素としたことにより、専修学校の情報公開を一歩後押しした。しかし、本制度では公開の「様式」が定められているものの、情報の管理・提供方法が学校に任されているため、ステークホルダーから見た利便性が高いとはいえない。本事業の目的は、大学等において一般的になりつつある「大学ポートレートシステム」なども参照しながら、利用側・学校側双方にとって有用で、職業実践専門課程制度の趣旨に叶った情報システムのあり方を研究することである。

本事業では上記の目的を達成するために、専修学校職業実践専門課程の情報公開・提供に対するニーズを満たす情報システム(仮称「ポートレートシステム」)を開発する。このシステムは2年をかけて開発し、2019年度終了時点から、自立したシステムとして一般公開する。本年度は、ポートレートシステムのプロトタイプを開発して利用者側・学校側による試用を行い、その意見聴取結果をもとにしたシステムの要件定義を行う。

1.2 背景

A 問題意識と経緯

現状では、職業実践専門課程に求められている情報公開・提供の「様式」は表計算ソフトのファイルである。したがって、情報公開・提供の形は、認定校が編集したファイルをPDF形式にしてホームページにアップロードしたり、行政機関に対してメールの添付ファイルとして提供したりする方法にならざるを得ない。そのため、一般市民、高校生、保護者、行政機関などの利用者から見た場合、次のような問題が生じている。

- ① ホームページに公開する場所は学校の判断に委ねられているため、検索が容易でない。
- ② 公開される情報が、年度ごと・課程ごとに一つのファイル形式であるため、課程間比較、時系列比較がしにくい。
- ③ ほとんどの場合公開される情報がPDF形式であるため、数値としての活用がしにくい。
- ④ 様式は決まっているが、自由度の高い項目が多く、学校間の統一感に乏しい。

このような問題は、大学等の場合も同様であった。2004 年度に認証評価制度が開始され、大学等の情報公開に対する姿勢が変化し、その後の10余年で、ホームページ等の上に公開される情報の量は飛躍的に増加した。しかし、公開のしかたに関する統一的ルールは存在せず、情報の利用者にとっては、前記同様の問題が生じていた。この問題を解決する

ために、文部科学省では「大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する協力者会議」の中で議論を重ね、その結果を 2011 年 8 月に公示された「大学における教育情報の活用・公表に関する中間まとめ」」として公表し、その中で「データベースを用いた教育情報の活用・公表のための共通的な仕組みの構築」が提言された。その後、2012 年 2 月から 2014 年 2 月にかけて、「大学ポートレート(仮称)準備委員会」での検討が進み、2014 年 7 月、独立行政法人大学評価・学位授与機構に大学ポートレート運営会議および同センターが設置された。その後、2014 年 10 月に、「大学ポートレート²」として Web サイトを通じた大学の教育情報の提供が開始され、現在に至っている。それから 3 年以上が経過している今、大学等が公開する情報の概要を知るためのポータルサイトとしての存在感を増しつつある。

B 職業実践専門課程に関する情報公開への期待

職業実践専門課程認定制度は、「企業等との密接な連携のもとで、教育課程の編成や実習・演習の実施、教員研修の実施、学校関係者評価及び情報公開を実施することにより、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専修学校の専門課程を文部科学大臣が認定する制度」として、平成25年にスタートした。制度発足当初から、認定校による積極的な「情報公開」が期待され、多くの認定校が「情報公開」専用のページを作成し、そのニーズに応えてきた。

しかし、まだ「情報公開」に対して消極的な認定校もあることから、平成 29 年 3 月 28 日に発行された「これからの専修学校教育の振興のあり方について (報告)」では、

「専修学校は全般的にみれば、<u>学校評価の実施・公表状況は芳しくなく</u>、また、<u>情報公開等も必ずしも進んでおらず</u>、専修学校の取組が外からは見えづらいとの指摘がある。³」とされ、さらに、「職業実践専門課程の今後の在り方」に関する短期的な課題として、次のような指摘がなされた。

「情報公開は、職業実践専門課程の質保証・向上において、肝となる取組であり、すみやかに対応すべき課題として位置づけられる。職業実践専門課程については、認定後に公表すべき項目等について、実施要項により様式が定められているが、職業実践専門課程制度の信頼性を一層高めていくこと、及び専門学校による情報公開内容が十分ではないという高校現場等による指摘を踏まえると、情報公開すべき内容については、項目内容・記載方

https://portraits.niad.ac.jp/

大学ポートレート誕生の経緯、利用方法等の詳細情報もホームページから閲覧できる。

¹ 文部科学省ホームページの中の下記のページに詳細が掲載されている。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/44/toushin/1310842.htm

² 大学ポートレートのホームページは下記の URL にある。

 $^{^3}$ 文部科学省、「これからの専修学校教育の振興のあり方について(報告)」、平成 29 年 3 月 28 日、 \mathbf{P}_{26}

 $[\]underline{http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2017/03/29/1383830_2.}$ \underline{pdf}

法の統一や最新情報への定期的な更新も含め、情報公開としてより効果・意味をもつような方法について検討を行い、実施する必要があるとともに、認定後の情報公開の義務付け根拠規定を、告示に位置づけることが適当である。」

以上見たとおり、職業実践専門課程に関しては、情報公開に消極的な学校に対する情報 公開へのプレッシャーがますます高まり、積極的な学校に対しても、「更なる」公開へのプ レッシャーが高まると予想できる。

さらに、文部科学省では、平成30年11月26日に、中教審答申として「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン4」を発表した。その中では、学修者本位の教育への転換が叫ばれ、「学修成果の可視化と情報公表の促進」が大きく取り上げられている。

本事業で研究する「ポートレートシステム」は、上記記述の中にある「項目内容・記載 方法の統一や最新情報への定期的な更新も含め、情報公開としてより効果・意味をもつよ うな方法」の一つであるといえる。

C NICとの連携の必要性

一方、海外に目を転じると、ここへ来てわが国では、「外国資格認証(FCE、Foreign Credential Evaluation)」に係る情報システムの役割が急激にクローズアップされてきた。 FCE はもともと、国家間の人材流動性の必要性が高く、かつ、活発なヨーロッパを中心に 研究・実践されてきた。わが国はもともと国家間の人材流動化に対するニーズは大きくな かったが、グローバル化の波と、少子高齢化に起因した外国人労働者の受入ニーズが高まるとともに、FCE に対する関心を高めざるを得ない国情になったきたともいえる。

FCE を推進するヨーロッパを中心とした枠組みは、1997年に発効した「リスボン条約 (Lisbon Recognition Convention)」である。2018年時点で、EU以外の国(アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランドなど)も含めた55か国が批准している。同種の地域条約は、世界的に見て6つあり、ヨーロッパ以外は、アジア・太平洋地域、ラテンアメリカ地域、アフリカ地域、地中海地域、アラブ諸国である。現時点ではみな地域条約であるが、いずれ、ユネスコの下、世界条約を実現することが国際的な流れになっている。

6 つの地域条約のうち、アジア・太平洋地域における現在の地域条約は、1983 年に締結されたアジア地域条約を 2011 年に改訂したもので、一般に「東京規約 (Tokyo Recognition Convention)」と呼ばれている5。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/index.htm

⁴ 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/11/1411368.htm

⁵ 文部科学省ホームページ「高等教育の国際的な動向」ページ

の中に、ユネスコ「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約」(通称:東京規約)を説明 する箇所があり、その中の

[「]高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約(和文テキスト (訳文))」を見ると、東京規約の全文を見ることができる。

高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約(通称:東京規約)

平成29年12月6日締結 平成30年 2月1日発効

背 景

- ▶ 1983年:ユネスコの下で前身の規約を採択。職業資格を含む等の問題点があったため、2007年以降、我が国が主導して新たな規約案を審議。
- ▶ 2011年11月:ユネスコの下, 東京において本規約を採択。

目 的

▶ 締約国間で<u>高等教育の資格の相互承認</u>等を行うことにより、学生及び学者の 移動を容易にし、アジア太平洋地域における高等教育の質を改善する。

主な内容

- ◆ 締約国は、資格の評定・承認の手続及び基準が公正かつ差別的でないものであることを確保する。(第3章)
- ◆ 締約国は、資格の内容に実質的な相違がない限り、下記①~③について、他の締約国が付与した高等教育の資格(含:オンライン学習等による資格)を承認又は評定する。
- ①高等教育課程を受講するための要件(入学資格等)(第4章)
- ②部分的な修学(単位等)(第5章)
- ③高等教育の資格(学位等)(第6章)
- ◆ 各国は<u>国内情報センターを設立</u>し、情報を交換する。(第8章)

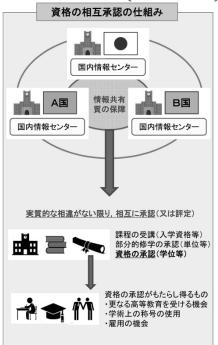


図 1 東京規約の概要6

東京規約を批准したのは、2年ほど前まで、中国、オーストラリア、ニュージーランドの 3 か国のみであったが、日本と韓国が 2017年 12 月 5 日に批准し、そのことにより発効条件(5 か国以上の批准)を満たしたため、東京規約は条約として発効している。

東京規約の目的は、「高等教育の資格の承認が、学生及び学者の国際的な移動を容易にすることを確信し、アジア太平洋において経済的、社会的、文化的及び技術的な発展を容易にし、並びに平和を促進すること」である(前文より)。

そして、情報システムの観点から重要なポイントは、同規約の第8章「評定事項及び認定事項並びに承認事項に関する情報」である。以下、第8章の1~4の全文を掲載する。

表 1 東京規約の第8章

⁶ 文部科学省ホームページ「高等教育の国際的な動向」ページの「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約 (概要)」の PDF を引用。

 $http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/02/09/1399127_001.pdf$

8-1

各締約国は、自国の高等教育制度に属する教育機関によって付与された資格の質が承認が求められている締約国における承認を正当化するものであるか否かについて、他の締約国の権限のある承認当局が確認することができるようにするため、これらの<u>教育機関及び自国の質の保証の制度に関する適切</u>な情報を提供する。この情報には、次のものを含める。

- (a) 自国の高等教育制度に関する説明
- (b) 自国の高等教育制度に属する各種の高等教育機関の概要及び各種の高等教育機関の典型的な特徴の概要
- (c) 自国の高等教育制度に属する承認され、又は認定された高等教育機関(公立及び私立)の一覧であって、各種の資格を付与するこれらの高等教育機関の権限並びに各種の高等教育機関に入学し、及び各種の課程を受講するための要件を示すもの
- (d) 質の保証の仕組みに関する説明
- (e) 自国の教育制度に属すると認める自国の領域外に所在する教育機関の一覧

8-2

各締約国は、高等教育の資格の承認を容易にするため、次のことにより、関連する情報で正確な、かつ、最新のものを提供する。

- (a) 自国の高等教育制度及び資格に関する信頼すべき、かつ、正確な情報の入手を容易にすること。
- (b) 他の締約国の高等教育制度及び資格に関する情報の入手を容易にすること。
- (c) 自国の法令に従い、承認事項及び資格の評定に関する助言又は情報を提供すること。

8-3

各締約国は、高等教育に関する情報を提供する<u>国内情報センターの設立及び維持</u>のための適切な措置をとる。各締約国の国内情報センターの形態は、異なり得る。

8-4

締約国は、自国の<u>国内情報センターを通じて又は他の方法により、次の文書の利用を促進</u>する。

- (a) ユネスコ修了証書補足文書又は他の同等の資格の補足文書
- (b) 国境を越える高等教育の質の保証に関するユネスコ及び経済協力開発機構の指針又は自国の各高等教育機関が自国の法令に従って作成する同等の文書

第8章はそのまま、国内情報センター(NIC、National Information Center)が持つべき要件定義書のような存在である。現在、わが国には、専門学校も含めた高等教育機関の基本的な属性を一般に利用できる公的なデータベースシステムは存在しない。本事業で研究する「ポートレートシステム」は「大学ポートレートシステム」同様、NICに欠かせない機能を提供する可能性がある。本事業はそのことも強く意識した事業である。

1.3 実施内容

① 要件定義

一般的なシステム開発の流れは図 2のようなものである。



図 2 一般的なシステム開発の流れ

この流れを1回で済ます「ウォーターフォールモデル」は、最も効率的な開発モデルであるが、後戻りしにくいという欠点があり、各プロセスにおける作業品質が安定していることが成立する条件である。

「ポートレートシステム」の開発についても、基本はこのプロセスにしたがって実施することが筋である。要件を明確に定義することは、一つの大きなシステムを開発する上で欠かせないプロセスだからである。しかし、一つの文部科学省委託事業として、2年間で完成を目指すのに、1年目で通常の「要件定義」プロセスをひたすら進めるのは、1年目のプロセスとしては冗長であり、専門家でないとその成果を評価できないという、一般に受け入れがたい方法である。

そこで、本事業では若干変則的ではあるが、1年目は要件定義を主目的とするものの、 仮の要件定義をもとにシステムを設計してプロトタイプを開発・実装してテストを行い、 実際に、ユーザーの操作を経た意見聴取を行い、その全体のプロセスの中で、要件定義を 確定させるという方法を考えた。

この開発モデルが成立するのは、「ポートレートシステム」の目的は、「職業実践専門課程の基本情報」を共有するデータベースアプリケーションの開発であるということが明確であり、しかも、その「基本情報」は国がディジタルの形で、決まったフォームで、一定のルールにしたがって公開するルールが存在するからである。

すなわち、「基本情報」のフォームからテーブル設計は可能であり、学校側が情報の編集を行うメニューを用意し、利用者側が目的に応じた検索を行って惜しい情報にたどり着くという流れが明確な状況にある。

そこで、「やらなければならないこと」でプロトタイプを開発しながら、要件を固めていくというプロセスを踏むことを構想した。また、そのプロトタイプを用いた試用を行うことで問題点や課題が明らかになり、それらを踏まえた要件定義の修正を行うことで、1年目の成果とすることにした(図 3)。

このような方法をとった結果、現状は、

- 要件定義書がある。
- ・プロトタイプそのものと、それを開発する過程で残された各種の設計書が存在する。

という状況にある。

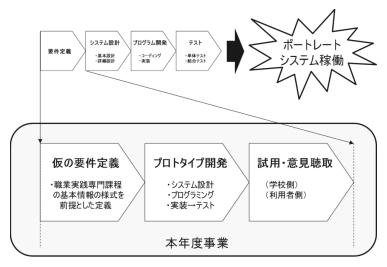


図 3 一般的なウォーターフォールモデルと本年度事業の関係

② プロトタイプ作成

図 3 における「仮の要件定義」の内容の大部分は、現行の職業実践専門課程認定制度の中で機能させるべき「情報公開要件」そのものであり、中でも、公開すべき「職業実践専門課程の基本情報」が明確に定義されていることから、そのことと、情報の一元的管理を可能にするデータベースアプリケーションの開発を前提とすれば、システム設計の段階に進むことができる。

本事業では、以上の考えに基づき、

- データベースサーバー、アプリケーションサーバーの構築
- ・テーブル設計、メニュー設計等のシステム設計

を進め、設計に基づいたプログラミング、その実装およびテストを行い、プロトタイプを 完成させた。

③ 試用と意見聴取

プロトタイプの機能は、認定校が基本情報を編集する機能 (A) と、一般利用者が基本情報を検索・参照する機能 (B) とに大別される。

本事業では、実施協力校による A の試用、モニタリング分科会による B の試用を実施 し、それぞれから意見聴取を行い、本事業の事業成果として、次年度以降の本格的開発に 活かしたい。

平成 31 年度事業の予定

平成 30 年度事業は、現行の職業実践専門課程制度がもつ要件を中心にポートレートシ

ステムをとらえたが、2017 年 12 月の東京規約の発効を機に、ポートレートシステムが、東京規約が規定する「国内情報センター (NIC、National Information Center)」の機能の一翼を担う可能性が高まっている(図 4)。

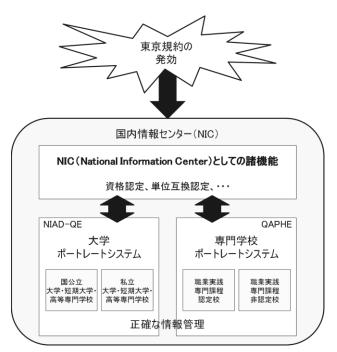


図 4 国内情報センター (NIC) とポートレートシステム

仮にそうなった場合、わが国の専修学校制度、職業実践専門課程制度等の公式情報、他 国で機能している NQF(National Qualifications Framework)に相当する日本の資格認 定制度の情報などの提供を担う機関や情報システムが必要になる。さらに、本事業で開発 するポートレートシステムに求められる要件としては、英語による情報提供も必須になっ てくる。

高等教育行政の動向にも左右されるが、東京規約が実効的な役割を果たす時期をにらんで、ポートレートシステムの要件定義の対象の拡張なども検討すべき時期にある。平成 31 年度事業では、以上のような認識も持ちながら、本年度事業成果の要件定義の拡張・確定段階をクリアーして、当該要件を満たす本番システムの設計段階に入ることが目標になると考えている。

2 要件定義

2.1 要件定義の位置づけ

1.3 で説明したとおり、本事業全体がポートレートシステムの長期的なウォーターフォールモデル開発における最初の「要件定義」段階にあたる(図 5)。



図 5 図 3 一般的なウォーターフォールモデルと本年度事業の関係の再掲

したがって、本年度事業成果の第一は「要件定義書」であるが、これは別に独立した形で作成し、本書の中では付録としてそれを掲載することとした(付録 A 要件定義書)。

図 5 における本年度事業内の「仮の要件定義」の内容は、前述のとおり、

- データベースシステムに関すること
- ・職業実践専門課程制度が求めている情報提供の内容

になる。それらについては「要件定義書」の中の第4章~第7章(機能要求、入力・出力要求、品質・性能要求、セキュリティ要求)が相当するので、参照していただきたい。

2.2 要件定義の構成

要件定義書の構成は、一般的な情報システムの要件定義書の構成を踏襲している。詳細は要件定義書を参照していただきたいが、目次立て風に列挙すると次のようになる。

- 1 システム導入の目的
 - 1.1 導入の前提
 - 1.2 導入の目的
- 2 システムの概要・構想
 - 2.1 システム化の対象領域
 - 2.2 システムの概念
- 3 システムの業務フロー
 - 3.1 認定校における業務フロー
 - 3.2 利用者側における業務フロー
 - 3.3 システム運用管理における業務
- 4 機能要求
 - 4.1 要求機能
 - 4.2 「職業実践専門課程の基本情報」の要件
- 5 入力要求と出力要求
 - 5.1 入力要求
 - 5.2 出力要求
- 6 品質·性能要求
 - 6.1 システム全体についての要求
 - 6.2 個々の機能に関連する要求
- 7 セキュリティ要求
 - 7.1 セキュリティポリシー
 - 7.2 不正アクセスの防止
 - 7.3 情報の保護

3 プロトタイプ作成

3.1 画面 (メニュー) 体系

作成した画面(メニュー)の体系を次から示す7。

■ ①ユーザ管理

「ユーザ登録「ユーザー覧」はトップ画面から選ぶことができる。

本年度事業終了時点では、ユーザ権限にしたがった画面制御は行っておらず、登録されたユーザはすべてシステム管理者の権限を持っている。下図の点線で囲んだ部分は、アクセス権限による制御部分を開発・実装する必要性についてメモしたものである。



職業実践専門課程ポートレート画面体系図 (ユーザ管理)

今後の開発予定
ユーザごとに権限を設定し、権限を有する範囲での操作を許可
・システム管理者
・システム内の全ての情報を管理
・設置者管理者
権限を有する設置者配下の全ての情報を管理
・学校管理者
・学科管理者
権限を有する学校配下の全ての情報を管理
・学科管理者
権限を有する学科配下の全ての情報を管理
・機関を有する学科配下の全での情報を管理
・機関を有する科目配下の全での情報を管理

■ ②設置者管理

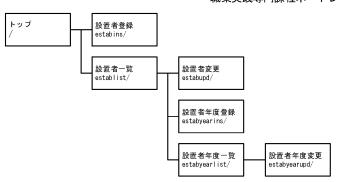
「設置者登録」「設置者一覧」はトップ画面から選ぶことができる。

ここで、設置者は専修学校の設置主体であり、学校法人や一般財団法人などの法人を意味している。設置者の名称や代表者は変わる可能性があるので、その場合は「設置者変更」 メニューを選択する(ある設置者の中の情報に変更がある場合を意味しており、ある学校について設置者自体が変わるという意味ではない)。

「設置者年度登録」は、「職業実践専門課程の基本情報」は年度ごとに更新することになるので、「ある設置者のある年度の情報」をあらかじめ登録しないと、その下位の情報、すなわち、その設置者が設置した学校のある年度の情報、さらに、その学校の学科のある年度の情報は編集できない構造としている。

 $^{^7}$ 本書の付録 B が「入力操作説明書」となっており、それと合わせて参照していただくと、具体的にわかりやすい。

「設置者年度一覧」は、上記のような編集を行った結果、ある設置者には複数の年度登録がなされることになるので、それらを一覧表示する機能で、どこかの年度の設置者に関する情報に誤りがあったような場合、「設置者年度変更」メニューを操作することにより、過去にさかのぼって修正(変更)することを可能としている。「変更」は、該当項目の「修正」や「追加」、「削除」を包含した意味に使っている。



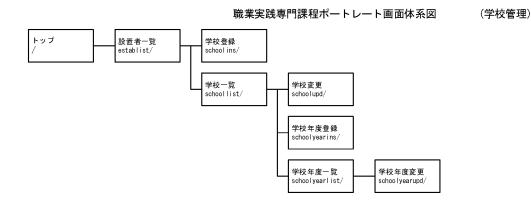
職業実践専門課程ポートレート画面体系図 (設置者管理)

■ ③学校管理

前項の「設置者一覧」の下位には「学校登録」「学校一覧」を配し、これらの画面に遷移できる。

「学校登録」は設置者が設置する学校の情報を新規に登録するメニューで、そのように して登録された学校をすべて表示するのが「学校一覧」である。

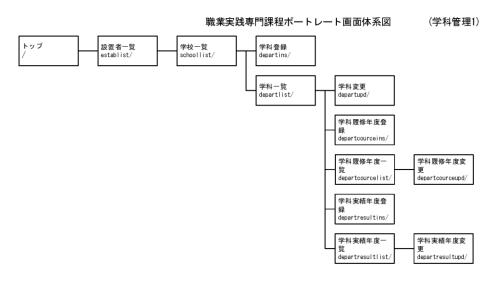
「学校一覧」の下位には、「学校変更」「学校年度登録」「学校年度一覧」の各メニューを配しているが、その考え方は、前項の「設置者変更」「設置者年度登録」「設置者年度一覧」と同様である。



■ ④学科管理1(履修、実績)

前項の「学科一覧」の下位には「学科登録」「学科一覧」を配し、これらの画面に遷移できる。

「学科登録」は学校の中に置く「学科」を新規に登録するメニューで、そのようにして 登録された学科をすべて表示するのが「学科一覧」である。 ここでいう「学科」は職業実践専門課程の認定単位に相当するので、「学科一覧」の下位に、「職業実践専門課程の基本情報」のフォームにしたがった各種の情報の編集メニューが割り当てられることになる。プロトタイプ開発においては、これらのうち、基本情報の「様式 4(1)」で提供することになっている情報を、大きく、履修系、実績系、資格系、評価系に分けて、それぞれのメニューを設けた。この項(④)の画面では、履修系、実績系を配している(資格系、評価系は次の⑤の画面で、また、様式 4(2) で提供される情報については⑥~⑧で、様式 4(3) で提供される情報については⑨の画面で説明する)。



「学科履修年度登録」は、履修系の情報を入力する年度を登録するためのメニューである。登録された年度は「学科履修年度一覧」で表示され、この中のある年度に関する「学科履修年度変更」を選択する。このメニューで編集できる項目は、次のとおりである。

修業年限、昼夜、修業単位、修了時間数、講義時間数、演習時間数、実習時間数、実験時間数、実技時間数、URL、学期制度、長期休業、成績評価、成績評価方法、卒業・進級条件、クラス担任制、個別相談・指導、課外活動、サークル活動、独自奨学金、独自奨学金内容、教育訓練給付、教育訓練給付ま績

また、「学科実績年度登録」は、実績系の情報を入力する年度を登録するためのメニューである。登録された年度は「学科実績年度一覧」で表示され、この中のある年度に関する「学科実績年度変更」を選択する。このメニューで編集できる項目は、次のとおりである。

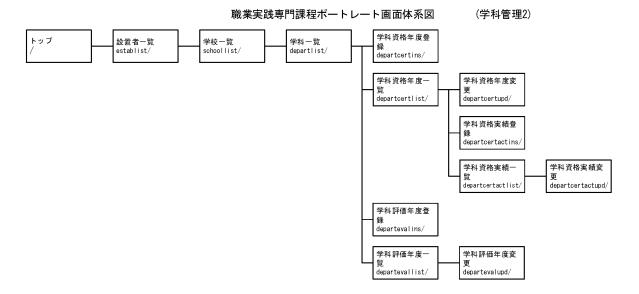
生徒総定員、生徒実員、留学生数、専任教員数、兼任教員数、総教員数、就職評価年月日、就職指導内容、卒業者数、就職希望者数、就職者数、就職率、

卒業者に占める就職者の割合、進学者数、就職コメント、中退者数、中退率、当年度在学者数、前年 度在学者数、中退理由、中退防止・支援、自由記述

■ ⑤学科管理2(資格、評価)

下図は前項(④)に引き続き「学科一覧」の下位を説明する図である。

「学科一覧」の下位には、④の履修系、実績系に続いて、資格系、評価系の情報を編集 するメニューが割り当てられている。



「学科資格年度登録」は、資格系の情報を入力する年度を登録するためのメニューで、 編集できるのは、次の項目である。

資格名、資格種別、受験者数、合格者数

ここで、「資格」は、基本情報の「主な学修成果(資格・検定等)」欄における「国家資格・検定/その他・民間検定等」欄に設けられた表に入力すべき「資格・検定」のことで、この表に入力すべき項目は、「資格・検定名」「種別」「受験者数」「合格者数」である。また、この表の行数は不定になっていて、学科によって自由に記述することを求めている。一般的な状況を想定すれば、学科ごとに目標とする資格は決まっており、そのような「基本的な」情報は、あらかじめ登録しておき、「変わったときに変える」ほうが、入力の手間が省けると思われる。

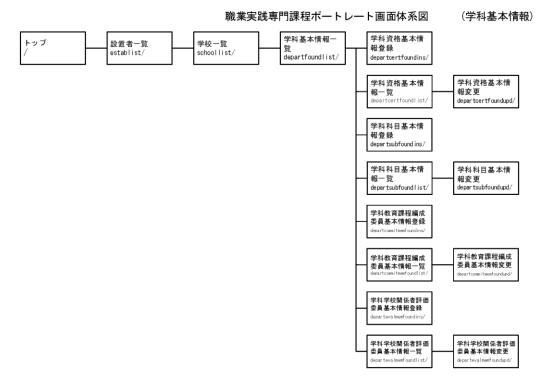
同様のことがいえる情報として、本システムでは、「資格」のほかに、「科目(様式 4(3)で入力するもの)」、「教育課程編成委員会委員(様式 4(2))」、「学校関係者評価委員(様式 4(2))」を考え、これらを「学科基本情報」として認識し、これらを登録しておく機能を用意した。その説明は次の第⑥項で行う。

なお、「学科評価年度登録」は、第三者評価の受審経験の有無等を編集するためのメニューで、編集できるのは、次の項目である。

第三者評価有無、評価団体、受審年月、評価結果 URL、評価結果

■ ⑥学科基本情報

前項の最後に説明したとおり、「資格」「科目」「教育課程編成委員会委員」「学校関係者評価委員」については、あらかじめ登録しておくことが可能である。下図に示した体系は、これら4種の項目に関する登録と変更を可能にする画面(メニュー)の体系である。



それぞれについて、編集できる項目は次のとおりである。

• 資格

資格名、資格種別

科目

授業科目名、科目分類、授業科目概要、配当年次、配当学期、授業時数、単位数、授業方法、場所、教員、企業等との連携、備考

·教育課程編成委員会委員

氏名、所属、任期開始年月日、任期終了年月日、種別

• 学校関係者評価委員

氏名、所属、任期開始年月日、任期終了年月日、種別

■ ⑦学科企業連携 1 (教育課程編成委員会、企業連携情報)

前項の「学科一覧」の下位には「学科企業連携一覧」を配していて、これは、基本情報の様式 4(2) のうち、

A 1ページ目の 1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)

との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」 関係、

および、

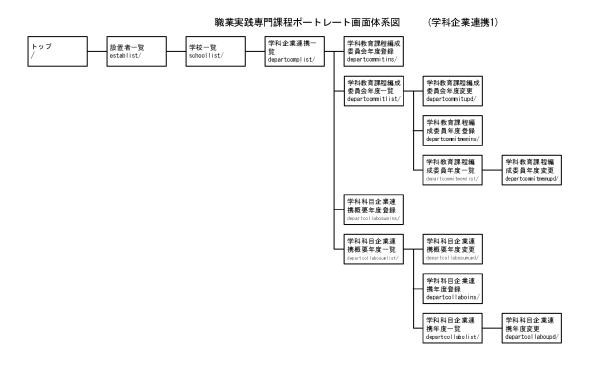
1ページ目の2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

B 2ページ目の3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係、

および、

2ページ目の 4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係、および、

2ページ目の 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係をカバーするものである。



これらのうち A について「 \blacksquare ⑦学科企業連携 1」で説明し、B について「 \blacksquare ⑧学科企業連携 2」で説明する。

「学科企業連携一覧」の下位にある「学科教育課程編成委員会一覧」で編集する項目は次のとおりである。

教育課程編成委員会名簿情報、教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針、教育課程 編成委員会等の位置付け、委員名簿日付、年間開催数及び開催時期、意見活用状況

また、「学科企業連携一覧」の下位にある「学科企業連携概要一覧」で編集する項目は次のとおりである。

| 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針、実習・演習等における企業等との連携内容

■ ⑧学科企業連携2(教員研修、学校関係者評価)

職業実践専門課程ポートレート画面体系図 (学科企業連携2) 学科企業連携一 学科教員研修年 設置者一覧 establist/ 学校一覧 schoollist/ トップ 度登録 departtrainins/ departcomplist/ 学科教員研修年 学科教員研修年 度変更 departtrainupd/ 学科学校関係者評 価委員会年度登録 departstaffins/ 学科学校関係者評 価委員会年度一覧 departstafflist/ 学科学校関係者評 学科学校関係者評 価委員年度登録 departstaffmemins 学科学校関係者評 学科学校関係者評 価委員年度変更 学科学校関係者情 報提供年度登録

「学科企業連携一覧」の下位にある「学科教員研修年度一覧」で編集する項目は次のとおりである。

学科学校関係者情 報提供年度一覧 departinfolist/ 学科学校関係者情報提供年度変更 depart infound/

教員に対する研修・研究の基本方針、専攻分野における実務に関する研修等の実績、指導力の修得・ 向上のための研修等の実績、専攻分野における実務に関する研修等の予定、指導力の修得・向上のた めの研修等の予定

また、「学科企業連携一覧」の下位にある「学科学校関係者評価委員会年度一覧」で編集する項目は次のとおりである。

学校関係者評価の基本方針、「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応として「教育理念・目標」「学校運営」「教育活動」「学修成果」「学生支援」「教育環境」「学生の受入れ募集」「財務」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」「国際交流」、学校関係者評価結果の活用状況、委員名簿日付、学校関係者評価結果の公表方法、学校関係者評価結果の公表時期、評価結果公表 URL

最後に、「学科企業連携一覧」の下位にある「学科学校関係者情報提供年度一覧」で編集 する項目は次のとおりである。

企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応として「学校の概要、目標及び計画」「各学科等の教育」「教職員」「キャリア教育・実践的職業教育」「様々な教育活動・教育環境」「学生の生活支援」「学生納付金・修学支援」「学校の財務」「学校評価」「国際連携の状況」「その他」、情報提供方法、情報提供 URL

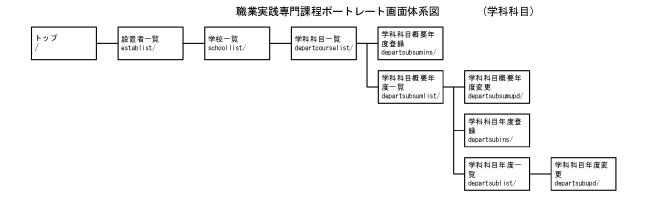
■ ⑨学科科目

「学科一覧」の下位には「学科科目一覧」を配し、その下位に「学科科目概要年度一覧」を配している。ここでは、次の項目を編集できる。

科目数、単位時間、卒業要件及び履修方法、1学年の学期区分、1学期の授業期間

また、「学科科目年度一覧」では、第⑥項で説明したとおり、科目ごとの情報として、次 の項目を表示・編集できる。

授業科目名、科目分類、授業科目概要、配当年次、配当学期、授業時数、単位数、授業方法、場所、教員、企業等との連携、備考



3.2 テーブル設計

要件定義書の機能要求に示した要件にしたがい、データベースシステムとしてデータの整合性を考慮した結果、本プロトタイプでは、35のテーブルを用いることとした。以下はその設計の結果である。

(1) 都道府県テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	都道府県コード	pref_code	char (2)	PRIMARY		
2	都道府県名	pref_name	char (10)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(2) 分野テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	分野コード	field_code	char (2)	PRIMARY		
2	分野名	field_name	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd date	datetime		not null	

(3) 修業年限テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	修業年限コード	term_code	char (2)	PRIMARY		
2	修業年限	term_year	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(4) 昼夜テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	昼夜コード	day_code	char (2)	PRIMARY		
2	昼夜コード	day_night	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(5) 権限テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	権限コード	auth_code	char (2)	PRIMARY		
2	権限名	auth_name	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(6) 資格種別テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	資格種別コード	cert_type_code	char (2)	PRIMARY		
2	資格種別	cert_type_name	char (50)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(7) 修業単位テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	修業単位コード	unit_code	char (2)	PRIMARY		
2	修業単位	unit_name	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(8) 科目分類テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	科目分類コード	sub_class_code	char (2)	PRIMARY		
2	科目分類名	sub_class_name	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd date	datetime		not null	

(9) 学期テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	学期コード	semester_code	char (2)	PRIMARY		
2	学期名	semester_name	char (20)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd date	datetime		not null	

(10) 教育課程編成委員種別テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	種別コード	type_code	char (2)	PRIMARY		
2	種別名	type_name	char (50)		not null	
3	作成日時	ins_date	datetime		not null	
4	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(11) ユーザテーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	ユーザID	user_id	char (20)	PRIMARY		
2	パスワード	passwd	char (255)		not null	ハッシュ値を格納
3	氏名	name	char (255)		not null	
4	メールアドレス	mail	char (255)			
5	権限コード	auth_code	char (2)		外部キー	権限コード(権限テーブル)
6	作成日時	ins_date	datetime		not null	
7	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(12) 設置者テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY		
2	設置者名	estab_name	char (100)		not null	
3	設立認可年月日	estab_ymd	date		not null	
4	作成日時	ins_date	datetime		not null	
5	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(13) 設置者年度テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(設置者テーブル)
2	年度	year	int	PRIMARY		
3	代表者名	repre_name	char (100)		not null	
4	郵便番号	post_code	char (10)			
5	都道府県コード	pref_code	char (2)		外部キー not null	都道府県コード(都道府県テーブル)
6	市区町村	city	char (255)			
7	地番	address	char (255)			
8	建物	building	char (255)			
9	電話番号	tel	char (20)			
10	URL	ur l	char (255)			
11	作成日時	ins_date	datetime		not null	
12	更新日時	upd date	datetime		not null	

(14) 学校テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考		
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(設置者テーブル)		
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY				
3	学校名	school_name	char (100)		not null			
4	設置認可年月日	estab_ymd	date		not null			
5	作成日時	ins_date	datetime		not null			
6	更新日時	upd_date	datetime		not null			

(15) 学校年度テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学校テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学校テーブル)
3	年度	year	int	PRIMARY		
4	校長名	principal_name	char (100)		not null	
5	郵便番号	post_code	char (10)			
6	都道府県コード	pref_code	char (2)		外部キー not null	都道府県コード(都道府県テーブル)
7	市区町村	city	char (255)			
8	地番	address	char (255)			
9	建物	building	char (255)			
10	電話番号	tel	char (20)			
11	URL	ur l	char (255)			
12	作成日時	ins_date	datetime		not null	
13	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(16) 学科テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学校テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学校テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY		
4	学科名	depart_name	char (100)		not null	
5	認定年月日	estab_ymd	date		not null	
6	分野コード	field_code	char (2)		外部キー not null	分野コード(分野テーブル)
7	課程名	cource_name	char (100)		not null	
8	専門士	expert	text			
9	高度専門士	advance_expert	text			
10	学科目的	depart_goal	text			
11	作成日時	ins_date	datetime		not null	
12	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(17) 学科履修テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
	年度	year	int	PRIMARY		
5	修業年限コード	term_code	char (2)		外部キー not null	修業年限コード(修業年限テーブル)
6	昼夜コード	day_code	char (2)		外部キー not null	昼夜コード(昼夜テーブル)
	修業単位コード	unit_code	char (2)		外部キー not null	修業単位コード(修業単位テーブル)
	修了時間数	comp_time	int			
	講義時間数	lect_time	int			
	演習時間数	exer_time	int			
	実習時間数	train_time	int			
	実験時間数	labo_time	int			
	実技時間数	pract_time	int			
	URL	ur l	char (255)			
	学期制度	semester	text			
	長期休業	vacation	text			
	成績評価有無	grade_eval	int			
	成績評価方法	grade_method	text			
19	進級条件	promotion	text			
	クラス担任有無	homeroom	int			
	個別指導	indiv_inst	text			
	課外活動	activity	text			
	サークル活動有無	circle	int			
	独自奨学金有無	scholar	int			
	独自奨学金内容	scholar_sub	text			
	教育訓練給付対象	benefit	int			
	教育訓練給付実績	benefit_result	text			
	作成日時	ins_date	datetime		not null	
29	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(18) 学科実績テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	生徒総定員	stu_capacity	int			
6	生徒実員	stu_emplo	int			
7	留学生数	stu_foreign	int			
	専任教員数	teach_full	int			
9	兼任教員数	teach_conc	int			
	総教員数	teach_total	int			
	就職評価年月日	eval_ymd	date			
	就職先	employer	text			
	就職指導内容	employ_guid	text			
	卒業者数	grad_cnt	int			
	就職希望者数	job_appl_cnt	int			
	就職者数	job_cnt	int			
	就職率	employ_rate	int			
	就職者割合	employ_ratio	int			
	進学者数	admiss_cnt	int			
	就職コメント		text			
	中退者数	drop_cnt	int			
	中退率	drop_rate	int			
	当年度在学者数	curr_stu_cnt	int			
		prev_stu_cnt	int			
	中退理由	drop_reason	text			
	中退防止	drop_prevent	text			
	自由記述	study_result	text			
	作成日時	ins_date	datetime		not null	
29	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(19) 学科評価テーブル

Ma	日本語名	シンボリック名	屋林	キー	'd to Elife	/# **
No.	口本譜名	ンノ小リック名	属性	•	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	第三者評価有無	third_eval	int			
6	評価団体	eval_org	char (255)			
7	受審年月	eval_ym	char (10)			
8	評価結果URL	eval_url	char (255)			
9	評価結果	eval_result	text			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(20) 学科資格基本テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	資格コード	cert_code	char (20)	PRIMARY		
5	資格名	cert_name	char (255)		not null	
6	資格種別コード	cert_type_code	char (2)		外部キー not null	資格種別コード(資格種別テーブル)
7	作成日時	ins_date	datetime		not null	
8	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(21) 学科資格テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
				PRIMARY		設置者コード(学科テーブル)
	学校コード					学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	評価年月日	eval_ymd	date		not null	
6	自由記述	cert_comment	text			
7	作成日時	ins_date	datetime		not null	
8	更新日時	upd date	datetime		not null	

(22) 学科資格実績テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科資格評価テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科資格評価テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科資格評価テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY	外部キー	年度(学科資格評価テーブル)
5	資格コード	cert_code	char (20)	PRIMARY		
6	資格名	cert_name	char (255)		not null	
7	資格種別コード	cert_type_code	char (2)		外部キー not null	資格種別コード(資格種別テーブル)
8	受験者数	exam_cnt	int			
9	合格者数	pass_cnt	int			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(23) 学科科目基本テーブル

21

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	科目コード	sub_code	char (20)	PRIMARY		
	科目名	sub_name	char (255)		not null	
6	概要	summary	text			
7	科目分類コード	sub_class_code	char (2)		外部キー not null	科目分類コード(科目分類テーブル)
	年次	annua l	char (255)			
9	学期	semester	char (255)			
10	時数	time_cnt	int			
11	単位数	unit_cnt	int			
	講義	lecture	int			
	演習	exercise	int			
14	実技	practice	int			
15	校内	in_school	int			
16	校外	out_school	int			
17	専任	full	int			
18	兼任	concurrent	int			
	企業連携	collabo	int			
20	備考	remark	text			
21	作成日時	ins_date	datetime		not null	
22	更新日時	upd_date	datetime		not null	_

(24) 学科科目概要テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	科目数	sub_cnt	int			
6	単位時間	unit_cnt	int			
7	卒業要件	grad_require	text			
8	学期区分	semester_cnt	int			
9	授業期間	lesson_week	int			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(25) 学科科目テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
	設置者コード	estab code		PRIMARY	外部キー	四名 設置者コード(学科科目概要テーブル)
	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科科目概要テーブル)
	学科コード	depart code		PRIMARY	外部キー	学科コード(学科科目概要テーブル)
	年度			PRIMARY	外部キー	年度(学科科目概要テーブル)
	科目コード	year	char (20)	PRIMARY	グト部イー	千良 (子科科日佩安ナーブル)
		sub_code		PRIMART		
	科目名	sub_name	char (255)		not null	
	概要	summary	text			
	科目分類コード	sub_class_code	char (2)		外部キー not null	科目分類コード(科目分類テーブル)
	年次	annual	char (255)			
10	学期	semester	char (255)			
- 11	時数	time_cnt	int			
12	単位数	unit_cnt	int			
13	講義	lecture	int			
14	演習	exercise	int			
	実技	practice	int			
16	校内	in_school	int			
	校外	out_school	int			
	専任	full	int			
19	兼任	concurrent	int			
	企業連携	collabo	int			
21	備考	remark	text			
22	作成日時	ins_date	datetime		not null	
23	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(26) 教育課程編成委員基本テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	委員コード	mem_code	char (20)	PRIMARY		
5	氏名	name	char (255)		not null	
6	所属	belong	char (255)			
7	任期FROM	term_from	date			
8	任期T0	term_to	date			
9	種別コード	type_code	char (2)		外部キー not null	種別コード(教育課程編成委員種別テーブル)
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(27) 学科編成委員会テーブル

22

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	基本方針	policy	text			
6	位置付け	position	text			
7	委員名簿日付	names_ymd	date			
8	委員会日時	commit_date	text			
9	意見活用状況	opinion	text			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(28) 学科編成委員テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科編成委員会テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科編成委員会テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科編成委員会テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY	外部キー	年度(学科編成委員会テーブル)
5	委員コード	mem_code	char (20)	PRIMARY		
6	氏名	name	char (255)		not null	
7	所属	belong	char (255)			
8	任期FROM	term_from	date			
9	任期T0	term_to	date			
10	種別コード	type_code	char (2)		外部キー not null	種別コード(教育課程編成委員種別テーブル)
- 11	作成日時	ins_date	datetime		not null	
12	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(29) 学科科目連携概要テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	基本方針	policy	text			
6	連携内容	collabo_content	text			
7	作成日時	ins_date	datetime		not null	
8	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(30) 学科科目連携テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科科目連携概要テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科科目連携概要テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY		学科コード(学科科目連携概要テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY	外部キー	年度(学科科目連携概要テーブル)
5	科目コード	sub_code	char (20)	PRIMARY		
6	科目名	sub_name	char (255)		not null	
7	概要	summary	text			
8	連携企業	collabo_corp	text			
9	作成日時	ins_date	datetime		not null	
10	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(31) 学科研修テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	基本方針	policy	text			
6	専攻研修実績	major_result	text			
7	指導力研修実績	inst_result	text			
8	専攻研修計画	major_plan	text			
9	指導力研修計画	inst_plan	text			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(32) 評価委員基本テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	キー	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	委員コード	mem_code	char (20)	PRIMARY		
5	氏名	name	char (255)		not null	
6	所属	belong	char (255)			
7	任期FROM	term_from	date			
8	任期T0	term_to	date			
9	種別	type	text			
10	作成日時	ins_date	datetime		not null	
- 11	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(33) 学科関係者評価テーブル

		シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
		depart_code			外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	基本方針	policy	text			
6	教育理念	idea	text			
7	学校運営	admin	text			
8	教育活動	activities	text			
9	学修成果	result	text			
10	学生支援	support	text			
		environ	text			
	学生募集		text			
13	財務	finance	text			
		compliance	text			
15	社会貢献	social	text			
	国際交流	international	text			
17	評価活用状況	eval_util	text			
18	委員名簿日付	names_ymd	date			
19	公表方法	method	text			
			text			
21	URL	url	char (255)			
	作成日時	ins_date	datetime		not null	
23	更新日時	upd_date	datetime		not null	

(34) 学科評価委員テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科関係者評価テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科関係者評価テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科関係者評価テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY	外部キー	年度(学科関係者評価テーブル)
5	委員コード	mem_code	char (20)	PRIMARY		
6	氏名	name	char (255)		not null	
7	所属	belong	char (255)			
8	任期FROM	term_from	date			
9	任期T0	term_to	date			
10	種別	type	text			
11	作成日時	ins_date	datetime		not null	
12	更新日時	upd_date	datetime		not null	·

(35) 学科情報提供テーブル

No.	日本語名	シンボリック名	属性	+-	追加属性	備考
1	設置者コード	estab_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	設置者コード(学科テーブル)
2	学校コード	school_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学校コード(学科テーブル)
3	学科コード	depart_code	char (20)	PRIMARY	外部キー	学科コード(学科テーブル)
4	年度	year	int	PRIMARY		
5	基本方針	policy	text			
	目標	goal	text			
7	教育	education	text			
8	教職員	staff	text			
9	キャリア教育	career	text			
10	教育環境	environ	text			
11	生活支援	live_support	text			
12	修学支援	schola_support	text			
13	財務	finance	text			
14	学校評価	eval	text			
15	国際連携	international	text			
16	その他	other	text			
17	情報提供方法	info_method	text			
18	URL	ur l	char (255)			
19	作成日時	ins_date	datetime		not null	
20	更新日時	upd_date	datetime		not null	

3.3 **UML**

前節で示したテーブル間の関係を UML で表すと次のようになる。













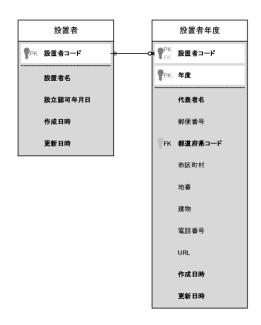


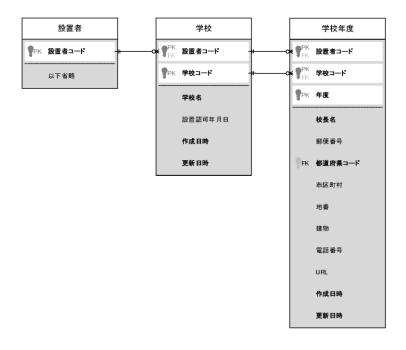


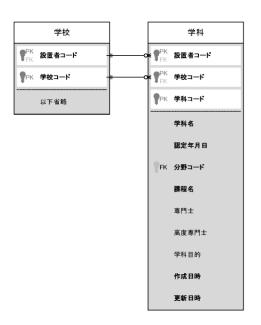


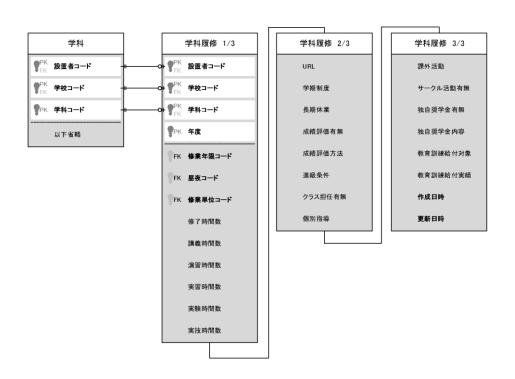


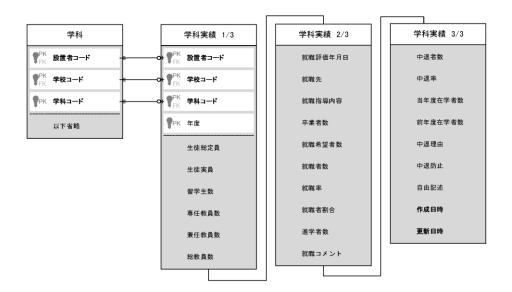


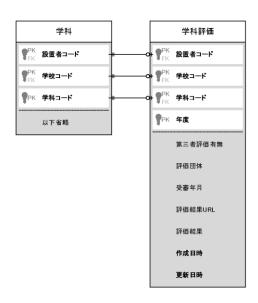


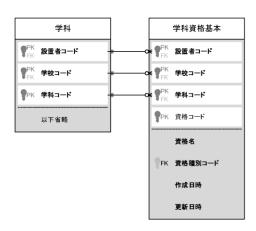


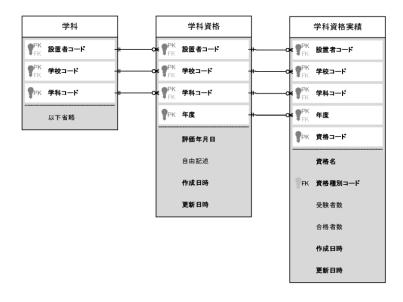


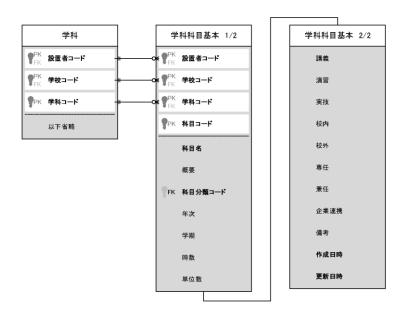


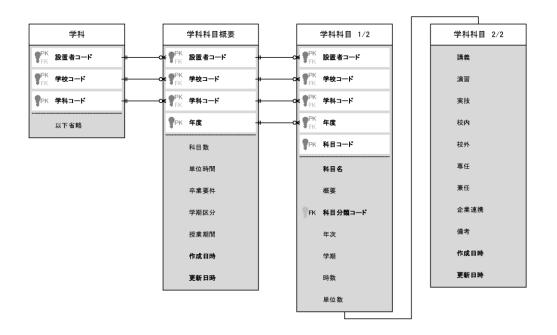


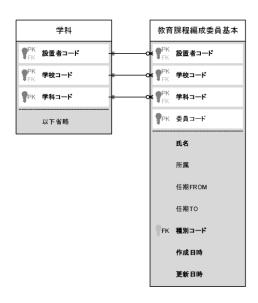


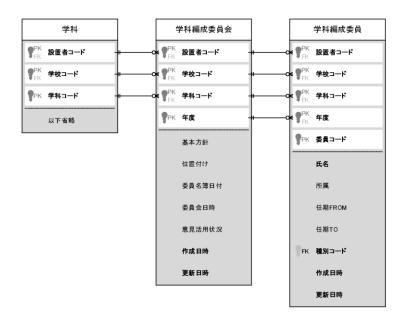


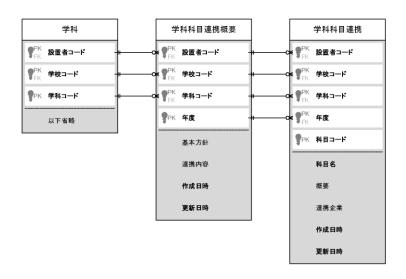


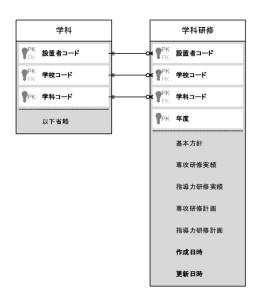


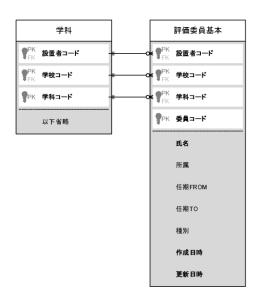


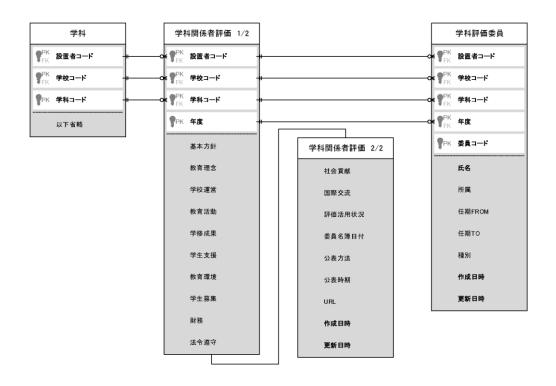


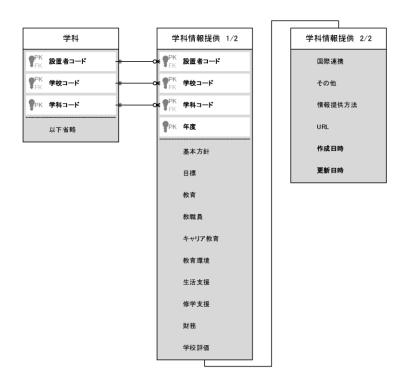












4 意見聴取

4.1 意見聴取の方法

ポートレートシステムのプロトタイプの基本設計は平成 30 年 8 月末に終了し、プログラム開発も実質的に 10 月末までには終了した(テストも含めて)。しかし、データがテストデータ以外何も入っていない状況ではリアリティのある試用ができないので、9 月後半ぐらいから、実施協力校が公開している職業実践専門課程の基本情報の内容に基づき、実施協力校 16 校の中で職業実践専門課程認定課程をもつ 13 校のデータ(1 校につき 1 課程分)を、本システムの入力機能を用いて、まず、事務局のほうでユーザテストを兼ねた形で入力した8。

その状態を利用して、入力操作説明書(学校側の操作向け)、検索操作説明書(一般利用者の操作向け)を作成して、11月末の時点で試用可能な状況に持って行った。

これを受け、一般利用者向け操作については、「検索操作説明書」とアカウントを「モニタリング分科会委員」に提供し、実際に試用してもらった上で分科会を開催して意見を聴取した。

一方、学校向け操作については、実施協力校に対して「入力操作説明書」とアカウントを提供し、試用を求めたうえで、意見聴取フォーム⁹を送って、それに対するフィードバックを求めることで、意見聴取を行った。

⁸ あらかじめ入力したデータに関する該当学校・学科の情報は、表 2 および表 3 のとおりである。

⁹ 実施協力校に対して送信した「意見聴取フォーム」は付録 D のようなものである。

表 2 試用に際してあらかじめ入力した職業実践専門課程の基本情報①

No.	法人番号	法人名	学校番号	学校	学科番号	職業実践専門課程認定学科・コース	入力の有無
					01	美容専門課程 高度専門科	2017年入力
1	7010405001676	学校法人 メイ・ウシヤマ学園	01	ハリウッド美容専門学校	02	美容専門課程 美容専門科	
					03	美容専門課程 トータルビューティ専門科	
					11	理容学科(ヘアデザインコース)	2017年入力
					12	理容学科(ヘアビジネスコース)	2017年入力
		⇔ +*:+ 1			21	美容学科(メイクアップコース)	2017年入力
2	4280005000410	学校法人 山陰理容美容学園	01	松江理容美容専門大学校	22	美容学科(ネイルアートコース)	
					23	美容学科(エステティックコース)	
					24	美容学科(ブライダルコーディネートコース)	
					01	高度情報処理研究科	2017年入力
					02	ゲーム開発エキスパートコース ゲームCG専攻 高度情報処理研究科	2017-7773
						ゲーム開発エキスパートコース ゲームプログラム専攻 高度情報処理研究科	
					03	ゲーム開発エキスパートコース ゲーム企画専攻 高度情報処理研究科	
					04	国際ITエキスパートコース 高度情報処理研究科	
					05	IT開発エキスパートコース マルチメディア研究学科	
			01	ECCコンピュータ専門学校	06	IT開発研究コース マルチメディア研究学科	
					07	CGデザインコース	
					08	マルチメディア研究学科 ゲームプログラム開発コース	
					09	マルチメディア研究学科 ゲーム企画開発コース	
					10	マルチメディア研究学科 Webデザインコース	
					11	マルチメディア学科 システムエンジニアコース	
3	5120005004764	学校法人 山口学園			01	エアライン学科エアラインコース	2017年入力
					02	ホテル・観光学科ホテルコース	
			02	ECC国際外語専門学校	03	ホテル・観光学科トラベルコース	
					04	こども教育研究学科	
					01	トータルビューティ学科 トータルビューティスタイリストコース トータルビューティ学科	2017年入力
					02	ヘアメイクアーティストコース	
					03	美容科	
			03	FCCアーティスト美容専門学校	04	アーティスト学科 ブライダルアーティストコース	
				ECCアーティスト美容専門学校	05	アーティスト学科 ビューティアドバイザーコース	
					06	アーティスト学科 ネイリストコース	
					07	アーティスト学科 エステティシャンコース	
					08	アーティスト学科 特殊メイクアーティストコース	
					01	IT·Web学科	2017年入力
			01	中央情報専門学校	02	ビジネスデザイン学科	2017年入力
		学校法人	02	早稲田文理専門学校	01	クリエイティブビジネス経営学科	2017年入力
4	5030005006968	中央情報学園			02	ゲームクリエイター学科	2017年入力
					03	ビジネス起業	
					04	ゲーム制作学科	
5	4070005002758	学校法人	'01	高崎動物専門学校	01	ペットビジネス学科	2018年入力
		MGL学園			01	第1本科(昼) 空間デザイン学科	2017年入力
		学校法人 修成学園	01		02	第1本科(昼) 空間デリイン子科 第1本科(昼) 建築学科	2017年八月
						第1本科(昼) 建栄子科 第1本科(昼) 建築CGデザイン学科	
				修成建設専門学校	03		
					04	第1本科(昼) 住環境リノベーション学科	
6	5120005004665				05	第1本科(昼) 土木工学科	
					06	第1本科 建設エンジニア学科	
					07	第1本科(昼) ガーデンデザイン学科	
					08	第2本科(夜) 建築学科	
					09	第2本科(夜) 建築デュアルシステム科	

表 3 試用に際してあらかじめ入力した職業実践専門課程の基本情報②

7		法人名	学校番号	学校	学科番号	職業実践専門課程認定学科・コース	入力の有無
	5150005000703	一般社団法人 奈良県歯科医師会	01	奈良歯科衛生士専門学校	01	歯科衛生士学科	2017年入力
					01	鍼灸学科(昼間)	2017年入力
					02	鍼灸学科(夜間)	
					03	柔道整復学科(昼間)	
8	3260005001774	学校法人 朝日医療学園	01	朝日医療大学校	04	柔道整復学科(夜間)	
					05	理学療法学科(昼間)	
					06	理学療法学科(夜間)	
					07	歯科衛生学科	
		学校法人			01	美容科	2016年入力
9	9180005002123	愛知理容学園	01	アリアーレビューティー専門学校	02	理容科	
					01	鍼灸学科1部	2017年入力
					02	鍼灸学科2部	
		学校法人			03	鍼灸マッサージ学科	
10	4470005002387	大麻学園	01	四国医療専門学校	04	作業療法学科	
					05	理学療法学科	
					06	看護学科	
					001	保育学科3年制コース	2018年入力
					02	保育学科2年制コース	2018年入力
		学校法人三友学園			03	医療福祉事務学科	
					04	診療情報管理士学科	
					05	ホテル・ブライダル学科	
					06	会計ビジネス学科	
				専門学校岡山情報ビジネス学	07	公務員学科	
11	1260005001784		01	院	08	情報スペシャリスト学科	
					09	情報システム学科	
					10	ゲームクリエイター学科	
					11	ゲームプログラマー学科	
					12	ITビジネス学科	
					13	Webデザイン学科	
					14	CGデザイン学科	
		学校法人古武学園			01	理容科	2018年入力
12	9120005004653		01	高津理容美容専門学校	02	美容科	
					03	国際エステ・セラピスト専門学科	
					01	鍼灸スポーツ学科	
			01	大阪ハイテクノロジー専門学校	02	柔道整復スポーツ学科	
	8120005004803	05004803 学校法人大阪滋慶学園			03	柔道整復師学科(昼間)	
					04	柔道整復師学科(夜間)	
13					05	スポーツ科学科	2018年入力
					06	臨床工学技士科(昼間)	
					07	臨床工学技士科(夜間)	
					08	生命工学技術科 ロボット専攻	
						09	生命工学技術科バイオサイエンス専攻

4.2 意見聴取の結果

① 一般利用者に対する意見聴取結果

以下、平成30年12月20日に執り行った、本事業第2回モニタリング分科会において 挙がった意見等を列挙する。

● (質保証との関係)

ポートレートに載らないと信頼性がないというところまでいけば、定着させられるだろう。

● (行政システムとしての機能要件)

このシステムに情報を入力することで、職業実践認定課程の認定条件をクリアーしているかを簡単に判別できるようなシステムにまで発展できれば行政にとって必要なシステムになる。

● (高等教育無償化等の制度との関係)

2020 年度からの高等教育の無償化で、低所得世帯の学生を対象に支給する返済不要の給付型奨学金について専門学校側にも教員や理事への外部人材活用や、財務情報の開示といった一定の要件を設けている。その条件に関する情報も何らかの形(リンクを張るなど)で、このデータベースで開示できれば、付加価値の高いものとなっていく。

- (複数年度にわたって記録できる仕様について)
 何年前までの情報が必要か→何年間を履歴として残すかはこれからの意見交換の結果で決めていくことになるだろう。
- (複数年度にわたって記録できる仕様について)過去の履歴を見るときに、毎年変わることは別として、どこが変わったのかが分かったほうが便利ではないか。
- (システム運用管理について)

本格的に稼働することになった場合、システムの運用費用はどうするのか。→様々な 検討がされている。ポートレート参加の会費で賄うことも検討している。

また、検索操作説明書およびアカウントを伝えて、行政組織の一つの例として、東京都のほうでも実際に操作をしていただいたが、上記同様、ポートレートシステムに対して期待する抽象的なご意見と、検索の際フリーワード検索をしたいという具体的なご意見をいただいた。

② 学校に対する意見聴取結果

■A データベースシステムの必要性について

□A1 必要性

学校	意見
A校	別紙様式4の提出が必要(認定申請時、フォローアップ時)である以上、毎年7月
	末までに作成することは必須です。その上で、サイトに登録することになりますの
	で、業務フローとしてメリットはありません。
	2 重更新は、デメリットで、更新内容の確認、整合性チェックなどの作業が発生し
	ます。
	1元的に管理するなら、入力した内容で別紙用様式4を Excel または PDF で作成
	でき、それを提出できるようになれば、いいかと思います。その場合、合わせて公
	開版と非公開(編集中)版との編集履歴機能が必要となります。非公開版で学校内
	での確認をとって、その後公開版にして、一般の閲覧に供することになります。
	また、使ってみて学科名称変更への対応など、一元管理機能については、検討の
	余地があるように思います。
	その上で、入学希望者、保護者、企業の担当者にとっては、全国の情報が一元的
	に閲覧できるポートレートサイトの必要性がありますので、業務フローの見直しな
	どで対応していくことになると思います。
B校	更新業務については、従来と違和感はないと思います。特にデメリットは予想しま
	せん。
C 校	学校情報管理画面からのデータの入力は非常に負担になると感じました。一度、入
	力してしまえば、あとの編集は簡単。そう思えますが、インポート機能による一括
	入力が可能でないと、わざわざ打ち込んでまでとは行かないように思えます。つい
70 144	つい「戻る」ボタンを押してしまいます。
D校	確かに基本情報を更新する際、WEBページに UP する作業は私個人ではできないの
	で、HP担当の先生にお願いして UPしていただく必要がありました。それは確かに
	手間ではありました。ただ、この「情報公開」データベースの操作にも全く慣れて
D +*	いないので、業務フローとしてどうか?というのはまだわかりません。
E 校	前年度の情報が枠など気にせずコピーできる事、PDF変換時の表示状態の再確認、
	Web 担当者へアップロードの依頼そして確認などの手間がだいぶ省け効率化が図れ
口技	ると思う。
F校	一元管理により変更部分や追加部分だけを入力すればよいのは、非常に効率的で業
C 坎	務の簡素化に役だっていると思う。
G校	数字等は、クリックするだけで選択できるので入力しやすかった。
H校	基本情報の更新にあたっては前年の Excel データをもとに、比較しながら新規デー
	タを入力し作成しています。現在は当方の Excel データをもとに、外部の専門家に 依頼しホームページに掲載しております。弊校の教職員が Excel のフォームを編集
	依頼しホームページに掲載しております。 弊校の教職員が Excel のフォームを編集 して PDF に変換する作業はしておりません。
I校	しく PDF に変換する作業はしておりません。 実験システムの方が項目ごとに記入しやすくなっており、だれでもやりやすいと思
	夫映システムの方が項目ことに記入しやすくなつており、だれでもやりやすいと思 います。
	v'まり。

□A2 自由意見

学校	意見
A 校	専門学校の職業実践専門課程は、高等教育機関として、実質的に大学より職業教
	育に優れているにも関わらず、その地位が高いものではありません。専門学校の学
	校経営、教育内容に自由度が高いが故かもしれませんが、ここ数年で情報公開、第
	三者評価など、社会的な評価を経て、その地位の向上が望まれます。
	そのためには、どこにどのような情報があるのか分かりやすく、積極的に専門学
	校が情報発信する場があって良いのではないでしょうか。今後、高等教育の無償化、
	シラバスの公開、学内規定・ガイドライン等の公開もありますので、そのような場
	としてのサイトを望みます。
B校	他校との比較が必要な場合に存在意義があると思います。
	但し、毎年の更新によって各校が似た文章になって行くことが懸念されます。
C校	必要性を感じます。できることなら「高等教育段階の教育費負担軽減新制度」で公
	開しなければならない項目もあるといいと感じます。たとえばシラバスや実務経験
	のある教員が担当する科目時間単位等です。
D校	利用者の立場に立つと、存在意義というか意味はあるシステムだと感じます。
	今後は高等教育の無償化などが絡み、行政を始め、受験生や保護者が職業実践専門
	課程に興味を持ち、検索をしてくる頻度は高まると予想できます。その際にこうい
	ったシステムは必要だと感じます。

E校	学校によっては基本情報を探し出すのに何回もクリックしなければ、またはどこに
	あるのかさえ分からない事がある。このシステムであればそのようなことは無くな
	る。また、学校同士の情報を比較しやすくなるため、受験生にとって真面目にしっ
	かり運営している学校を見つけやすくなり、そのような学校にはメリットとなる。
F校	とても意義のあることと思う。煩雑とは言えない作業でも、実際に毎年度行うのは
	手間のかかること。それが少しでも簡略化・時間短縮につながるのであれば喜ばし
	V,°
G校	特になし
H校	利用者にとって、データベースシステムがあることは必要な情報にたどりつきやす
	く利便性が向上すると感じます。
I校	どの学校もきちんと共通項目に基づいて公表することになるので、良いと思います。

■B データベースシステムに求める機能性、操作性について

□B1 複数年度にわたってデータを記録する仕様

学校	意見
A 校	複数年度の別紙様式4を公開することは、現在は求められていません。情報公開
	の内容として、前年度との活動の比較、どのような教育内容の改善などが行われて
	いるか、などの情報公開が必要であれば、そのようなこともあろうかと思いますが、
	おそらく大学でもしていないでしょう。公開するかしないかは、学校の判断となり
	ます。
	機能的な面では、前年度のデータをコピーして、今年度実施した分(正確には前
	年度の実績)を入力するわけですから、一元管理機能としては、複数年度分が記録
	される必要があります。
	設計として、複数年度にわたって記録できるシステムが望まれます。現在の UI で
D 14	は、どの年度のデータを作成しているのか戸惑いますので、改善が必要です。
B校	課程の認定に影響しない限り、現在の情報だけが必要と考えます。
Q 14	前年度の情報を記録できれば、それ以前は不要と考えます。
C 校	データベースの管理には、色々と苦労しておりますので察します。学校認可、学校
	基本情報などめったに更新しないデータもあれば、主な学修成果など年に数回の更
	│ 新が│ 必要なところもあると思います。当該年度は自由に更新が可能で、常に最新の情報
	必要なここつものると思います。自該年度は自由に更利が可能で、吊に取利の情報 が保たれている。過去の分はスクリーンショット(様式 4 の PDF)のようにし、デ
	一タとしては、「最新分のみ」蓄積していくのはいかがでしょうか。
D校	見る側の立場からすると最新のものだけでいいのではないか、とは思います。
D 1X	ただ、上記で述べられているように「複数年度のものを公開する必要がある」なら、
	掲載する意味はあるかと思います。
E校	学校としては、過年度の振り返りなど行い次の方針などを決める際、複数年遡って
	検証できる方が今後の予測ができやすいと考える。
	国家試験合格率や退学率などは、場合によっては年度によって大きく異なることが
	ある。受験生にとっては複数年の情報を見ることによって、学校運営が安定的に行
	われているのか、年度によってバラツキが大きく不安定なのか、実際の教育の質を
	判断するのに有用で、逆を返せば、安定的にしっかりやっている学校にとって有利
	な情報となると考える。
	しかしながら、データ量が増えると言うことは運営面でランニングコスト増となり、
F 校	過去5年分または10年分など、期間を区切る必要性を感じる。 変化がどのようであったか、時系列的に比較することは重要で、過去の分を見るだ
r tx	変化かどのようであったが、時系列的に比較することは重要で、過去の分を見るに けでなく、将来のことを考慮するのにも役立つと思う。
G校	かくなく、行木のことをち慮りるのにも役立っと応う。 本校では毎年全学科の最新データを公開している。過去のデータファイルを保存し
U 1X	ているが、数年にわたってデータを記録できるのはよいと思うが負担については考
	慮が必要である。
H校	弊校では複数年度の公開をしていますが、複数年度にわたりみることにより、改善
	状況等の把握・比較が容易になると感じます。
I校	愛知県庁私学振興室では参考文献は1年、一般文書は3年の保存義務があります。
	弊校は2年課程でもありますし、2年から3年が妥当かと思います。過去を必要以
	上に振り返って何か学生等にメリットがあるようには現時点でちょっと思いつきま
	せん。

□B2 入力の簡素化、データの整合性

(1) 資格

学校	意見
A 校	資格管理をする必要はありません。前年度データの資格取得実績数の変更ができ、
	新たな資格は、その欄に追加すればよいだけです。
	主な学修成果は、資格だけでなく、コンテスト、イベント、社会的なかかわりな
	ど、多様な形態で評価しています。
B校	適切
C 校	確かに便利と思います。ただ学校によって毎年、見せ方が違うと思います。たとえ
	ば合格率、受験者率の高い試験を公表したい等々あると思います。
D校	操作してみて便利だと感じました。学科ごとに5つというのが適当かどうか、とい
	うところも検討が必要かと思いますが、使いやすいです。
E 校	取得する資格はそう変わるものでも無いので、別テーブルでの管理がよいと思う。
F校	良いと思う。標準化(固定化)されている情報についてはこのような別テーブルが
	適していると思う。
G 校	入力しやすいと思った。
H校	繰り返し記述しなくても済むよう配慮いただき有難うございます。入力時間の短縮
	につながると思います。
I校	特に意見はありません。

(2) 科目

学校	意見
A校	良いと思いますが、UIでは、入力者は別紙様式4のイメージで入力しますので、
	どこに何を入力するのか戸惑わないようにする必要があります。
	別紙様式4の作成手順は、前年度のデータを丸ごとコピー(塊ではなく)し、更新
	が費用な箇所のみ修正します。更新が必要な箇所は、一部の場合と全部の場合があ
	りますが、別紙様式の大項目に従って、更新しますのでそのような UI になっている
	ことが望まれます。入力担当者は、こことここは、全部内容を変える、ここは一部
	内容を変える、ここの部分は年度によって変えるなど、記憶していますので、その
	流れに沿った UI であればストレス無く利用できます。
B校	科を限定せず、学校全体での実習がありますので、科目テーブルがあれば便利です。
C 校	充実した機能です。実用的かと思います。
D 校	非常にまとまっていていい情報だと感じました。ただ、ここまで詳細を公開すると
	(このシステム云々ではなく)やはり、常に最新情報としておくことが必須となり、
	業務としての更新作業はそれなりの負担になると感じました。
E 校	別のテーブルから吸い出すことができれば、連携している授業が変更になったとし
	ても、すぐに入れ替えることができるので作業が少なくて済む。
F校	選択によって情報を入力することができるのも便利。但し当校の場合、科目情報が
	年度で変わることはよくある。
G 校	よいと思う。
H校	当方の理解力不足で「科目テーブル」が、どの部分を指しているのかが分かりませ
	ん。どこから選択できるのか分かりません。
I校	特に意見はありません。

(3) 教育課程編成委員

学校	意見
A 校	当校では任期は1年ですので、毎年更新されます。前年度の委員のデータがコピー
	できればいいので、別に管理する必要はありません。
B校	委員のテーブルがあれば便利です。
C 校	充実した機能です。実用的かと思います。
D校	当校でも2年以上の方が多く、このやり方でよいと思います。
E校	実際に再任する委員が多いので、参照できるのは良い。また、一度退任し数年後に
	再度委員を委嘱することもあるので、データが残っていると便利である。
F校	これも、2年以上であるケースは多いので、変更部分のある場合のみ選択して入力
	すればよいというのは手間が省ける。
G 校	よいと思う。
H校	当方の理解力不足で「別テーブル」が、どの部分を指しているのかが分かりません。
	どのように参照し登録できるのか分かりません。
I校	特に意見はありません。

(4) 学校関係者評価委員

学校	意見
A 校	当校では任期は1年ですので、毎年更新されます。前年度の委員のデータがコピー
	できればいいので、別に管理する必要はありません。
B校	委員のテーブルがあれば便利です。
C校	充実した機能です。実用的かと思います。
D校	当校でも2年以上の方が多く、このやり方でよいと思います。
E 校	前項で述べた内容に準ず。
	また、学科をまたいで組織される場合、全体を眺めながら適任者を選ぶことができ
	効果的と考える。
F校	これも教育課程編成委員の場合と同様、作業が簡略化されて良いと思う。
G 校	よいと思う。
H校	当方の理解力不足で「別テーブル」が、どの部分を指しているのかが分かりません。
	どのように参照し登録できるのか分かりません。
I校	特にありませんが、①②③同様、公開する以上第三者に見てもらいたいので、見や
	すければ特に問題ないと思います。

□B3 まとめてコピーする機能

学校	意見
A校	塊ごとではなく、全部コピーがいいです。その際、公開版・非公開(編集中)のフラ
	グをお願いします。アカウントで作成担当者が分かるようになっているといいです。
B校	年度情報のコピーは必要不可欠です。
C 校	非常にいいかと思います。微修正で済むところはありがたいです。ただ Excel では
	全体を見ることができ、イメージがしやすいです。コピー出来ることは嬉しいがい
	ちいち画面を切り替えないといけないのが手間に感じました。私の使い方に問題が
	あるのかもしれませんが。
D校	とても便利でよいと思います。
E 校	作業に慣れるまでは理解が足らず、過年度の情報を入力しているのか、新年度の入
	力を行っているのか分からなくなる事があった。実際に検索画面で情報が表示され
	ないことで気づいた。
F校	これは所謂「一発入力」のようなもので、非常に便利。近い例で言えば郵便番号を
	入力しただけで市町村名まで出てくるシステムに似ている。
G 校	よいと思う。
H校	当該年度の入力の手間を省く御配慮をいただき有難うございます。当方の理解力不
	足で、どのように利用したらよいのか分かりません。
I校	特にありません。

□B4 使い勝手

学校	意見
A 校	使い勝手が良くないので、改善を望みます。
	具体的には、資料を添付いたします。
B校	初期段階では、特に問題はないと思いますが、1 年後の更新時に使い勝手がよけれ
	ば良いと思います。
C 校	システム上、仕方は無いのですが、入力画面の切り替えが面倒に感じました。
D校	一つ一つのメニューを選んで順調に見ていければ使い勝手に問題も感じないのです
	が、途中でメニューを間違えて選択してしまい慌ててしまったりすると、やはり「戻
	る」ボタンを押してしまい、エラーとなってしまいます。これは操作説明書にも記
	されており、仕方ないことだと思いますが、操作するのが受験生や保護者も想定さ
	れているのでしたら、少し検討の余地があるように思います。
E 校	慣れてしまえば特段問題は無いと思う。初めに実務者講習のようなもの(実際の操
	作動画学習でも可)が組めるともっとスムーズかもしれない。
F校	特に大きな問題は感じない。
G 校	1つ1つ戻らないと入力できないので、そこが使い勝手が悪いと感じた。
H校	当方の理解力不足で十分に使いこなせず、間違った操作方法をとっているからだと
	思いますが、入力に手間取っているのが現状です。登録の際に、どの項目が様式の
	「どこの部分」なのかが分かりにくく感じます。様式4の全体像とすぐに比較確認

	できず、現在全体のうち、どれくらい入力できているのかが把握しづらく感じてい
	ます。
	また入力したものを誤って削除した場合、元に戻す機能があると助かります
I校	すべて操作したわけではありませんが問題ないと思います。

■C データベースシステムに求める非機能要件

口01 アカウントの権限の設定

学校	意見					
A校	別紙様式4は学科単位で作成しますので、					
	・全体管理者-所属法人の設置者情報、学校情報、その他すべて編集可能					
	・学校学科管理者-別紙様式4の編集可能					
	・一般利用者-閲覧のみ					
	それだけで良いかと思います。					
B校	アカウントの管理者はシステム管理者に限定すべきです。					
C 校	広く一般利用者に見ていただく場合にアカウントの発行は必要なく、だれでも見て					
	いい状態にできないものでしょうか。学校側は特に問題ないと思います。					
D校	管理者のアカウントは「設置者」「学校」「学科」別々に与えられると便利かと思い					
	ます。たとえば、学科長に対象となる学科のみの編集責任者となってもらうなど、					
	学校側での運用も分担しやすくなります。					
E 校	レベル、または領域を分けて管理者権限を設けることは必要と考える。最終的にデ					
	一タを入力し細かい確認を入れるのはその分野に詳しい担当者になるため。修正が					
	必要な際、各担当者が修正し、それをシステム管理者に報告さえすれば済む。そう					
	でなければ、いちいちシステム管理者に変更の依頼を行い、変更されたか確認する					
	手間が増える。					
	システム内で変更履歴が残り、それがシステム管理者に可視化することができれば、					
	不正な操作ができなくなる。					
F校	やはりデータの変更や偽造などの悪意的な編集が他者によって行われてしまうのは					
	良くない。自由に参照できるとは言っても内容は重要な個別データである。アカウ					
	ント権限を設定することは、情報の正確性保持に寄与することと思う。					
G 校	よいと思う。					
H校	一般利用者側が編集できないようお願いしたく思います。					
I校	学科単位での認定ではあるが、学校全体で取り組んでいると思うので、学校だけで					
	良いと思います。複数の方が触れる環境は弊校は避けています。					

□C2 不正アクセスに対するセキュリティレベル

学校	意見
A 校	ID、パスワードによるアクセス制御で、「標準以上のセキュリティレベル」で良いか
	と思います。運用体制が重要で、セキュリティは破られるという前提で、どのよう
	な被害を想定し、その対策をとるとともに、日常の侵入検知、ログの精査、インシ
	デント発生時の対応、連絡体制など運用方法を決める必要があると思います。
B校	不正アクセスを防ぐことはできませんので、一定のセキュリティーレベルを維持す
	るしか方法はありません。
C 校	一校なら狙われなくても複数校が集まれば、リスクも高まると思います。この段に
	きてですが、必要以上のセキュリティレベルを上げてまで管理しなくてはならない
	サーバーにデータを保存するのは心配です。また改ざんが行われた場合、どこまで
	責任を負われるのか、その点も不安です。
D 校	現在、当校では学校ホームページで学校情報や財務情報を公開しているので、情報
	そのものについては、必要以上にガードする必要はないように感じます。ただ、Web
	サイトに対する攻撃や不正アクセス、ウイルスに対してはしっかりとした防御が必
	要かと思います。
E 校	重要機密が入っているわけでも無いので、通常のレベル程度で十分と思われる。た
	だ、不正アクセスによって情報が書き換えられると、思いもよらない事になるかも
	しれないので、不正な動きを監視するレベルは少々高い方が良いと思われる
F校	具体的な方法は思い浮かびませんが、情報のセキュリティ保持については厳格にお
	願いしたいと思います。
G 校	セキュリティレベルは必要である。
H校	不正アクセスにより情報改ざん等があってはならないので高いセキュリティをお願

	いしたいと思います。
I校	すみません。どの程度がよいのかちょっと分かりかねます。

□C3 サーバーのパフォーマンスレベル

学校	意見
A 校	認定学科数を 3000 として、学校アカウント数 6000 人が利用するシステム、使い
	方によりますが、別紙様式4が7月末までに公開ですので、4月から7月が使用の
	ピークとなります。ページアクセス数の見積もりとその対応とデータベースの処理
	能力の検討が必要です。見積もりには、別紙様式4を1つ作成するのに何回ページ
	アクセスするかで計算します。実験サイトでのユーザテストが必要になります。少
	ないページアクセス数で別紙様式4の公開につながるように UI を考えれば、パフ
	オーマンスは上がります。
	一般利用者は、サイトへの注目度等で変化しますので、一時的なアクセス増とな
	ります。上記の時期的なアクセス増への対応を考えると、サーバ増強が可能なクラ
	ウドベースがよろしいかと思います。
B校	パフォーマンスレベルは一般常識的な程度を期待します。
C 校	本校では、Microsoft Azure を使った学籍教務システムを利用しております。クラウ
	ド型でオンプレミスとは違って場所を選ばず自由にアクセスできることは良かった
	のですが、困ったことに処理速度が非常に遅く、仕事にならない時があります。-
	般利用者の想定は分かりませんが、恐らく混雑すると見るに堪えないと思います
D校	現在のアクセススピード、操作性より下回らないようにして欲しい、というのが要
	望です。
E 校	各校のデータ編集時期は短期間に集中する可能性が高いので、ゆとりを持った回線
	速度と容量が求められると考える。入力する側とすれば、画面がもたつくのは非常
	にストレスとなる。ただ、その期間は長くないので、分野毎に入力時期を分けるな
	どの対策で乗り越えることで対処できると思う。
	利用者もアクセスが増すのは受験シーズンに集中する可能性がある。
	考えてみると、春に入力作業が集中し、秋に一般アクセスが増えると言うことで、
77.14	一年中、やや高めのパフォーマンスが要求されるかもしれない。
F校	やはりアクセスが速いということは魅力ですが、一時にかなりの同時使用が集中す
	ることと思います。それによるトラブルで所謂「故障」状態が起こってしまうのも
Q 14	考えもの。ある程度の時間がかかるのは止むを得ないことと思います。
G校	よいと思う。
H校	今回の実験システムでのアクセス速度等で不便さはありませんが、今後アクセスが
	集中した時に大きく速度等が変わり、遅くなると業務に支障が生じるので、ぜひと
T 14	も高いレベルのパフォーマンスをお願いしたく思います。
I校	特にありません。

■全体的な自由意見

学校	意見						
A校	別紙様式4の作成だけでなく、入学者にとってメリットがあり、専門学校にメリ						
	ットがあるサイトが望まれます。大学のポートレートサイトの例など参考に、運用						
	やコンテンツの内容など検討されればいいかと思います。「作ったはいいが、利用さ						
	れない」、「データ更新しているのに、見られない」ということがないように望みま						
	す。						
B校	前述の通り、学校毎の比較が容易になることによって内容が似た物になっていくと、						
	逆に学校の特色が薄れることが心配です。「基本情報」の開示の本来の目的が損なわ						
	れることのないよう、年度更新時に再検討・再調整が必要になるかもしれません。						
C 校	高等教育段階の教育費負担軽減の支援校要件なども公開できるようになればいいと						
	思います。シラバスの検索、実務経験教員が担当する科目等それらにも対応できる						
	ありがたいです。						
D校	特にありません。いろいろと勉強になりました。ありがとうございました。						
E校	情報公開において、医療系の一部の学校は未だに国家試験を受けさせない学生を作						
	ることによって見た目だけ高い合格率を表記しようとする所がある。そのような学						
	校を浮き彫りにするようにできる集計方法を、目立つように情報公開できればと思						
	う。						
F校	このようなシステム利用については、個人的には不慣れな部分が多く、このアンケ						

	ートに関する回答が的を射ているものかどうか自信がない。 ただ、日常生活の経験で言えば、毎回同じ情報を入力して申し込む各種の登録は、 その煩雑さ(手間)だけで遠ざかってしまうユーザーもいる。一校あたりの情報量 の極めて多いものであるので、手間を避けることとミスをなくすことは重要なファ
	クターであると思う。
G校	特になし。
H 校	職業実践専門課程として情報公開・情報提供をおこなうことは、学校自身の大きな
	確認の場であり、時代の変化や社会の変化に対応するための学校内部の質を高める
	│ ことにもつながる点で非常に重要であると思います。
I校	このような統一フォームができるとよいと思います。ホームページ上での情報提供
	も全専各連がレイアウト例を提示しているのも関わらず各校バラバラで職業実践専
	門課程の認知度が低い要因になっていると思います。

また、初期データ入力を行った事務局スタッフからは、多くの多様なデータを入力した ことで、さまざまな具体的意見が表出された。いずれも、要件定義と直接関係したもので はないが、間接的に関係しているものもあり、参考までに、列挙しておく。

- 【1】 教育編成委員会での委員の登録時、委員の種別の欄に①~③のいずれも記入していない学校がある。いずれかを選択しないと、今は入力エラーになってしまうので、「その他」を選択できるようにしてほしい。
- 【2】 「一覧」と「登録」のボタンが別々に設置されていて、登録しにくい。「一覧」の 画面で「登録」ボタンがあった方が良いのではないか。
- 【3】 「登録しました」が画面下に表示されていて、連続して登録しているとき、確認するのにスクロールが必要である。うっかり確認せずに上書きして登録エラーになった情報を上書きしてしまって、再度入力しなおししなければならなかった。
- 【4】 28年度学校基本情報には
- 科目 ①場所 校内 or 郊外
 - ②教員 兼任 or 専任
 - ③企業との連携 有のみチェック

このうち、①、②は前年度まで記述がないが、未入力にするとエラーになり登録できない。

- 【5】 科目や学校関係者評価委員や教育課程編成委員などで、「『基本情報をあらかじめ入力』してそれをコピーして使う」のは直感的に難しいので、逆に、各年度で入力した科目や委員をシステム側で自動的に基本情報として登録してそれをコピーして使えるようにできないでしょうか?
- 【6】 【5】に関連して

自動的に登録した科目や委員の基本情報の並びをユーザが指定できるようにできるとわかりやすくなると思う。

- 【7】 基本情報を学科ごとに分けて管理しているが、学科共通の科目や委員もあるので、 学校単位でいいのではないでしょうか。学科単位だと何回も入力することになり、手間が かかります。
- 【8】 基本情報を使うとき、1回の科目の登録でコンボボックスから1つ基本情報を選

んでコピーしてそれを修正との手順になっているが、科目が多いとどれをコピーしたかわからなくなる。基本情報を一覧表示して、コピーするものを複数選んで先にすべて登録し、 それを修正する方がわかりやすいのではないでしょうか。

また、そのときの修正にあたって、科目一覧には科目名だけでなく年次学期時間等、主要ないくつかの項目値を表示してもらえると、選びやすいと思います。

- 【9】 サークル活動など、「ある」場合にチェックする項目は、未チェックのときに「ない」なのか「未入力」なのかの判別がつかない。
- 【10】 csv データアップでの入力ができると、一つひとつキーボードから入力しなくてもよく、効率的だと思う。特に入力量の多い科目、科目基本情報、学科、各委員など。
- 【11】 【5】に関連して、"システム側で自動的に基本情報として登録する"のは難しいので、科目や XX 委員の年度データ登録のとき、「基本情報として保存」といったチェックボックスを設け、保存の必要があるか否かを指定できるようにするといいのではないか。
- 【12】 「削除」のとき、確認なしでいきなり消えるので、誤操作したときにダメージが大きい。
- 【13】 入力画面が細かく分かれすぎていて、画面数が多く、今、何を入力しているのかわからなくなる。

以上、各方面からの意見聴取の内容を踏まえ、要件定義の観点から、各項目について、 肯定的な内容、否定的な内容、その他に分けて表にまとめる。

表 4 意見聴取結果の整理

	スキーは光神状紀木の正生												
区分	項目		項目		項目		項目		項目		肯定的	否定的	その他
必要付	必要性・存在意義		一元的な情報管理に対 しては皆肯定的。特に 利用者の立場からは。	既存の基本情報公開方 法との並立は NG	データベースシス テムを活かした他 校との比較にニー ズ								
	複数學	年度	必要性は大半が認識。 利用者側は明らかにそう。ただ、無限的に記録することが果たして必要か? 3年~5年ぐらいに期間限定が妥当な線か。	最新のみでよいとの意見もある。その場合は、大学ポートレート同様、項目の中で過去3年分を記録するなどの仕様が必須と考えられる	それはルールに従 う、という受動的な 意見もある。								
	入力簡	資格	基本は皆肯定的。試用 してみて、「ああ、これ は関う」という印象を	その都度でよい、1年ごとに変わるからよい、といった否定的な									
	素 化 •	科目	感じる。 特に、コピーは必須。	意見があったが、その 回答者は、「コピー」機 能は全部まとめてコピ ーという意見。確かに、									
機能性•	データ整合性	教育課程編 成委員		全部まとめてコピーする機能があれば、実質的に2期分の情報をいっぺんに管理している									
· 操 作 性		学校関係者 評価委員		ことになるので、それはそれで貴重な考え方									
	コピ	_			やるならまとめて 全部コピー								
	使いり	勝手	半分以上は「使いやすい」と肯定する印象。	ただ、階層が深いので、 今どこにいるのかわからないという構造であることも否めず。 「戻る」ボタンを押せないことが一番ネック	動作のパラカン・カーでは、アースが、大きの観の人の観の人のできるをある。これでは、アースが、大きののできるが、大きののでは、アースが、大きののでは、大きののでは、大きのでは、はいきのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、ないは、ないは、はいいは、ないは、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、は								
-11-	権限		当然必要。	学科単位は不要ではないか(学校が最下位階層でよいのではないか)という意見要検討	すべてシステム管 理者が行うべきと の意見もあり								
非機能要件	セキ	ユリティ	当然大切		バックアップなど の保全処置も万全 に								
14	パフォーマンス		今のレベル以下になら なければ。		全校なら 3,000 課 程があって、時期が 集中することを考 慮すべき								
自由			きちんとやっている学 校がきちんと評価され るために絶対必要										

● 付録

A 要件定義書

平成30年度文部科学省 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業

職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義

要件定義書

平成 31 年 3 月

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構

目次

1	术	:—	トレ	_	トシ	ステ.	ム導ノ	入の	目的			 	•••••	1	
	1.1	ポー	・トレ	· — I	・シス	テム導	入の前	前提				 		1	
	1.2	ポー	・トレ	· — I	・シス	テム導	入の日	目的				 		3	
			•						•						
	•	.2.0	нь	, 0	. <u>æ</u> 1	י אד פוי	,, <u>т</u> п	17.00	HE IV			 			_
2	ボ	: —	トレ	_	トシ	ステ.	ムのキ	概要	• 構	想.		 		6	
	2.1	シス	テム	化の)対象	領域						 		6	
	2.2	シス	テム	の相	既念							 		7	
	2	.2.2	シス	くテ .	ム構月	这図						 			8
3	ポ	? —	トレ	_	トシ	ステ.	ムの	業務	フロ	– .		 		12	
	3.1	認定	校に	おけ	ナる業	務フロ	ı —					 		12	
	3.2	利用	者側	にま	おける	業務フ	, n —					 		12	
	3.3	シス	テム	運月	月管理	におけ	る業績	務				 		14	
4	機	能	要求				•••••	••••		•••••	•••••	 •••••	•••••	15	
	4.1	要求	機能	à								 		15	
	4.2	「暗	美業実	践具	∮門課	程の基	本情報	報」 の	要件			 		15	
5	入	力	要求	اع	出力	要求						 		23	

	5.1 入力	り要求	23
	5.1.1	入力要求の一覧	23
	5.2 出力	力要求	69
	5.2.1	出力要求の一覧	69
6	品質	• 性能要求	86
	6.1 シス	ステム全体についての要求	86
	6.1.1	性能要求	86
	6.1.2	品質要求	86
	6.2 個々	マの機能に関連する要求	86
		性能要求	
	6.2.2	品質要求	86
_		ュリティ要求	00
•	セギ.	⊥リナイ安水	
	7.1 セキ	キュリティポリシー	88
	7.2 不正	Eアクセスの防止	88
	7.2.1	不正侵入への対策	88
	7.2.2	内部利用者のアクセス制御	89
	7.3 情報	最の保護	89
		伝送データの保護	
	7.3.2	『データベースの保護	89
	7.4 ウイ	イルス対策	90

用語の定義

■ 専門学校(専修学校専門課程)¹

職業若しくは実生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として設置される専修学校のうち、高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者を入学資格とした専門課程を設置する学校。高等教育機関として位置付けられている。所定の大学入学資格を満たしており、かつ、この課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるもの)を修了した者は大学への編入資格が認められる。これらの課程のうち、文部科学大臣が認めた課程の修了者については「専門士」の称号が付与される。また、修業年限が4年以上で、総授業時数が3,400時間(124単位)以上あるなどの要件を満たし、文部科学大臣に認められた課程の修了者については、大学院への入学資格が認められる。これらの課程のうち、文部科学大臣が認めた課程については「高度専門士」の称号が付与される。

■ 職業実践専門課程2

専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とし、企業等と密接に連携して、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものとして、文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするもの。企業と連携して、実習、実技、実験又は演習の授業を行っていることが認定の要件の一つになっている。2013 年 8 月に関連規定が導入された。

■ ポートレートシステム (職業実践専門課程ポートレートシステム)

インターネットを活用し、職業実践専門課程認定校が、同課程に認定された課程(学科、コース等)ごとに公表すべき「職業実践専門課程の基本情報」を編集し、一般利用者がその情報を一元的に参照できることをねらったデータベースアプリケーションシステムの仮の名称。大学等においては、大学改革支援・学位授与機構が主体となって、大学等の情報を一元的に管理する「大学ポートレート3」がある。本ポートレートシステムは、その趣旨を専修学校職業実践専門課程に適用してオリジナルなものとして開発を企図しているものである。

¹ 大学改革支援・学位授与機構「高等教育に関する質保証関係用語集」より http://jheds.ipn.org/mediawiki/index.php?title=専門学校(専修学校専門課程)

² 大学改革支援・学位授与機構「高等教育に関する質保証関係用語集」より

http://jheds.jpn.org/mediawiki/index.php?title=職業実践専門課程
3 ホームページは https://portraits.niad.ac.jp/である。

要件定義にあたって主として参照する資料

ポートレートシステムの要件定義に当たっては、「職業実践専門課程の基本情報」 に関する定義や指針を参照する必要がある。本書では主に下記の二つの文書を参 照している。

■ 職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦等の手 続について(依頼) (以下「文科省依頼文書」)

職業実践専門課程に認定された専門学校が行うべき手続きに関して、毎年(8月ごろ)文部科学省が都道府県に対して、認定校の推薦を依頼する形で発する文書である。この文書の中に、職業実践専門課程の基本情報など、公開すべき情報が具体的に示されている4。

■ 全専各連「職業実践専門課程」に係る手引書 (以下「全専各連手引」)

職業実践専門課程の認定要件の具体的な指針として、全国専修学校各種学校総連合会(以下「全専各連」)が定めた文書である。職業実践専門課程の基本情報の 各項目の記述方法や情報公開の方法などに関する具体的指針が示されている5。

⁴ 平成 30 年度の場合、次の URL にある。

 $http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2018/08/23/1339275_1.pdf$

⁵ 本資料は次の URL からダウンロードできる。

 $http://www.zensenkaku.gr.jp/shokugyo_jissen_shishin/index.html$

1 ポートレートシステム導入の目的

1.1 ポートレートシステム導入の前提

「ポートレートシステム」の導入は、職業実践専門課程として認定された専修学校が公開すべき情報を一元的に管理し、情報の提供側(専修学校)、情報の利用側(一般利用者など)双方にとって、現状に比べてメリットをもたらす状況を産み出すことが目的である。



図 1 文部科学省ホームページ(「職業実践専門課程」の手続き)6

図 1は「職業実践専門課程」に関する手続きを示した文部科学省のホームページである。 図の下部にある、「職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦等の手続き について(依頼)」をクリックして表示される PDF は毎年更新され、そこでは、職業実践 専門課程として認定された学科・コース等を有する専修学校(以下「認定校」)が毎年行う

^{6 &}lt;a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1339274.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1339274.htm (2019年2月4日)

手続きが示されている。

その手続きのうち、情報システムの観点から最も重要な情報は、認定校が毎年ホームページ等を通じて公開しなければならない「職業実践専門課程の基本情報」(以下「基本情報」)の様式(図 2)である。



図 2 職業実践専門課程の基本情報 (様式4の例)

図 1 の最下部にある「別紙様式…」のリンクは、図 2 に示した基本情報の様式を、表計算ソフト (Microsoft Excel) のファイル形式で入手するためのものである。

認定校はこのリンクから必要なファイルを入手し、「職業実践専門課程として認定する 専修学校の専門課程の推薦等の手続きについて(依頼)」の内容にしたがってファイルを編 集し、ホームページ上でこれを公開しなければならない。

表計算ソフトのファイル形式で基本情報を編集してホームページ上で公開することは、一見すれば、認定校側、公開された情報を利用する側にとって有用なことである。しかし、表計算ソフトの1つのファイルは、ある年度のある認定課程に関する情報しか格納できない。すなわち、他の年度や同一の学校の他の認定課程と独立した存在になっている。また、情報を公開するのはホームページ上の任意のページである。これらのことが、情報システムの観点から見たとき、数多くの問題を抱える要因であるとの認識が、ポートレートシステム導入の検討の出発点となっている。

本書では、以下、

- ・文部科学省が定めた、基本情報として公開すべき項目を所与とする
- ・基本情報を一元的に管理する手段としてデータベースアプリケーションを ポートレートシステムとして位置づける

ことを前提として、そのシステムがもつべき要件に関する記述を中心に展開していく。

1.2 ポートレートシステム導入の目的

本事業において開発するシステムは「データベースシステム」を活用し、Webアプリケーションによってユーザーとのアクセスを可能にするデータベースアプリケーション(DBアプリ)であることが前提である。

この DB アプリの目的は次のようにリストアップできる。

● 利用者による一元的なアクセス

職業実践専門課程認定校(以下、「認定校」)や認定課程そのものの情報を知りたい 一般ユーザーにとって一元的なアクセスを可能にする。

● 基本情報の編集の効率化

認定校にとって、現状「職業実践専門課程の基本情報(以下、「基本情報」)」として 毎年提出を求められている表計算ソフトファイルの編集の手間を改善する。

● 基本情報の整合性の確保

認定校にとって、基本情報を編集するための表計算ソフトファイルの情報の整合性 を保つ。

以下、これら三つの目的のそれぞれについて、背景を含めた詳細を記述する。

1.2.1 目的 1: 利用者による一元的なアクセス

全専各連指針では、情報公開ページの内容が具体的に示され、かつ、図 3 のように、トップページに情報公開ページへのリンクを設定するレイアウトが示されている。



図 3 全専各連指針が示したホームページレイアウト事例

多くの専門学校がこの指針にしたがって、「情報公開」のページを別に用意し、トップページから一度のクリックで表示できるようにしているが、そうでない学校も多い。要するに、一般利用者は、基本情報を「探す」ことに手間をかけなければならない現状にある。 苦労してやっと探し当てた挙句、それをクリックしたら「Not Found」になったり、何年も更新されていない古い情報であったりするケースもある。

たとえ、すべての学校が全専各連指針にしたがった情報公開を行ったとしても、学校のホームページを検索するところから始めて、いくつかの手間をかけなければ目的とする情報にたどり着かない。この不都合な状況を解消し、一元的に全国の基本情報にアクセスできる仕組みを構築することが、ポートレートシステムを開発する第一の目的である。

1.2.2 目的2:基本情報の編集の効率化

基本情報を公開するひな形として提供されているものは、表計算ソフトのファイルである。一つのファイルはある年度における1つの認定課程に対応したもので、他の年度のものと独立であるし、同じ学校の他の認定課程のものと独立である。しかも、入力すべき項目は示されているが、その入力欄は白紙に等しいものである。

このファイルを編集する上で、基本的な機能を利用するという意味で、表計算ソフトの 操作に関する習熟度の違いは問題にならないと思われるが、過去の年度からの情報や同じ 学校の他の認定課程の情報からの継承という側面で考えると、マクロ機能を活用するとか、 パラメータテーブルを用意して入力の簡素化を図るとか、そのような工夫の可能性が感じ られる。この可能性の実現を考えると、そこでは操作に関する習熟度の違いが影響するものと推察でき、結果として、基本情報の編集の効率性に影響を与えると思われる。

このような影響を考えると、コピーすることが可能なところはコピーする、パラメータから入力することを可能にする、必要に応じてパラメータを自身で登録できるなど、多くの認定校で共通に使用でき、かつ、効率化を図ることができるようにすることも、ポートレートシステム開発の目的の一つであると考えられる。

1.2.3 目的3:基本情報の整合性の確保

ひな形として提供されるファイルの入力欄は「白紙」の状況である。白紙であるからまったく自由に、どのような性質の情報も受け入れられるメリットがある反面、さまざまな情報の不整合を産み出す温床にもなりうる。

典型的な例として、「学校名」が挙げられる。職業実践専門課程の認定単位は、通常、ある「学校」の一つの「学科」である。一つの学校にある複数の「学科」が認定を受けている場合、当然、両者の同一年度における「学校名」は同じである(図 4)。

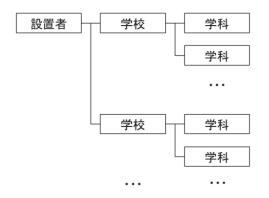


図 4 設置者、学校、学科の関係

しかし、現状では、ファイルは学科ごとに独立に編集するため、両学科の基本情報における「学校名」が異なる可能性がある。常識的にこのようなことは起こりにくいが、専門学校の場合、学校名が変わることがままあり、このような場合に、一つは修正したが、もう一つを修正し忘れたといったケースが起こりうる。学校名にカタカナや数字がある場合、一方が全角、他方が半角になっているというケースもありうる。

データベースシステムを前提にポートレートシステムを開発する一つの目的として、このような情報の不整合が生じないようにすることが考えられる。

2 ポートレートシステムの概要・構想

2.1 システム化の対象領域

ポートレートシステムを社会的情報システムの視点からとらえると、職業実践専門課程に関する情報を認定校が一元的に編集し、その情報を必要とする利用者が一元的なユーザインタフェースの上で利用する、学校と利用者をつなぐための情報システムの一つとして位置付けることができる。

認定校が公開すべき基本情報は規制によって決まっているが、認定校が基本情報を導き 出す学務システム、教務システム等は、それぞれの学校が運営管理するシステムとして位 置付けられるので、システム化の対象外として考えられる。一方、利用者がポートレート システムから得られる情報を利用して何がしかの情報処理を行うシステムは、それぞれの 利用者のニーズは異なるので、これもシステム化の対象外として考えられる(図 5)。

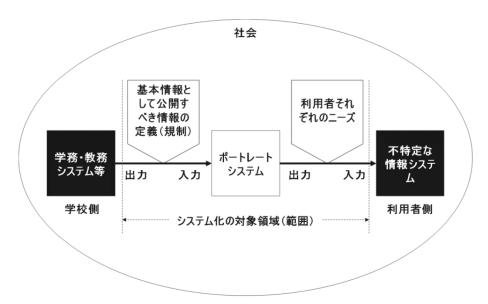


図 5 ポートレートシステムの対象領域

なお、図 5 で「利用者それぞれのニーズ」を範囲に含めているのは、現状、基本情報を表計算ソフトの形式で公開する方法は、出力が画一的であるのに対し、ポートレートシステムでは、このニーズをとらえて、情報システムの視点から利用者が利用しやすいように開発することが想定されるからである。

2.2 システムの概念

2.2.1 システムの概要・概念

前節で定義したとおり、ポートレートシステムは<u>認定校と、認定校が公開する情報の利用者を結ぶインターフェース</u>として位置付けられ、ここで<u>公開すべき情報は「職業実践専</u>門課程の基本情報」として制度上定められたものである。

ポートレートシステムを実際に操作するのは、認定校と一般利用者であるから、誰もが 操作できるインフラの上に作る必要がある(図 6)。

また、そのインフラの上に立てられるものは、

- ・学校(認定校)が基本情報を編集する仕組み(A)
- ・一般利用者が基本情報を参照する仕組み (B) ということになる (図 6)。

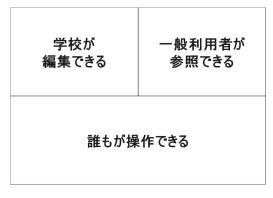


図 6 ポートレートシステムの概念

Aでは、数百にものぼる認定校が、自身の学校にある学科・課程に関する情報を編集する機能が求められる。そこでは、自校の情報のみを編集する権限の設定が求められる。

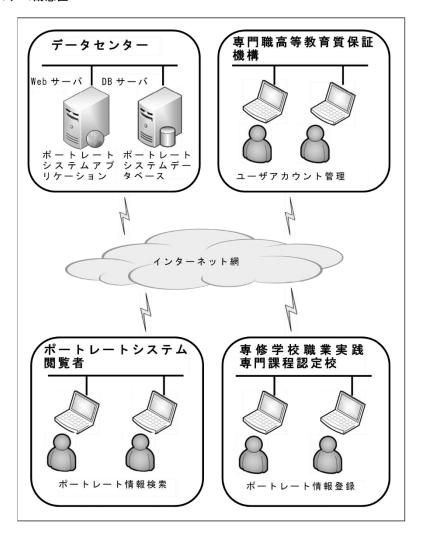
一方、Bでは、インターネット上の検索エンジンと同様、参照したい学校の情報を検索できる機能が必須であると考えられる。また、基本は、学校単位の検索になるが、学校を横断した情報、たとえば、美容学校を指定して、指定した学校の情報項目をまとめて入手し、各種資料の作成に役立てるなど、利用者個々のニーズに合った情報システムのインプット情報を獲得するための検索機能などが必要とされる可能性もある。

2.2.2 システム構成図

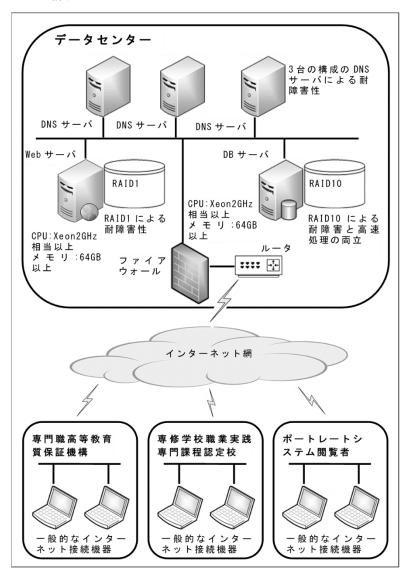
本事業では、誰もが操作できるインフラ(インターネット+ブラウザなど)の使用を前提とし、学校が提供する情報として「職業実践専門課程の基本情報」を所与とし、これを認定校が編集して、一般利用者が参照するという概念のもとにシステムの構成をイメージした。

システム面から見た概念図、ハードウェア構成図、ネットワーク構成図、ソフトウェア 構成図は次に示すとおりである。

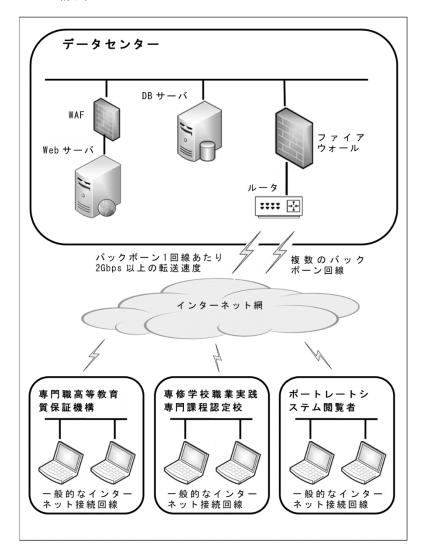
① システム概念図



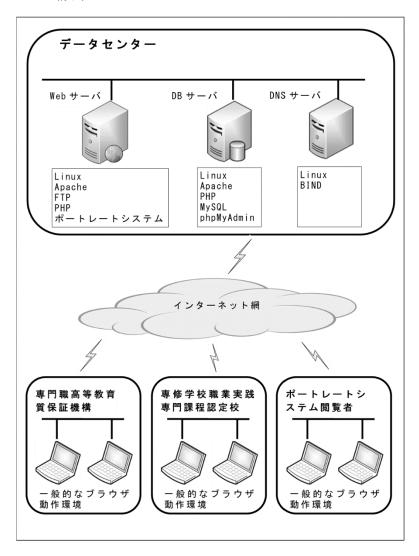
② ハードウェア構成図



③ ネットワーク構成図



④ ソフトウェア構成図



3 ポートレートシステムの業務フロー

3.1 認定校における業務フロー

ポートレートシステムは、その目的から、インターネット上に配置されたデータベース アプリケーションとして稼働することが想定される。ポートレートシステムの範囲におい て、認定校では、そのアプリケーションを操作した「基本情報の編集」が主業務である。 一般に、データベースアプリケーションでは、情報を一元的に、かつ、整合性を保って 管理するために、テーブルの構造が多重になる。したがって、情報の編集操作は、通常の 表計算ソフトを平面的に編集する場合に比べて立体的なものにならざるを得ず、初期導入 の段階において、操作者の「研修」業務が必要になる。ひとたび「研修」を受ければ、基 本情報の編集業務は、年度ごとの編集関連業務の繰り返しになるので、年度ごとの業務は、 次のような流れになることが想定される。

- ・編集すべき基本情報の内容確認
- ・基本情報の編集 (ポートレートシステムの操作)
- ・編集結果の確認 (ポートレートシステムの操作)

まとめると、認定校において想定される業務フローは図 7のようになる7。

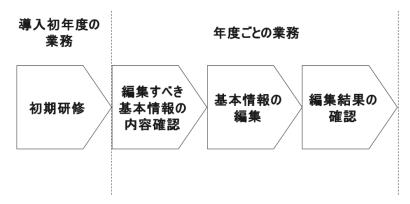


図 7 認定校において想定される業務フロー

3.2 利用者側における業務フロー

ポートレートシステムを一般利用者が利用する局面として圧倒的に多いと考えられるものは、目的とする学校に関する公式の情報を、本システムから獲得することである。その

⁷ 現状では、基本情報の公開が毎年 8 月末までとなっており、一方で、基本情報のうち、定員その他の数値に係る部分は 5 月 1 日現在の「学校基本調査」と共通することから、年度ごとの業務は $7\sim8$ 月に実施されると想定される。

行動においては、目的とする学校を特定するために、さまざまな角度から検索を行い、当該学校にたどり着く「検索」が最初のアクションになる。目的の学校を検索できたら、ポートレートシステムが持つ機能を活用して、当該学校の情報の全部または一部を「出力」し、「参照」することが次のアクションである。本システムの目的と照らせば、業務フローとして、ここまでが必須である(図 8)。

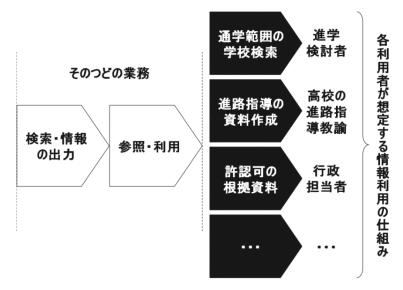


図 8 利用者において想定される業務フロー

この先、つまり、ポートレートシステムの出力情報を入力情報に変えて、各利用者が想定する情報利用の目的は無限に考えられる(図 8)。利用者の立場や地位をいくつか想定して列挙すると、次のような状況が考えられる。

● 専門学校進学検討者

- ・ ある職種に就くために、そのことを可能にする専門学校を検索して、検索結果を利 用する。
- ・ 通学範囲にある専門学校を調べるために、一定の地域に所在する専門学校を検索して、検索結果を利用する。

高等学校の進路指導教諭

- ・ 経済的支援が必要なある生徒のために、学費を条件に検索して、その安い順に並べ た認定課程リストを作成する。
- ・ ある職種に適した生徒に進学先を薦めるために、当該職種の人材育成面で高い学修成果をあげている認定課程リストを作成する。

行政の担当者

・ 補助金の支給要件にかなう認定課程かどうか調べるために、その要件を条件とした 検索を行って、要件を満たす認定課程を抽出する。 以上のような状況を想定し、それらのニーズに合わせたポートレートシステムの出力機能を考えると、ある学校や認定課程の単年度の情報を出力するだけでは収まらない。すなわち、学校間にまたがる情報を何らかの形で集約して出力する機能が必要になり、それは明らかに、システム機能の過剰要求となるので、少なくとも、本システムの要求機能とすることはできない8。

3.3 システム運用管理における業務

ポートレートシステムの使用者数を想定すると、認定校だけでも千に近い数(認定課程で数えれば三千に近い)にのぼり⁹、一般利用者は進学検討者も考えれば数十万人単位にのぼることが想定される。これだけの使用者が想定される本システムでは安定した運用管理を欠かすことができず、運用管理業務の定義、人材確保、安定した稼働のための体制づくりが不可欠である。

特に、権限管理が必要となる認定校側の使用においては、アカウントの厳重な管理がシステム運用管理の主業務の一つとして挙げられる。本システムの本番運用の当初の段階では、アカウントの申請・発行、使用方法の研修業務が集中し、初期運用段階をクリアーした先も、アカウントの管理、操作に関する問合せ対応が必要となる。また、一般利用者については、無条件でアクセスを認めるので、アカウントの管理は必要ないが、本システムの重要性を考慮すれば、問合せ対応も業務の一つとして定義することが必要である。

なお、システムの保守面、特に、アプリケーションの保守業務は、バグ対応だけでなく、 基本情報の様式が毎年度見直させるので、年に一度、様式の変化の程度に比例した量だけ 発生することになる。ただし、保守業務は開発業務の一つであるので、その定義は本文書 作成の範囲外となるので、ここではそのような業務の発生がありうることを注記するにと どめる。

⁸ データベースアプリケーションとして開発するのであれば、一定のフォーマットでディジタル出力、たとえば、項目の順を決めて、ある年度のある認定課程に関する情報を CSV (comma separated value) 形式出力するような仕様は十分検討に値する。なぜなら、CSV 出力データを蓄積し、それらを入力情報として新たな情報を生成する情報システムの開発ニーズに応えることがしやすいからである。

⁹ 文部科学省の発表によれば、平成 30 年 2 月 27 日現在、認定校は 954 校(専門学校全体の 33.8%)、認定課程は 2.885 学科(修業年限 2 年以上の学科の 38.9%)である。

 $http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/02/_icsFiles/afieldfile/2018/02/27/1401917_6_1.pdf$

4 機能要求

4.1 要求機能

本ポートレートシステムに要求される機能の第一は、職業実践専門課程制度のもとで定義された「職業実践専門課程の基本情報(以下「基本情報」)」に準拠データの編集機能とその出力(表示)機能である。したがって、本章ではまず、文部科学省が基本情報として定める各項目について、その定義とデータの整合性の維持に係る注意点をまとめる。「編集機能」とその「出力(表示)機能」については、章を改め、第5章で説明する。

4.2 「職業実践専門課程の基本情報」の要件

以下、基本情報について、文部科学省が求めている要件10と、データベース (DB) システムの仕様に係る注意点を表の形でまとめる。

		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	• '
No	項目名	要件	DB 上の注意点
1	学校名	学則に記載されている名称で	同一学校の複数の課程間で同
		告示	ーである必要
2	設置認可年月日	西暦年/月/日で入力	同上
3	校長名		同上
4	所在地		同上
5	設置者名		同一の設置者が設置した複数
			の学校の複数の課程で同一で
			ある必要
6	設置認可年月日	西暦年/月/日で入力	同上
7	代表者名		同上
8	所在地		同上
9	分野	学則に記載されている名称で	8つの選択肢から選択する仕様
		告示(「工業」「農業」「医療」「衛	
		生」「教育・社会福祉」「商	
		常実務」「服飾・家政」「文化・	
		教養」の「いずれか)	
10	認定課程名	学則に記載されている名称で	
		告示	
11	認定学科名	学則に記載されている名称で	
		告示	
12	専門士	認定を受けた告示の番号「平成	
		○年文部科学省告示第○号」ま	
		たは告示された年月日	
13	高度専門士	同上	
14	学科の目的	職業に必要な実践的かつ専門	
		┃的な能力を育成することを目	
		的としていることが分かるよ	
		うに、学科の目的を具体的に記	
		入	

表 1 様式4(1)が求めている項目

15

¹⁰ 必要に応じて、「文科省依頼文書」および「全専各連手引」を引用している。

No	項目名	要件	DB 上の注意点
15	認定年月日		
16	修業年数	「2」、「3」、「4」、「2 および 3」、「2 および 4」、「3 および 4」、「52、3 および 4」から選択	7つの選択肢から選択する仕様
17	昼夜	「昼間」「夜間」「昼間および夜 間」から選択	3 つの選択肢から選択する仕様
18	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	卒業するのに必要な時間数又 は単位数	
19	講義	総授業時数または総単位数(必 修、選択合わせて)	選択科目の授業時数 (単位数) も含むので、19~23 の合計は 18 の値以上もありうる
20	演習	同上	
21	実習	同上	
22	実験	同上	
23	実技	同上	
24	生徒総定員	全学年の生徒の定員数	
25	生徒実員	全学年の生徒の実員数	
26	留学生数	25 の値の内数	
27	専任教員数	認定学科の総員数	
28	兼任教員数	同上	
29	総教員数 学期制度:前期	同上 学則など、各学校で定める学期	
30		制度	
31	学期制度:後期	同上	
32	成績評価:成績表	「有」「無」から選択	2 つの選択肢から選択する仕様
33	成績評価:成績評価の基準・ 方法	成績評価の基準・方法につい て、簡潔に記入	
34	長期休み:学年はじめ	学則など、各学校で定める学期 制度	
35	長期休み:夏季	同上	
36	長期休み:冬季	同上	
37	長期休み:学年末	同上	
38	卒業・進級条件	卒業条件及び進級条件につい て簡潔に記入	
39	学修支援等:クラス担任制	「有」「無」から選択	2つの選択肢から選択する仕様
40	学修支援等: 個別相談・指導 等の対応	長期欠席者への指導等の対応 や入学前教育、生活指導など学 校が取り組んでいる学修支援 等について簡潔に記入	
41	課外活動:課外活動の種類	課外活動の種類(学生自治組織、ボランティア、学園祭等の実行委員会等における活動等) について、簡潔に記入	
42	課外活動:サークル活動	「有」「無」から選択	2つの選択肢から選択する仕様
43	就職等の状況:主な就職先、 業界等		
44	就職等の状況:就職指導内容	主な就職先、業界に対する知見 を深めるセミナーの開催やカ ウンセリングの実施等、学校が 独自に取り組んでいる就職指 導について、簡潔に記入	
45	就職等の状況:卒業者数	①「就職率」については、就職	
46	就職等の状況:就職希望者数	希望者に占める就職者の割合	
47	就職等の状況:就職者数	をいい、調査時点における就職	
48	就職等の状況:就職率	者数を就職希望者で除したも	47 の値/46 の値
49	就職等の状況:卒業者に占め	のとする。	
	る就職者の割合	②「就職率」における「就職者」 とは、正規の職員(雇用契約期	
		とは、正規の職員(雇用契約期 間が1年以上の非正規の職員	
		同か1年以上の弁正規の職員 として就職した者を含む) とし	
		て最終的に就職した者(企業等	
	1		ı

No	項目名	要件	DB 上の注意点
		から採用通知などが出された	
		│者)をいう。 │③「就職率」における「就職希	
		図「帆職率」にわりる「帆職布 望者」とは、卒業年度中に就職	
		活動を行い、大学等卒業後速や	
		かに就職することを希望する	
		者をいい、卒業後の進路として	
		「進学」「自営業」「家事手伝い」 「留年」「資格取得」などを希	
		「留平」「貝俗取得」などを布 望する者は含まない。 ¹¹	
50	就職等の状況:その他	他の高等教育機関への進学状	
		況等について、任意で記入	
51	主な学修成果(資格・検定	取得目標とする資格・検定等が	取得目標とする資格・検定(不
	等): 国家資格・検定/その他・ 民間検定等	ある場合は①国家資格・検定の うち、修了と同時に取得可能な	定数) は当該課程において毎年 変わるようなものではなく、マ
	以间状だ守	100、100 100	スターデータとして登録する
		修了と同時に受験資格を取得	仕様が考えられる。また、その
		するもの、③その他(民間検定	中で、種別として①~③のいず
		等)の種別区分とともに名称、	れかを選択する仕様が必要で
		│平成 29 年度卒業生に関する受 │験者数及び合格者数を記入	あると考えられる。
52	主な学修成果(資格・検定	学生・卒業生のコンテストの入	
	等):自由記述	賞状況等が代表的な学修成果	
		として認められる場合は、本欄	
F 9	中途退学の現状:中途退学者	に記入 「平成 29 年 4 月 1 日時点に	
53 54	中途返字の現状: 中途返字者 中途退学の現状: 中退率	「平成 29 年 4 月 1 日時息に	
04		年4月1日入学者を含む)、平	
		成30 年3 月31 日時点におい	
		て、在学者○○名(平成 30 年	
		3 月 31 日卒業者を含む)」の ように、中退率の計算ができる	
		ように、中医士の司券ができる	
		の根拠となる数字を記入	
55	中途退学の現状:中途退学の	学校生活への不適合、経済的問	
	主な理由	│題、進路変更等中途退学の主な │理由について、簡潔に記入	
56	 中途退学の現状:中退防止・	中途退学を防止するための対	
	中退者支援のための取組	応策だけでなく、進路変更等の	
		積極的な理由で中途退学する	
<u></u>	Market description of the control of	者への支援策についても記入	STRICT OF STRICT
57	経済的支援制度:学校独自の 奨学金・授業料等減免制度	制度の有無について、「有」「無」 から選択	2 つの選択肢から選択する仕様
	天子室・復果科寺飓咒制度 	4.0 選択	
		「有」の場合は、制度内容につ	
58	経済的支援制度:専門実践教	いて記入 対象となっているかについて、	2つの選択肢から選択する仕様
"	育訓練給付給付対象/非給	対象となるといるかについて、 「給付対象 「非給付対象 か	
	付対象	ら選択	
		「給付対象」となっている場合	
		は、前年度の給付実績者数につ	
59	第三者による学校評価	│ いて任意で記入 │ 民間の評価機関等から第三者	2つの選択肢から選択する仕様
28	お二年による子仪計価 	氏間の評価機関等から第二名 評価を「受けている」か「受け	4 /ツノ選が収がり選がりる任体
		ていない」から選択	
		「受けている」場合、評価団体	
		名、受審年月、評価結果又は評価は思えば評価には思えば思えばいます。	
		価結果を掲載したホームペー	

^{11 「}大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職 (内定) 状況調査」より

No	項目名	要件	DB 上の注意点
		ジの URL を記入	
60	該当学科のホームページ URL	ホームページの URL	

表 2 様式4(2)が求めている項目①

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

No	項目	要件	DB 上の注意点
61	(1)教育課程の編成(授業	● 専攻分野に関する企業、関係	DD 五公区坚W
	科目の開設や授業内容・方法	施設、関係団体等(以下「企	
	の改善・工夫等を含む。)に	業等」)の要請等を十分にい	
	おける企業等との連携に関	かしつつ実践的かつ専門的	
	する基本方針	な職業教育を主体的に実施	
		するにあたり、どのような方	
		針に基づいて取り組んでい	
		るか具体的に記入	
		● 教育課程編成委員会等によ	
		る取組の他、生徒の就業先の	
		業界における人材の専門性	
		に関する動向、国又は地域の	
		産業振興の方向性、新産業の	
		成長に伴い新たに必要とな	
		る実務に関する知識、技術、	
		技能などを把握するため、教	
		育課程編成委員会等の委員	
		の所属先以外の企業等への	
		ヒアリングやアンケート等	
		を別途実施しその結果を教	
		育課程編成委員会等におい	
		ても活用するなどの取組を	
		行っている場合は併せて記 入	
62	(2)教育課程編成委員会等	教育課程編成委員会等におけ	
	の位置付け	る審議結果が教育課程に反映	
		される過程を記入	
63	(3)教育課程編成委員会等	一人の委員について、名前、所	教育課程編成委員会の委員名
	の全委員12の名簿	属、任期、種別(注釈の①~③)	簿はマスターデータとして登
		を記入	録する仕様が考えられる。 ま
			た、その中で、種別として①~
			③のいずれかを選択する仕様
			が必要であると考えられる。
64	(4)教育課程編成委員会等	年2回以上開催(委員が参集せ	
	の年間開催数及び開催時期	ずに書面のみにより開催する	
		場合は含みません。)している	
		ことが分かるように年間の開	
		催数や開催時期、開催日時(実	
65	(5)教育課程の編成への教	續)について具体的に記入 授業科目の開設や授業内容・方	
65	(3)教育研住の編成への教	汉未付日の囲政で仅来円谷・力	

¹² 教育課程編成委員会の委員については、「文科省依頼文書」等で、次のように構成することが求められている。

専攻分野に関する企業等の役職員から広く選任することが望ましいですが、少なくとも、以下の①から ③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画することが必要です。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員 (1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

No	項目	要件	DB 上の注意点
	育課程編成委員会等の意見	法の改善・工夫等について、授	
	の活用状況	業科目名や概要などを引用し	
		つつ具体的に記入(ただし、す	
		ぐに意見が反映できていない	
		場合においては、今後の検討課	
		題という位置づけで記入)	

表 3 様式4(2)が求めている項目②

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の 授業を行っていること。」関係

No	項目	要件	DB 上の注意点
66	(1)実習・演習等における 企業等との連携に関する基 本方針	実習、実技、実験、演習(以下 「実習・演 習等」)の授業において、企業 等との組織的な連携を通じて 実践的かつ専門的な職業教育 を行うにあたり、どのような方 針に基づいて取り組んでいる か概要を記入	
67	(2) 実習・演習等における 企業等との連携内容	推薦学科又は学校と全、等等 締結し書等を含む。)等書、学科又は学校と企業等書、 契約書等を含む。)等書、学の教育を会社の表 科又は学校と企業等の契約書等 に基づいて、授業内容やが契約して、授署等の実施、の学修成果の評価に分かるよとで 携していることが分容にのよう に、企業等との連携内容にの で概要を記入	
68	(3) 具体的な連携の例	「企業等との連携」を行っている科目から5つを選択し、「科目名」「科目概要」「連携企業等」を記入	様式4(3)の情報として編集 した授業科目を参照して編集 する仕様が考えられる。

表 4 様式4(2)が求めている項目③

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

No	項目	要件	DB 上の注意点
69	(1)推薦学科の教員に対す る研修・研究(以下「研修等」 という。)の基本方針	職業に関連した実務に関する 知識、技術及び技能並びに、授 業及び生徒に対する指導力等 の修得・向上のための研修を、教員の業務経験や能力、外の 当する授業科目や授業以外の 担当業等させるにあたり、ど 受講等させるにあたり、と うな方針に基づいて組織的に 取り組んでいるか具体的に記 入	J J II. V LI JEVIN
70	(2)研修等の実績:①専攻 分野における実務に関する 研修等	教員に対する研修等の実績及 び計画について、組織的に位置 付けられた研修等の対象、内	
71	(2) 研修等の実績:②指導 力の修得・向上のための研修 等	容、期間のほか、企業等との連 携内容が分かるように概要を 記入(①実務に関する研修と②	

72	(3)研修等の計画:①専攻 分野における実務に関する 研修等	指導力の修得・向上のための研修を区分して)	
73	(3) 研修等の計画:②指導 力の修得・向上のための研修 等		

表 5 様式4(2)が求めている項目④

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、 その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者と して企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

No	項目	要件	DB 上の注意点
74	(1)学校関係者評価の基本 方針	学校関係者として、卒業生、保 護者、地域住民等とともした学校 業等から委員が参画した学校 関係者評価委員会を設置した学で 評価を実施し、評価結果を教育 活動その他の学校運営の改等 等にいかすにあたり、どのよう な方針に基づいて取り組んで いるか具体的に記入	
75	(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	「専修学校における学校評価 ガイドライン」において示され た評価項目と対応する学校の 評価項目について、評価項目を 例示して記入	
76	(3)学校関係者評価結果の 活用状況	学校関係者評価の評価結果や 改善方策等のうち、特に企業等 から参画した委員の意見につ いて、学科の教育活動その他の 学校運営の改善等にどのよう にいかしているか具体的に記 入	
77	(4)学校関係者評価委員会 の全委員の名簿 ¹⁸	一人の委員について、名前、所 属、任期、種別 (注釈の①~③) を記入	学校関係者評価委員会の委員 名簿はマスターデータとして 登録する仕様が考えられる。ま た、その中で、種別として、注 釈の①~⑧のいずれかを選択 する仕様が必要であると考え

^{13 「}全専各連手引」では、学校関係者評価委員会委員の種別を次のように区分している。

①「専門分野における業界関係者(就職先企業、施設等実習先、分野別の業界団体等)」、②「卒業生(同窓会関係者、卒業後一定のキャリアを持つ人)」、③「保護者」、④「地域住民」、⑤「高等学校等の校長、進路指導担当者等」、⑥「学校運営に関する専門家(学校マネジメント、財務等の専門家)」、⑦「地域の地方公共団体等の関係者(専修学校主管部局・教育委員会・その他関係部局等)」、⑧「当該分野における評価の専門家(第三者評価機関の評価者等)」など学校と関係のある学校外(学校の教職員を含まない)のいずれかに属する者(以下、全体を「評価委員」、①は「企業等評価委員」、⑥は「高校等評価委員」、⑥から⑧は「専門家等評価委員」という。)をいう。

そして、「学校関係者評価委員会」の構成員と人数、委員長等の選出については、次のような指針を示している。

学校は、①企業等評価委員を選任する場合は、同一の専攻分野と認められる学科ごとに 1 人以上を選任するものとします。

[○] また、学校は、自己評価結果の客観性・透明性を担保し、かつ、広く学校関係者の協力連携を得て具体的な改善及び工夫等の取組を実施するため、②卒業生の評価委員は1人以上、③保護者又は④地域住民の評価委員は1名以上、⑤高校等評価委員は1人以上、⑥から⑧専門家等評価委員は1人以上を、最低人数として選任するものとします。

[○] 上記の基準に従って選任された評価委員をもって評価委員会を組織した後、評価委員の互選により評価委員会の委員長及び副委員長を選出するものとします。

No	項目	要件	DB 上の注意点
			られる。
78	(5)学校関係者評価結果の 公表方法・公表時期	公表方法については、「ホームページ」「広報誌等の刊行物」 「その他」から選択	3 つの選択肢から選択する仕様
		「その他」を選択した場合は、 その媒体等について記入	

表 6 様式4 (2) が求めている項目⑤

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

No	項目	要件	DB 上の注意点
79	(1)企業等の学校関係者に 対する情報提供の基本方針	全学 企業等問題を を選挙を 関係者がいな企業等の 関係者がいな企業等の を関係を をで深した。 ともに、 当該の 者ともに、 当該の をで深関係 者ともの 連携を で変関係 資する ため、 の他 報を でで 関係 資する ため、 の他 でで 関係 でで でで 関係 でで でで でで でで でで でで でで で で で	ひひ 工公任意ぶ
80	(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	「専門学校における情報提供 等への取組に関するガイドラ イン」において示された情報提 供項目について、各項目と対応 する学校の情報提供項目を例 示して記入	
81	(3)情報提供方法	公表方法については、「ホームページ」「広報誌等の刊行物」「その他」から選択 「その他」から選択 「その他」を選択した場合は、 その媒体等について記入	3 つの選択肢から選択する仕様

表 7 様式4(3)が求めている項目

No	項目	要件	DB 上の注意点
82	卒業要件及び履修方法	、卒業又は修了の要件及び履修	3つの選択肢から選択する仕様
		方法(科目区分ごとの履修条件	
		等)を記入	
83	1 学年の学期区分	1年を何期に分けているか(例	
		えば前期・後期なら2期)を記	
		│ 入。区分がない場合は「−」を	
		記入	
84	1 学期の授業期間	1 学期が何週間にわたるかを	
		記入	

表 8 様式4(3)が求めている項目(科目ごと)14

No	項目	要件	DB 上の注意点
85	分類	「必修」「選択必修」「自由選択」	3つの選択肢から選択する仕様
		から選択	
86	授業科目名		
87	授業科目概要		
88	配当年次	● 1年目の前期に実施される 場合には「1前」、2年目の	選択肢から選択する仕様も要 検討
		後期に実施される場合には 「2後」、のように記入	
		1 至後」、のように記入1 年目の1 学期に実施され	
		● 1年日の1子期に美施され る場合には「1① 、2年目	
		の 3 学期に実施される場合	
		には「2③」、のように記入	
		なお、前後期制や複数学期制	
		に関わらず、1年間を通じて	
		実施される場合、例えば、3	
		年目の通年で実施されるも	
		のは「3通」のように記入	
89	授業時数	時間制を採用している場合に	
90	単位数	は、単位時間数を記入。単位制	
		を採用している場合には、時間	
		数と単位数の両方を記入	
91	授業方法	講義、演習、実験、実習又は実	編集方法が特殊なものを要検
		技のうち二以上の方法の併用	討
		により行う場合については、主	
		たる方法について「○」を付し、	
		その他の方法について「△」を	
		付し	
92	場所	「校内」「校外」から選択	2 つの選択肢から選択する仕
	M. Fr	5444 5344 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	様。独立選択
93	教員	「専任」「兼任」から選択	2 つの選択肢から選択する仕
	6 NO 3 - 3 I - 12	57. 57.	様。独立選択
94	企業との連携	「有」「無」から選択	2 つの選択肢から選択する仕
			様。

 $^{^{14}}$ 様式 $_4$ (3) は「授業科目の概要」を示すためのものであり、表 $_8$ は一つの科目に関して記載すべき項目をリストアップしたものである。

5 入力要求と出力要求

5.1 入力要求

5.1.1 入力要求の一覧

入力の各機能における入力要求について、表にまとめる。

No.	機能名	入力名	目的・内容	キー・全項目	利用部門
(1)	ユーザ管理	ログイン	ユーザ ID、パス ワードにより、正	ユーザ ID、パスワード	専門職高等教育 質保証機
			当な利用者であることを認証する。		構、 専修学校職業 実践専門課程 認定校、
					ポートレート システム閲覧 者
(2)		ユーザ登録	ポートレートシステムにログオンするユーザア	ユーザ ID、パスワード、氏名、メールアドレス、権限コード	専門職高等教育 保証機構、
			カウントを作成 し、適切な権限を 設定する。	Γ	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(3)		ユーザー覧	ユーザアカウン トー覧を表示す る。	<u>ユーザ ID</u> 、氏名、 権限コード	専門職高等教育質保証機構、
					専修学校職業 実践専門課程 認定校
(4)		ユーザ変更	ユーザアカウン トを変更する。	ユーザ ID、パスワード、氏名、メールアドレス、権限コード	専門職高等教 育質保証 構、 専修学校職業 実践専門課程
(5)	設置者管理	設置者登録	設置者の、年度に 依存しない基本 情報を登録する。	<u>設置者コード、</u> 設置 者名、設立認可年月 日	認定校 専門質保 等教 構、 専修学校職業 実践定校
(6)		設置者一覧	設置者一覧を表 示する。	<u>設置者コード、</u> 設置 者名、設立認可年月 日	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(7)		設置者変更	設置者の、年度に 依存しない基本 情報を変更する。	<u>設置者コード</u> 、設置 者名、設立認可年月 日	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(8)		設置者年度登録	設置者の、年度に 依存する情報を 登録する。	設置者コード、年 度、代表者名、郵便 番号、都道府県コー ド、市区町村、地番、 建物、電話番号、 URL	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(9)		設置者年度一覧	設置者の、年度に 依存する情報を 一覧表示する。	<u>設置者コード</u> 、年 度、代表者名	専修学校職業 実践専門課程 認定校

7 3				late errole	
(10)		設置者年度変更	設置者の、年度に 依存する情報を 変更する。	設置者コード、年 度、代表者名、郵便 番号、都道府県コー ド、市区町村、地番、 建物、電話番号、	専修学校職業 実践専門課程 認定校
				URL	
(11)	学校管理	学校登録	 学校の、年度に依	設置者コード、学校	 専修学校職業
(11)	子仪 6 柱	一 子仅显跳	存しない基本情	コード、学校名、設	実践専門課程
			報を登録する。	<u> </u>	認定校
(12)		学校一覧	学校一覧を表示	設置者コード、学校	専修学校職業
(12)			する。	コード、学校名、設	実践専門課程
			, a	<u>□ </u>	認定校
(13)		学校変更	学校の、年度に依	設置者コード、学校	車修学校職業
(10)		TUXX	存しない基本情	<u>コード</u> 、学校名、設	実践専門課程
			報を変更する。	<u> </u>	認定校
(14)		学校年度登録	学校の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
(1-1)		1人1人五六	存する情報を登	コード、年度、校長	実践専門課程
			録する。	名、郵便番号、都道	認定校
			3-97 / 0-0	府県コード、市区町	#u- /C 1/
				村、地番、建物、電	
				話番号、URL	
(15)		学校年度一覧	学校の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
(/			存する情報を一	コード、年度、校長	実践専門課程
			覧表示する。	名	認定校
(16)		学校年度変更	学校の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
` ′			存する情報を変	コード、年度、校長	実践専門課程
			更する。	名、郵便番号、都道	認定校
			•	府県コード、市区町	
				村、地番、建物、電	
				話番号、URL	
(17)	学科管理	学科登録	学科の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
			存しない基本情	コード、学科コー	実践専門課程
			報を登録する。	ド、学科名、認定年	認定校
				月日、分野コード、	
				課程名、専門士、高	
				度専門士、学科目的	
(18)		学科一覧	学科一覧を表示	設置者コード、学校	専修学校職業
			する。	<u>コード、学科コー</u>	実践専門課程
				<u>ド</u> 、学科名	認定校
(19)		学科変更	学科の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
			存しない基本情	コード、学科コー	実践専門課程
			報を変更する。	<u>ド</u> 、学科名、認定年	認定校
				月日、分野コード、	
				課程名、専門士、高	
(00)		当时 是 体 上 中 三	当时本 上十二年	度専門士、学科目的	古 16 以上 mit 111
(20)	学科履修年度管	学科履修年度登	学科の、年度に依	設置者コード、学校	専修学校職業
	埋 	録	存する腹修内容	<u>コード、字科コー</u> ド 左席 <u>佐業</u> 左四	実践専門課程
			を登録する。	<u>ド、年度</u> 、修業年限 コード、	認定校
				コート、昼夜コー ド、修業単位コー	
				- ト、修 乗単位 ユー - ド、修了時間数、講	
				下、10	
				数、実習時間数、実	
				敷、大自吋向敷、大 験時間数、実技時間	
				数、URL、学期制	
				度、長期休業、成績	
				評価有無、成績評価	
				方法、進級条件、ク	
				ラス担任有無、個別	
				指導、課外活動、サ	
				一クル活動有無、独	
				自奨学金有無、独自	
1				奨学金内容、教育訓	
	•	•	1		

	I	1		Lateral Charles and the desire	
				┃ 練給付対象、教育訓 ┃ 練給付実績	
(21)		学科履修年度一 覧	学科の、年度に依 存する履修内容 を一覧表示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> ド、年度	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(22)	学科 宝 - 年 年 - 年 - 1 -	学科履修年度変更	学科の、年度に依 存する履修内容 を変更する。	<u>設コード</u> コドド義数験数度評方う指一自奨練練器 一学修昼単間演問、一般不知知知無進任課活金內対実力 一学修昼単間演問、一般不知 一学修昼単間演問、一般不知 一、一、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	専修学校職業 実践校 認定校 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 春 春 春 春 春
(23)	学科実績年度管理	学科実績年度登録	学科の、年度に依存する実績を登録する。	<u>設コード</u> 一学工総留教主 一学工総留教主 一学生員教経価就者、 大変徒専員職務、空就、メロ者教に 大変を表す、 大の職教、会コ、中者教防 が、大の職務、会コ、中者教防 が、大の職務、のの、 が、上、 が、大の職務、のの、 が、上、 の、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(24)		学科実績年度一 覧	存する実績を一 覧表示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(25)		学科実績年度変更	学科の、年度に依存する実績を変更する。	世校一定学、員月指、職職、退年度理由 とは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学に、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では	専修学校職業 実践専門課程 認定校

				記述	
(26)	学科資格年度管 理	学科資格年度登録	学科の、年度に依 存する資格の基 本情報を登録す る。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u> 、評価年月 日、自由記述	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(27)		学科資格年度一 覧	学科の、年度に依 存する資格の基 本情報を一覧表 示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(28)		学科資格年度変 更	学科の、年度に依 存する資格の基 本情報を変更す る。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、評価年月 日、自由記述	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(29)	学科資格実績管 理	学科資格実績登録	学科の、年度に依 存する資格の実 績を登録する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、年度、資格名、資格種別コード、受験者</u> 数、合格者数	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(30)		学科資格実績一覧	学科の、年度に依 存する資格の実 績を一覧表示す る。	設置者コード、学校 コード、学科コード、年度、資格コード、衛格名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(31)		学科資格実績変更	学科の、年度に依 存する資格の実 績を変更する。	<u>設置者コード、学校コード、学校コード、学科コード、年度、資格コード、資格名、資格種別コード、受験者数、合格者数</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(32)	学科評価年度管 理	学科評価年度登 録	学科の、年度に依 存する第三者評 価の実績を登録 する。	設置者コード、学校 コード、学科コード、生度、第三者評価有無、評価団体、 受審年月、評価結果 URL、評価結果	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(33)		学科評価年度一 覧	学科の、年度に依 存する第三者評 価の実績を一覧 表示する。	<u> 設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(34)		学科評価年度変更	学科の、年度に依 存する第三者評 価の実績を変更 する。	設置者コード、学校 コード、学科コード、年度、第三者評価有無、評価団体、 受審年月、評価結果 URL、評価結果	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(35)	学科基本情報管 理	学科基本情報 一 覧	学科の、各年度の 情報の雛形とな る情報を一覧表 示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド</u> 、学科名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(36)	学科資格基本情 報管理	学科資格基本情 報登録	学科の、年度に依 存しない資格の 基本情報を登録 する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、資格コード、資格コード、資格カード、資格名、資格種別コード</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(37)		学科資格基本情 報一覧	学科の、年度に依 存しない資格の 基本情報を一覧 表示する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、資格コード</u> 、資格名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(38)		学科資格基本情 報変更	学科の、年度に依 存しない資格の 基本情報を変更 する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コード、資格コード、資格コード、資格</u> 格名、資格種別コー	専修学校職業 実践専門課程 認定校

				K	
(39)	学科科目基本情 報管理	学科科目基本情 報登録	学科の、年度に依存しない科目の 基本情報を登録 する。	設置者 ド、学校 コード、学校 コード、学和 ・	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(40)		学科科目基本情 報一覧	学科の、年度に依存しない科目の 基本情報を一覧表示する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、科目コード</u> 、科 目名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(41)		学科科目基本情報変更	学科の、年度に依 存しない科目の 基本情報を変更 する。	<u>設置者ド、学校</u> コード、学校 コード、科目 一ド、科目 一下、科目 一下、科目 一下、科目 一下、科目 一下、科学、 一下、教演習 大の、大の での、本の での、本の での、本の での、本の での、本の での、での、での での、での、での、での での、での、での、での、での、での、での、での、での での、での、での、での、での、での、での、での、での、での、での、での、での、で	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(42)	学科教育課程編 成委員基本情報 管理	学科教育課程編 成委員基本情報 登録	学科の、年度に依 存しない教育課 程編成委員の基 本情報を登録す る。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、委員コード</u> 、氏名、所属、任期FROM、任期TO、種別コード	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(43)		学科教育課程編 成委員基本情報 一覧	学科の、年度に依 存しない教育と 程編成委員の覧表 本情報を一覧表 示する。	<u>設置者コード、学校</u> コード、学科コー ド、 <u>委員コード</u> 、氏 名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(44)		学科教育課程編 成委員基本情報 変更	学科の、年度に依 存しない教育課 程編成委員の基 本情報を変更す る。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、委員コード、氏 名、所属、任期 FROM、任期 TO、 種別コード	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(45)	学科学校関係者 評価委員基本情 報管理	学科学校関係者 評価委員基本情 報登録	学科の、年度に依 存しない学科学 校関係者評価委 員の基本情報を 登録する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、委員コード</u> 、氏名、所属、任期FROM、任期 TO、種別	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(46)		学科学校関係者 評価委員基本情 報一覧	学科の、年度に依 存しない学科価 校関係者評価報 員の基本情報を 一覧表示する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、 学科コード、 委員コード</u> 、氏名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(47)		学科学校関係者 評価委員基本情 報変更	学科の、年度に依 存しない学科学 校関係者評価委 員の基本情報を 変更する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、委員コード</u> 、氏名、所属、任期FROM、任期 TO、種別	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(48)	学科企業連携管 理	学科企業連携一 覧	学科と企業の、各 年度の連携情報 の雛形となる。 報を一覧表示す	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド</u> 、学科名	専修学校職業 実践専門課程 認定校

			る。		
(49)	学科教育課程編 成委員会年度管 理	学科教育課程編 成委員会年度登 録	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員会情報 を登録する。	設置者コード、学校 コード、学科コード、年度、基本方針、 位置付け、委員名簿 日付、委員会日時、 意見活用状況	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(50)		学科教育課程編 成委員会年度一 覧	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員会情報 を一覧表示する。	<u> 設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(51)		学科教育課程編 成委員会年度変 更	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員会情報 を変更する。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、基本方針、 位置付け、委員名簿 日付、委員会日時、 意見活用状況	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(52)	学科教育課程編 成委員年度管理	学科教育課程編 成委員年度登録	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員情報を 登録する。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、委員コー ド、氏名、所属、任 期 FROM、任期 TO、種別コード	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(53)		学科教育課程編 成委員年度一覧	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員情報を 一覧表示する。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、委員コー ド、氏名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(54)		学科教育課程編 成委員年度変更	学科の、年度に依 存する教育課程 編成委員情報を 変更する。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、委員コー ド、氏名、所属、任 期 FROM、任期 TO、種別コード	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(55)	学科科目企業連 携概要年度管理	学科科目企業連 携概要年度登録	学科の、年度に依 存する企業連携 の概要情報を登 録する。	<u>設置者コード、学校</u> コード、学科コー ド、年度、基本方針、 連携内容	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(56)		学科科目企業連 携概要年度一覧	学科の、年度に依 存する企業連携 の概要情報を一 覧表示する。	<u> 設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(57)		学科科目企業連 携概要年度変更	学科の、年度に依 存する企業連携 の概要情報を変 更する。	<u>設置者コード、学校</u> ユード、学科コー ド、年度、基本方針、 連携内容	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(58)	学科科目企業連 携年度管理	学科科目企業連 携年度登録	学科・科目別の、 年度に依存する 企業連携の情報 を登録する。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、科目コー ド、料目名、概要、 連携企業	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(59)		学科科目企業連 携年度一覧	学科・科目別の、 年度に依存する 企業連携の情報 を一覧表示する。	<u>設置者コード、学校</u> コード、学科コー ド、年度、科目コー ド、科目名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(60)		学科科目企業連 携年度変更	学科・科目別の、 年度に依存する 企業連携の情報 を変更する。	設置者コード、学校 コード、学科コード、年度、科目コード、年度、科目名、概要、 連携企業	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(61)	学科教員研修年 度管理	学科教員研修年 度登録	学科の、年度に依 存する教員研修 の情報を登録す	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u> 、基本方針、	専修学校職業 実践専門課程 認定校

			る。	專攻研修実績、指導 力研修実績、専攻研 修計画、指導力研修 計画	
(62)		学科教員研修年 度一覧	学科の、年度に依 存する教員研修 の情報を一覧表 示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> ド、年度	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(63)		学科教員研修年 度変更	学科の、年度に依 存する教員研修 の情報を変更す る。	設置者コード、学校 コード、学科コード、年度、基本方針、 専攻研修実績、指導 力研修実績、専攻研修 修計画、指導力研修 計画	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(64)	学科学校関係者 評価委員会年度 管理	学科学校関係者 評価委員会年度 登録	学科の、年度に依 存する学校関係 者評価委員会の 情報を登録する。	<u>設置者ド、学校</u> コー学本学、 学本学、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(65)		学科学校関係者 評価委員会年度 一覧	学科の、年度に依 存する学校関会 者評価委員表 情報を一覧表示 する。	<u>設置者コード、学校</u> コード、学科コー ド、年度	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(66)		学科学校関係者 評価委員会年度 変更	学科の、年度に依 存する学校関係 者評価委員会の 情報を変更する。	設置者下、学校 一学本学、 一学本学、 一学本学、 一学本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等本学、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等、 一等	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(67)	学科学校関係者 評価委員年度管 理	学科学校関係者 評価委員年度登 録	学科の、年度に依 存する学校関係 者評価委員の情 報を登録する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、年度、委員コード</u> 、氏名、所属、任期 FROM、任期 TO、種別	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(68)		学科学校関係者 評価委員年度一 覧	学科の、年度に依 存する学校関係 者評価委員の情 報を一覧表示す る。	設置者コード、学校 <u>コード、学科コード、年度、委員コード、年度</u> 、氏名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(69)		学科学校関係者 評価委員年度変 更	学科の、年度に依 存する学校関係 者評価委員の情 報を変更する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、年度、委員コード、年度</u> 、委員コード、氏名、所属、任期 FROM、任期 TO、種別	専修学校職業 実践専門課程 認定校

(70)	学科学校関係者 情報提供年度管 理	学科学校関係者 情報提供年度登 録	学科の、年度に依存する学校関係者に対けて対ける情報を登録する。	設置者ド、学校 コード、学校 コードで 学科カチ ・ 基本方針、 ・ 基本方動、 ・ 表示を ・ 表示を 。 。 表示を 。 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 。 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示を 。 表示 。 。 。 表示 。 表示 。 表示 。 。 。 。 表示 。 表示 。 表示 。	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(71)		学科学校関係者 情報提供年度一 覧	学科の、年度に依 存する学校関係 者に対する情報 提供の情報を 覧表示する。	設置者コード、学校 <u>コード、学科コー</u> ド、年度	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(72)		学科学校関係者 情報提供年度変 更	学科の、年度に依存する学校では 存するでは 者に対する情報を 提供の情報を 更する。	設置者ド、学校 コード、学科コード、学和方針 ラード、生度、育、教育、援、学・ で、生産、教育、教育、援、学・ で、生、財際連携、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(73)	学科科目管理	学科科目一覧	学科の、各年度の 科目の概要情報 を一覧表示する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> <u>ド、学科名</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(74)	学科科目概要年 度概要管理	学科科目概要年 度登録	学科の、年度に依 存する科目の概 要情報を登録す る。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、科目数、 単位時間、卒業要 件、学期区分、授業 期間	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(75)		学科科目概要年 度一覧	学科の、年度に依 存する科目の概 要情報を一覧表 示する。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、年度</u>	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(76)		学科科目概要年 度変更	学科の、年度に依 存する科目の概 要情報を変更す る。	設置者コード、学校 コード、学科コー ド、年度、科目数、 単位時間、卒業要 件、学期区分、授業 期間	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(77)	学科科目概要年度管理	学科科目年度登録	学科の、年度に依 存する科目の情 報を登録する。	設置者・ド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(78)		学科科目年度一 覧	学科の、年度に依 存する科目の情 報を一覧表示す る。	<u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、年度、科目コード</u> 、科目名	専修学校職業 実践専門課程 認定校
(79)		学科科目年度変 更	学科の、年度に依 存する科目の情 報を変更する。	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u> ド、年度、科目コー ド、科目名、概要、 科目分類コード、年	専修学校職業 実践専門課程 認定校

		次、学期、時数、単	
		位数、講義、演習、	
		実技、校内、校外、	
		専任、兼任、企業連	
		携、備考	

(1) ログイン画面の入力要求

機能概要	コーザ ID、パスワードにより、正当な利用者であることを認証する。
業務処理手順	① ログイン
	ユーザ ID、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレートログイン
	_
	画面D:10.10 ユーザD、バスワードを入力して、ログインしてください。
	ユーザル : パスワード : ログイン

(2) ユーザ登録画面の入力要求

機能概要	ポートレートシステムにログオンするユーザアカウントを作成し、適切な権限を設
	定する。
業務処理手順	① ユーザ登録
	ユーザ ID、パスワード、その他のユーザ登録に必要な情報を入力し、「登録」
	ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレートユーザ登録
	画面ID : 10.20 ユーザ情報を登録してください。
	ユーザD : パスワード : 氏名 : メールアドレス : 権限 : 選択してください・
	登録トップに戻る

(3) ユーザー覧画面の入力要求

機能概要	ユーザアカウント一覧を表示する。
業務処理手順	① ユーザ検索
	ユーザ ID、氏名を入力し、「検索」ボタンをクリックする。
	ユーザ ID、氏名は、いずれも部分一致検索が行われる。
	② ユーザ変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該ユーザの「ユーザ変更」画面を表
	示する。
	③ ユーザ削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該ユーザを削除する。

入力要求画面	職業	実践専	門課程	ポ-	- トレ	ノートユーザー覧
	画面ID:1030 ユーザ情報に対する処理を選択してください。					
	検索条件 ユーザID:	検索条件 ユーザID: 氏名				検索
	ユーザID	氏名	権限	그-	ザ	
	aliaremoriyama	森山 郁子	システム管理者	変更	削除	
	aliareyamaguchi	山口 孝	システム管理者	変更	削除	
	asahiyamaguchi	山口 大輔	システム管理者	変更	削除	
	hollywoodsadanoriy	山中 貞範	システム管理者	変更	削除	
	nony woodsaddinony					
	yamasaki	山崎 政博	システム管理者	変更	削除	

(4) ユーザ変更画面の入力要求

機能概要	ユーザアカウントを変更する。
業務処理手順	① ユーザ変更
	パスワード(変更する場合のみ)、氏名、メールアドレス、権限を入力し、「変更」
	ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレートユーザ変更
	画面巾: 10.30.10 ユーザ情報を変更してください。
	ユーザiD : hello459 パスワード :

(5) 設置者登録画面の入力要求

機能概要	設置者の、年度に依存しない基本情報を登録する。
業務処理手順	① 設置者登録
	設置者コード、設置者名、設立認可年月日を入力し、「登録」ボタンをクリッ
	クする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート設置者登録
	_
	画面ID:1040 設置者情報を登録してください。
	設置者コード : 設置者名 : 設立認可年月日 : (YYYYMMDD形式)
	登録 トップに戻る

(6) 設置者一覧画面の入力要求

機能概要	設置者一覧を表示する。
------	-------------

業務処理手順	1	設置者検索
		設置者コード、設置者名を入力し、「検索」ボタンをクリックする。
		設置者コード、設置者名は、いずれも部分一致検索が行われる。
	2	設置者変更
		「変更」ボタンをクリックすることで、当該設置者の「設置者変更」画面を表
		示する。
	3	設置者削除
		「削除」ボタンをクリックすることで、当該設置者を削除する。
	4	設置者年度登録
		「登録」ボタンをクリックすることで、当該設置者の「設置者年度登録」画面
		を表示する。
	(5)	設置者年度一覧
		「一覧」ボタンをクリックすることで、当該設置者の「設置者年度一覧」画面
		を表示する。
	6	学校登録
		「登録」ボタンをクリックすることで、当該設置者の「学校登録」画面を表示
	1	する。
	7	学校一覧
		「一覧」ボタンをクリックすることで、当該設置者の「学校一覧」画面を表示
	ـــــ	する。
入力要求画面		職業実践専門課程ポートレート設置者一覧
		画面ID: 10.50
		設置者情報に対する処理を選択してください。
	検索	条件 設置者コード: 設置者名: QAPHE 検索
	100000	習者コード 設置者名 設立認可年月日 設置者 設置者年度 学校
		0001016790 QAPHE学園 2011年02月23日 変更 削除 登録 一覧
	トツ	ププに戻る

(7) 設置者変更画面の入力要求

機能概要	設置者の、年度に依存しない基本情報を変更する。
業務処理手順	① 設置者変更
	設置者名、設立認可年月日を入力し、「変更」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート設置者変更
	画面D: 10.50.10 設面首情報を変更してください。
	設置者コード : 5010001016790 設置者名 : QAPHE学園 設立認可年月日 : 20110223 (YYYYMMDD形式) 変更 設置者一覧に戻る

(8) 設置者年度登録画面の入力要求

機能概要	設置者の、年度に依存する情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 設置者年度登録
	年度、代表者名、所在地、電話番号、URLを入力し、「登録」ボタンをクリッ
	クする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート設置者年度登録			
	<u> </u>			
	画面iD:10.50.20			
	設置者年度情報を登録してください。			
	既存データコピー: 選択してください・ 年度 コピー			
	設備者コード :1260005001784			
	設置者名 : 学校法人三友学園			
	年度 : (西暦年4桁)			
	代表者名			
	郵便番号 : (7桁/\イフン有: XXX-XXXX形式)			
	都道府県 : 選択してください▼			
	市区町村			
	地晤			
	建物 -			
	電話番号 : (市外局番からハイフン区切り:xxx-xxxx-xxxx形式)			
	URL :			
	登録			
	設置者一覧に戻る			

(9) 設置者年度一覧画面の入力要求

機能概要	設置者の、年度に依存する情報を一覧表示する。		
業務処理手順	① 設置者年度変更		
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該設置者年度の「設置者年度変更」		
	画面を表示する。		
	② 設置者年度削除		
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該設置者年度を削除する。		
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート設置者年度一覧		
	_		
	画面ID:10.50.30 設置者年度情報に対する処理を選択してください。		
	設価者コード:5010001016790 設置者名:QAPHE学園		
	年度 代表者名 設置者年度		
	2018 六本木 太郎 変更 削除		
	2017 江島 夏実 変更 削除		
	設置者一覧に戻る		

(10) 設置者年度変更画面の入力要求

機能概要	設置者の、年度に依存する情報を変更する。
業務処理手順	① 設置者年度変更
	代表者名、所在地、電話番号、URL を入力し、「変更」ボタンをクリックする。

画面ID: 10.50.30.10 設置音年度情報を変更してください。
書名コード : 5010001016790 書名名 : QAPHE学園
雪莲長 更 筥 区 龄 物 舌

(11) 学校登録画面の入力要求

機能概要	学校の、年度に依存しない基本情報を登録する。
業務処理手順	① 学校登録 学校コード、学校名、設置認可年月日を入力し、「登録」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学校登録 画面D: 1050.40 学校情報を登録してください。
	設置者名 - ド : 5010001016790 設置者名 : QAPHE学園 学校コード : 学校名 : 設価認可年月日 : (YYYYMMDD形式)

(12) 学校一覧画面の入力要求

機能概要	学校一覧を表示する。
業務処理手順	① 学校変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学校の「学校変更」画面を表示す
	る。
	② 学校削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学校を削除する。
	③ 学校年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学校の「学校年度登録」画面を表
	示する。
	④ 学校年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学校の「学校年度一覧」画面を表
	示する。
	⑤ 学科登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学校の「学科登録」画面を表示す
	ప 。
	⑥ 学科一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学校の「学科一覧」画面を表示す
	る。

	(7) 学和	斗基本情報	1											
	10,	, ,,	. ,			- -			دماسته	× 14 -	F AND ATT	. ***	i-to-tern pa	<i>b</i> — — —
	1.	一覧」ボタ	マンをクリ	ツク	フす	るこ	5	"、≝	孩"	字校の	「字本	上基本	情報一覧	包」画面
	を を	表示する。												
	⑧ 学和	斗企業連携	一覧											
	Γ-	一覧」ボタ	ノンをクリ	ーツク	ゥす	るこ	とて	: , ≝	該	学校の	「学彩	·企業	連携一覧	10000000000000000000000000000000000000
	を	表示する。												
	9 学科	斗科目一覧	Ē											
	۲۰	一覧」ボタ	フンをクリ	[ツク	ナす	るこ	とて	:、≝	該	学校の	「学科	科目	一覧」画	画面を表
	示	する。												
入力要求画面		職美	美践專	P)	果程	ポ-	-1	レ-	-1	学校	一覧			
				7510		画面ID:10 5処理を選	0150150	+2-+1 \						
				7.00	ICV A &		DIO C	/_ C 10						
1	1													
	設備者コード	: 5010001016790 段	置者名:OAPHE学	9										
				_					ru.	学科	学科	学科		
	設置者コード		置者名:QAPHE学图 設立認可年月日	=	校	学校	年度	7	科	学科 基本情報	学科 企業連携	学科 科目		
			設立認可年月日	7			年度 一覧	学						
	学校コード	学校名	設立認可年月日 1985年04月04日	7	削除	登録			一覧	基本情報	企業連携	科目		
	学校コード 01	学校名 COMET1専門学校 COMET2専門学校	設立認可年月日 1985年04月04日	変更	削除	登録	一覧	登録	一覧	基本情報	企業連携 一覧	科目一覧		

(13) 学校変更画面の入力要求

機能概要	学校の、年度に依存しない基本情報を変更する。
業務処理手順	① 学校変更
	学校名、設置認可年月日を入力し、「変更」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学校変更
	_
	画面D:10.50.50.10 学校情報を変更してください。
	設置者コード : 5010001016790
	設置者名 : QAPHE学園 学校コード : 01
	学校名 : COMETI専門学校
	設置認可年月日 : 19850404 (YYYYMMDD形式)
	変更
	学校一覧に戻る

(14) 学校年度登録画面の入力要求

機能概要	学校の、年度に依存する情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学校年度登録
	年度、校長名、所在地、電話番号、URLを入力し、「登録」ボタンをクリック
	する。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学校年度登録
	画面ID: 10.50.50.20 学校年度情報を登録してください。
	既存データコピー: 選択してください・年度 コピー
	設置者2 - ド : 5010001016790 設置者名 : QAPHE学園 学校コード : 01 学校名 : でのMETI専門学校 年度 : (西暦年4桁) ・ 校長名 : ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	登録

(15) 学校年度一覧画面の入力要求

機能概要	学校の、年度に依存する情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学校年度変更 「変更」ボタンをクリックすることで、当該学校年度の「学校年度変更」画面を表示する。② 学校年度削除 「削除」ボタンをクリックすることで、当該学校年度を削除する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学校年度一覧 画面D: 105.050.30 学校年度情報に対する処理を選択してください。
	設価者コード : 5010001016790 設価者名 : QAPHF学園 学校コード : 01 学校名 : COMETI専門学校 年度 校長名 学校年度 2019 港区 次郎 変更 明除 2017 江島 夏東 変更 明除

(16) 学校年度変更画面の入力要求

機能概要	学校の、年度に依存する情報を変更する。
業務処理手順	① 学校年度変更
	校長名、所在地、電話番号、URL を入力し、「変更」ボタンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学校年度変更					
	画面ID: 10.50.50.3010 学校年度情報を変更してください。					
	設備者コード : 5010001016790 設備者名 : QAPHE学園 : QAPHE学園 : QAPHE学園 : YV2 : OI : VV2 : OI : VV2 : OI : VV2 : OI : VV2 : OI : OI : VV2 : OI : OI : VV2 : OI : O					

(17) 学科登録画面の入力要求



(18) 学科一覧画面の入力要求

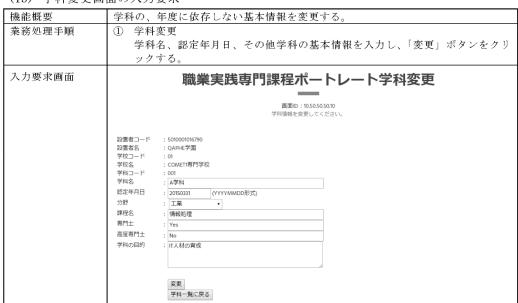
機能概要	学科一覧を表示する。
業務処理手順	① 学科変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科変更」画面を表示す
	る。
	② 学科削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科を削除する。
	③ 学科履修年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科履修年度登録」画面
	を表示する。
	④ 学科履修年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科履修年度一覧」画面
	を表示する。
	⑤ 学科実績年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科実績年度登録」画面

を表示する。 ⑥ 学科実績年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科実績年度一覧」画面 を表示する。 ⑦ 学科資格年度登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格年度登録」画面 を表示する。 ⑧ 学科資格年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格年度一覧」画面 を表示する。 ⑨ 学科評価年度登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科評価年度登録」画面 を表示する。 ⑩ 学科評価年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科評価年度一覧」画面 を表示する。 職業実践専門課程ポートレート学科一覧 入力要求画面 画面ID: 10.50.50.50 学科情報に対する処理を選択してください。 : 5010001016790 設置者コード 設置者名 : COMETI専門学校 学校名
 学科
 学科福格年度
 学科素植年度
 学科清值年度
 学科清值年度

 変更
 用除
 登録
 一覧
 登録
 一覧

 変更
 相除
 登録
 一覧
 登録
 一覧
 学科コード 学科名 A学科 001 B学科 002 学校一覧に戻る

(19) 学科変更画面の入力要求



(20) 学科履修年度登録画面の入力要求

機能概要 学科の、年度に依存する履修内容を登録する。

業務処理手順	① 既存データコピー 既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。 ② 学科履修年度登録
	年度、修業年限、昼夜、その他学科履修年度に関する情報を入力し、「登録」 ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科履修年度登録
	画面D: 105050505.20 学科服修年度情報を登録してください。
	語傳者コード : 500000016790

(21) 学科履修年度一覧画面の入力要求

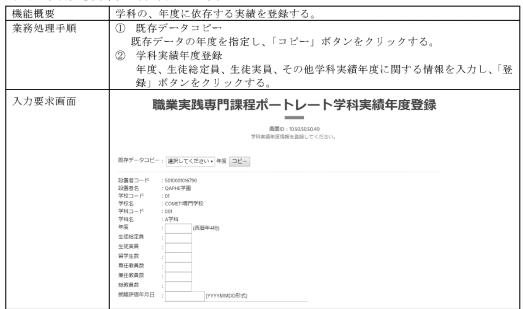
	_
機能概要	学科の、年度に依存する履修内容を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科履修年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科履修年度の「学科履修年度変
	更」画面を表示する。
	② 学科履修年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科履修年度を削除する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科履修年度一覧
	_
	画面D: 10.50.50.50.30 学科服修年度に対する処理を選択してください。
	設価者コード : 5010001016790 設価者名 : OAPHE学園
	学校コード :01
	学校名 : COMETI専門学校 学科コード : 001
	学科名 : A学科
	年度 学科服修年度 2017 変更 削除
	学科一覧に戻る

(22) 学科履修年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する履修内容を変更する。
業務処理手順	① 学科履修年度変更
	修業年限、昼夜、その他学科履修年度に関する情報を入力し、「変更」ボタン
	をクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科履修年度変更
	週間D: 10.50.50.50.50.10 学科製修车與情報を変更してください。
	設置者 コード : 5000001016790 設置者名 : QAPHE学園 学校 コード : COMETI専門学校 学科コード : 001 学科名 : 4学科 年度 : 2017 修棄 中限 : 3 ■ 最夜 : 屋間 ・ 修第単位 : 単位時間 ・ 修了格間数 : 2730 清景時間数 : 1380 実別時間数 : 0 実験時間数 : 0

(23) 学科実績年度登録画面の入力要求

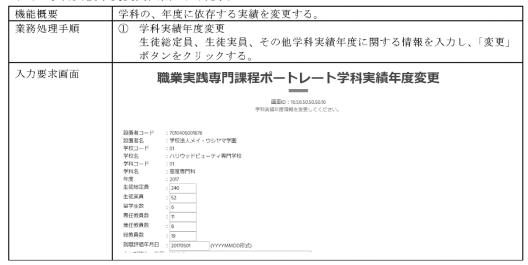


(24) 学科実績年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する実績を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科実績年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科実績年度の「学科実績年度変
	更」画面を表示する。
	② 学科実績年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科実績年度を削除する。



(25) 学科実績年度変更画面の入力要求



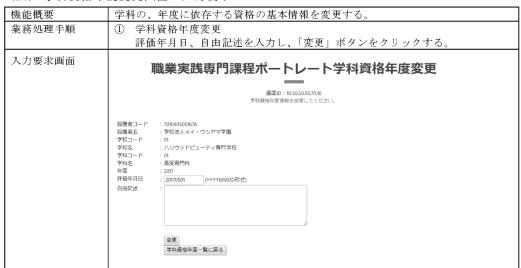
(26) 学科資格年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する資格の基本情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科資格年度登録
	年度、評価年月日、自由記述を入力し、「登録」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科資格年度登録
	爾爾D:105.555.560
	学科資格年度情報を登録してください。
	歴存データコピー: 選択してください・年度 コピー 接番者コード 2010-405001676 接番者コード 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校二 //リウッドピューティ専門学校 学科コード 01 学科名 二 (の

(27) 学科資格年度一覧画面の入力要求

機能概要 業務処理手順	学科の、年度に依存する資格の基本情報を一覧表示する。 ① 学科資格年度変更
業務処理手順	① 学科資格年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科資格年度の「学科資格年度変
	更」画面を表示する。
	② 学科資格年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科資格年度を削除する。
	③ 学科資格実績登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格実績登録」画面
	を表示する。
	④ 学科資格実績一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格実績一覧」画面
	を表示する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科資格年度一覧
	画面D: 1050505070 学科学校を存在しませまかりませな。
	ナヤ目前作中後に対する2002年で選択してください。
	設置者コード :7010405001676
	設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01
	学校名 :ハリウッドビューティ専門学校
	学科名 :高度専門科
	年度 学科資格年度 学科資格実績
	2017 変更 削除 音録 一覧 2016 変更 削除 音録 一覧
	学科資格年度に対する処理を選択してください。 設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : パリウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学校名 : 高度専門科 - 年度 学科資格年度 学科資格実施

(28) 学科資格年度変更画面の入力要求

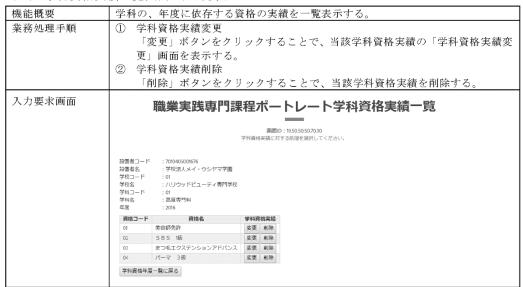


(29) 学科資格実績登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する資格の実績を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存資格データを指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科資格実績登録

ンをクリックする。
職業実践専門課程ポートレート学科資格実績登録
画面ID: 105050507020 学科資格来號係税を登録してください。
学科資格基本情報コピー : 選択してください ・ コピー
設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校2 : / リウッドピューティ専門学校 学科3 : (
一 設設学学学学年資 資 資 受

(30) 学科資格実績一覧画面の入力要求

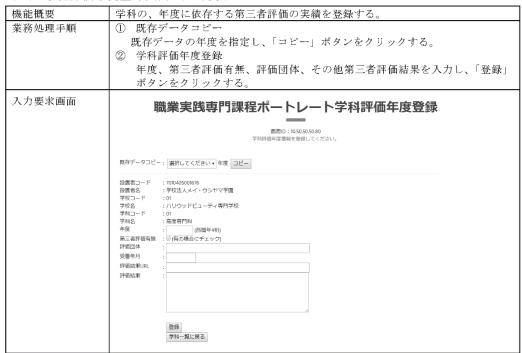


(31) 学科資格実績変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する資格の実績を変更する。
業務処理手順	① 学科資格実績変更
	資格名、資格種別、受験者数、合格者数を入力し、「変更」ボタンをクリック
	する。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科資格実績変更
	画面ID: 10505050703010 学科資格製商情報を変更してください。
	設備者コード : 7010405001676 設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 : 7010年 : 01

(32) 学科評価年度登録画面の入力要求



(33) 学科評価年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する第三者評価の実績を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科評価年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科評価年度の「学科評価年度変
	更」画面を表示する。
	② 学科評価年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科評価年度を削除する。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科評価年度一覧
	画面D : 10.5050.50.90 学科評価年度に対する処理を選択してください。
	設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : ハリウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 温度専門科

(34) 学科評価年度変更画面の入力要求

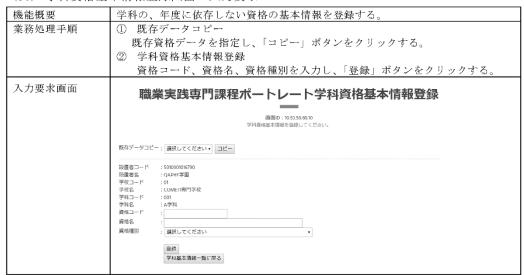
MA No lost and	
機能概要	学科の、年度に依存する第三者評価の実績を変更する。
業務処理手順	① 学科評価年度変更
	第三者評価有無、評価団体、その他第三者評価結果を入力し、「変更」ボタン
	をクリックする。
	と クリンクする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科評価年度変更
	城来天成界门床住小一トレート子付計伽平及変更
	_
	画面ID: 10.50.50.50.90.10 学科評価年度情報を変更してください。
) III M TAMME CALL TO THE TO T
	設備者コード : 7010405001676 設備者名 : 学的法人メイ・ウシヤマ学園 学校名 : 八リウッドビューティ専門学校 学和コード : 01 学科名 : 高度専門科 年度 : 高度専門科 年度 : 元都等何有 : 2016 男工者野信有数 : 2016 男工者野信有数 : 2016 野市団体 : 学前結果 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :

(35) 学科基本情報一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、各年度の情報の雛形となる情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科資格基本情報登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格基本情報登録」
	画面を表示する。
	② 学科資格基本情報一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科資格基本情報一覧」
	画面を表示する。
	③ 学科科目基本情報登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目基本情報登録」
	画面を表示する。
	④ 学科科目基本情報一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目基本情報一覧」
	画面を表示する。
	⑤ 学科教育課程編成委員基本情報登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員基
	本情報登録」画面を表示する。
	⑥ 学科教育課程編成委員基本情報一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員基

	⑦ 学科	本情報一覧」画面を表示する。 ⑦ 学科学校関係者評価委員基本情報登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員 基本情報登録」画面を表示する。								
	8 学和 「-									
入力要求画面	23.	選挙情報、見」画面を表示する。 職業実践専門課程ポートレート学科基本情報一覧 画面D: 10505060 学科基本情報に対する処理を選択してください。								
	設置者名	学校コード : 01								
	学科コード	学科コード 学科名 資格基本 科目基本 教育課程 学校関係者 編成美見基本 評価委員基本								
	OO1 A学科 登録 一覧 登録 一覧 登録 一覧 世録 一覧 OO2 B学科 登録 一覧 登録 一覧 登録 一覧									
	学校一覧に居	学校一覧に戻る								

(36) 学科資格基本情報登録画面の入力要求

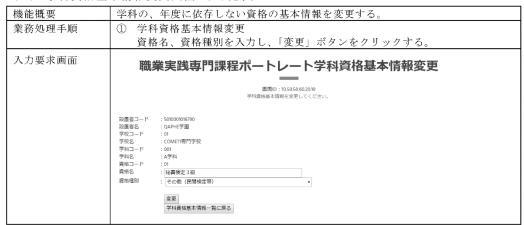


(37) 学科資格基本情報一覧画面の入力要求

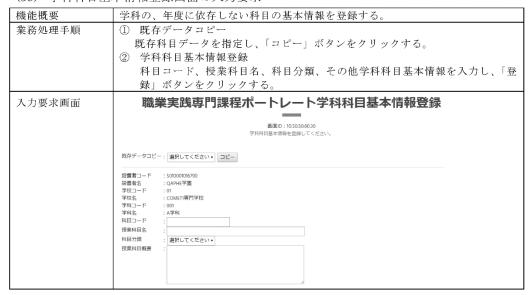
機能概要	学科の、年度に依存しない資格の基本情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科資格基本情報変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科資格基本情報の「学科資格基
	本情報変更」画面を表示する。
	② 学科資格基本情報削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科資格基本情報を削除する。



(38) 学科資格基本情報変更画面の入力要求



(39) 学科科目基本情報登録画面の入力要求



(40) 学科科目基本情報一覧画面の入力要求

機能概要	学科の	、年度に依存	しな	:1/7	科目の基本情報を一覧表示する。				
業務処理手順	① 学	科科目基本情	報変	更					
	Γą	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科科目基本情報の「学科科目基							
		情報変更」画面を表示する。							
					1, 3, 20				
1		科科目基本情							
	Ì	削除」ボタン	をク	リ:	ックすることで、当該学科科目基本情報を削除する。				
入力要求画面	Troth	** do 0* do 86	1=m :0	ئىـ ە	1 1 1 光水水平 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
八万安水画面	丰政	美 天践	議権	王小	ートレート学科科目基本情報一覧				
				学科科目	画面D: 10.50.50.60.40 日基本情報に対する処理を選択してください。				
	フィイコの東本国地でである。 かいち 手が アンドラ アンドラー・アンドラー・アンドラー・アンドラー・エー・アンドラー・アンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドア								
	設置者コード	設備者コード : 7010405001676							
1	設置者名	: 学校法人メイ・ウシヤ	7マ学園						
1	学校コード 学校名	: 01 : ハリウッドビューティ	· 市田学校	*					
1	学科コード	: 01	0 1.170						
1	学科名	: 高度専門科							
1	科目コード	科目名 学科科目基本							
1	001	関係法令・制度 変更 削除							
1	002	関係法令・制度衛生管理 変更 削除							
1	003		美音保険 変更 削除						
	004	美容の物理・化学	- Contractor	削除					
	005	美容運営管理	変更	削除					

(41) 学科科目基本情報変更画面の入力要求

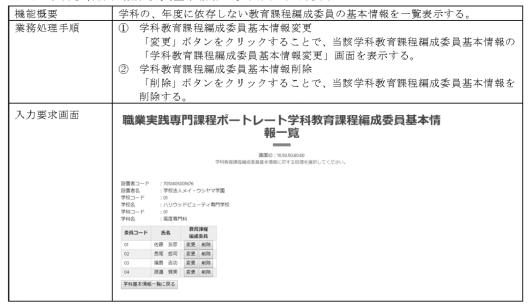
機能概要	学科の、年度に依存しない科目の基本情報を変更する。
業務処理手順	① 学科科目基本情報変更
	授業科目名、科目分類、その他学科科目基本情報を入力し、「変更」ボタンを
	クリックする。
	7 7 7 7 9 0 0
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目基本情報変更
	画面口: 1050.50.60.40.10
	学科科目基本情報を変更してください。
	設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園
	学校コード : 01
	学校名 : ハリウッドビューティ専門学校 学科コード : 01
	学科名 : 高度専門科
	科目コード : 001 授業科目名 : 間條法令・制度
	科目分類 : 必修 •
	授業科目概要 : 実容師の責格について、美容師免許の取得 間係法規・制度
	について、美容室の設置基準など美容師として、美容室経 営者として必要な法令を学ぶ。

(42) 学科教育課程編成委員基本情報登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存しない教育課程編成委員の基本情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存学科教育課程編成委員基本データを指定し、「コピー」ボタンをクリックす
	る。
	② 学科教育課程編成委員基本情報登録
	委員コード、氏名、所属、その他学科教育課程編成委員基本情報を入力し、「登
	録」ボタンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員基本情報登録 報登録 画面: 19.95.55.65.55 学科教育課題組成委員都本情報を登録してください。
	図春データコピー: 選択してください コピー 認価名コード : 7909405004576 認価名名 : 字校正人メイ・ウシヤマ学園 学校2コード : 01 学校名 : パレヴッドビューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 温度専門科 安貴コード : 氏名 : 所属 : (パソアYMMDO形式) 任期間10年月日 : (パソアYMMDO形式) 「研究が作り日日 : (パソアYMMDO形式) 「選択してください ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

(43) 学科教育課程編成委員基本情報一覧画面の入力要求



(44) 学科教育課程編成委員基本情報変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存しない教育課程編成委員の基本情報を変更する。
業務処理手順	① 学科教育課程編成委員基本情報変更 氏名、所属、その他学科教育課程編成委員基本情報を入力し、「変更」ボタン をクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員基本情 報変更
1	画面ID: 10.50.50.60.60.10
	学科教育課程編成委員基本情報を変更してください。
	設置者コード : 7013405001676 設置者名 : 字校法人メイ・ウンヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : バルウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高原専門科 委員コード : 10 氏名 : 佐藤 友彦 所属 : AXIS社長 任期時か年月日 : 20194031 (ソソソソMMDD形式) (理例 : 120194031 : 130194031 : 1

(45) 学科学校関係者評価委員基本情報登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存しない学科学校関係者評価委員の基本情報を登録する。
業務処理手順	③ 既存データコピー
	既存学科学校関係者評価委員基本データを指定し、「コピー」ボタンをクリック
	する。
	④ 学科学校関係者評価委員基本情報登録
	委員コード、氏名、所属、その他学科学校関係者評価委員基本情報を入力し、
	「登録」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員基本 情報登録
	画面 D: 10:50:50:60:70 学科学校照保各評価委員基本情報を登録してください。
	版序データコピー: 選択してください コピー 設価者コード : 7016495001676 設価者名 : デルジルメイ・ウシヤマ学園 学校コード : 00 学校名 : パリウッドピューティ専門学校 デギロード : 01 学科名 : 高級専門特 : 01 受角コード : 1 氏名 :

(46) 学科学校関係者評価委員基本情報一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存しない学科学校関係者評価委員の基本情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科学校関係者評価委員基本情報変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科学校関係者評価委員基本情報
	の「学科学校関係者評価委員基本情報変更」画面を表示する。
	② 学科学校関係者評価委員基本情報削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科学校関係者評価委員基本情報
	を削除する。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員基本 情報一覧					
					画面ID:10.50.50.60.80	
					学科学校関係者評価委員基本情報に対する処理を選択してください。	
	設置者コード 設置者名 学校2 学校2 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3 学科3	: 0	学校法ノ ii ((リウッ	レメイ・! ツドビュ・ 9科 学校!	ウシヤマ学園 ミーティ専門学校 短機優看 電客員	
1	01	JIID	明彦		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	02	酒井	正子	変更	制除	
	03		正次	-	· 削除	
	04	長尾	哲司	変更	例取	
1	05	福島	吉功	変更	例除	
	学科基本情報	最一覧に	戻る			

(47) 学科学校関係者評価委員基本情報変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存しない学科学校関係者評価委員の基本情報を変更する。					
業務処理手順	① 学科学校関係者評価委員基本情報変更					
1	氏名、所属、その他学科学校関係者評価委員基本情報を入力し、「変更」ボタ					
1	ンをクリックする。					
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員基本 情報変更					
	画面の: 10.50.50.60.80.10 字科字钇版係部評価宏異基本情報を変更してください。					
	設備者名 : 70/04/05/00/07/6 設備者名 : 74/05人メイ・ヴシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : ノリウッドヒューティ専門学校 学科コード : 0					
	変更 学科学校開係者評価委員基本情報一覧に戻る					

(48) 学科企業連携一覧画面の入力要求

機能概要	学科と企業の、各年度の連携情報の雛形となる情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科教育課程編成委員会年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員会
	年度登録」画面を表示する。
	② 学科教育課程編成委員会年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員会
	年度一覧」画面を表示する。
	③ 学科企業連携概要年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科企業連携概要年度登
	録」画面を表示する。
	④ 学科企業連携概要年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科企業連携概要年度一
	覧」画面を表示する。
	⑤ 学科教員研修年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教員研修年度登録」
	画面を表示する。
	⑥ 学科教員研修年度一覧

「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教員研修年度一覧」 画面を表示する。 ⑦ 学科学校関係者評価委員会年度登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員会年度登録」画面を表示する。 ⑧ 学科学校関係者評価委員会年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員
⑦ 学科学校関係者評価委員会年度登録「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員会年度登録」画面を表示する。⑧ 学科学校関係者評価委員会年度一覧
「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員会年度登録」画面を表示する。 ⑧ 学科学校関係者評価委員会年度一覧
会年度登録」画面を表示する。 ⑧ 学科学校関係者評価委員会年度一覧
⑧ 学科学校関係者評価委員会年度一覧
┃
会年度一覧」画面を表示する。
③ 学科学校関係者情報提供年度登録
「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者情報提供
年度登録」画面を表示する。
⑩ 学科学校関係者情報提供年度一覽
「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者情報提供
年度一覧」画面を表示する。
入力要求画面 職業実践専門課程ポートレート学科企業連携一覧
運動では、1955-5070 学科企業連携衛物に対する処理を兼担にてください。
設置者コード : 7010405001676 設備者名 : 学校2法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01
学校名 :ハリウッドビューティ専門学校
学科コード 学科名 教育課程 企業連携販車 教員研修 学校開係者 学校開発者 学校開発育 学校開発者 学校研修 学校研修 学校
01 高度青門料 整線 一鬼 散線 一鬼 散線 一鬼 散線 一鬼
学校一覧に戻る

(49) 学科教育課程編成委員会年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教育課程編成委員会情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科教育課程編成委員会年度登録
	年度、基本方針、位置付け、その他学科教育課程編成委員会年度情報を入力し、
	「登録」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員会年度
	登録
	_
	画面ID: 10.50.50.70.10 学科教育課程編成委員会年度情報を登録してください。
	既存データコピー: 選択してください・ 年度 コピー
	設置者コード : 7010405001676
	設園者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01
	学校名 : ハリウッドビューティ専門学校 学科コード : 01
	学科名 : 高度専門科 年度 : (西醫年4桁)
	教育課程の風成に: おける企業等との
	連携に関する基本 万計
	73\$T
	教育課程編成委員: 会等の似園付け

(50) 学科教育課程編成委員会年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教育課程編成委員会情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科教育課程編成委員会年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員会
	年度変更」画面を表示する。

② 学科教育課程編成委員会年度削除 「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科教育課程編成委員会年度を削 除する。 ③ 学科編成委員年度登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教育課程編成委員会 年度登録」画面を表示する。 ④ 学科編成委員年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科編成委員年度一覧」 画面を表示する。 職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員会年度 入力要求画面 一覧 画面ID:10.50.50.70.20 学科教育課程編成委員会年度に対する処理を選択してください。 設備者コード : 7010-045501%76 設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : 八リウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高度専門科
 年度
 学科組成
 学科組成

 委員会年度
 委員会年度

 2017
 変更 削除
 登録
 一覧
 学科企業連携一覧に戻る

(51) 学科教育課程編成委員会年度変更画面の入力要求

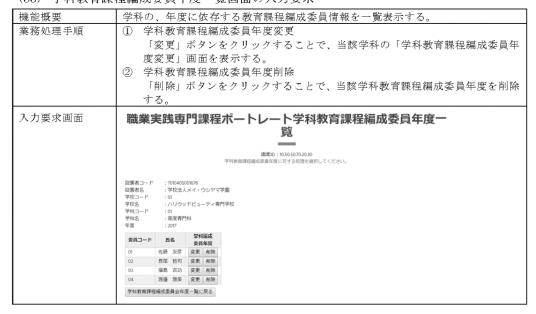
機能概要	学科の、年度に依存する教育課程編成委員会情報を変更する。
業務処理手順	① 学科教育課程編成委員会年度変更
	基本方針、位置付け、その他学科教育課程編成委員会年度情報を入力し、「変
	更」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員会年度
7,772,17,	変更
1	_
	画面(): 10.50.50.70.20.10
	学科教育課程組成委員会年度情報を変更してください。
	設備者コード : 7010-405001076 設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : バルウッドビューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高庭青門特 年底 : 2017 第首類的の場所に : 2017 第首類的の場所に : 元成素を含む。本校の教育業の美国の政策を行うことを基本 方針 : 2022 第首類を開始の表現 : 宗教養養の選集に取した教育を行うことを基本 方針 : 2023 第首類を開始の表現 : 宗教養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養

(52) 学科教育課程編成委員年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教育課程編成委員情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	教育課程編成委員基本情報を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科教育課程編成委員年度登録
	委員コード、氏名、所属、その他学科教育課程編成委員年度情報を入力し、「登
	録」ボタンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員年度登 録 画面の: 1955/5/70 20 20 学科教育課組織委員年度情報を登りてください。
	教育課程編成委員基本清報コピー : 選択してください・コピー 認識者ユード : 7015405001676 認識者名 : 学校広人メイ・ウシヤマ学園 学校ユード : 01 学科名 : 活販売野料 年度 : 2017 委員ユード : 氏名 : (アイアYMMADD形式) 「開館 : (アイアYMMADD形式) 「観別 : 選択してください ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

(53) 学科教育課程編成委員年度一覧画面の入力要求

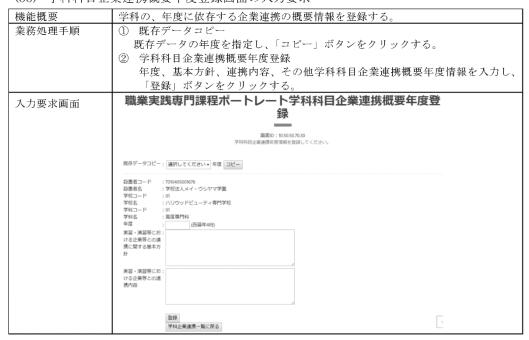


(54) 学科教育課程編成委員年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教育課程編成委員情報を変更する。
業務処理手順	① 学科教育課程編成委員年度変更 氏名、所属、その他学科教育課程編成委員年度情報を入力し、「変更」ボタン をクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教育課程編成委員年度変 更
	画面ID: 10.50.50.702030.10 学科教育認定組成委員年度情報を変更してください。
	設置者コード : 7009405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : ハリウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 実務 : 高限専門科 年度 : 2017 委員コード : 01 氏名 : 佐藤 友彦・ 所属 : ANS社長 任期随年月日 : 20170401 (YYYYMMADD形式) 任期解97年月日 : 20190401 (YYYYMMADD形式) 援別 : 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員 ▼ 要要 学科教育課程編成委員年度一覧に戻る

(55) 学科科目企業連携概要年度登録画面の入力要求



(56) 学科科目企業連携概要年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する企業連携の概要情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科科目企業連携概要年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目企業連携概要年
	度変更」画面を表示する。
	② 学科科目企業連携概要年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科科目企業連携概要年度を削除
	する。
	③ 学科科目企業連携年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目企業連携年度登
	録」画面を表示する。
	④ 学科科目企業連携年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目企業連携年度一

	覧」画面を表示する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目企業連携概要年度一覧
	画面的: 10505070.40 学科科日企築連携販要年度に対する処理を選択してください。
	設備者コード : 7010405001676 設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 0 学校名 : パリウッドピューティ専門学校 学科コード : 高度専門科
	年度 等科企業授業 学科企業授業 接換機器申収 持済年度

(57) 学科科目企業連携概要年度変更画面の入力要求」

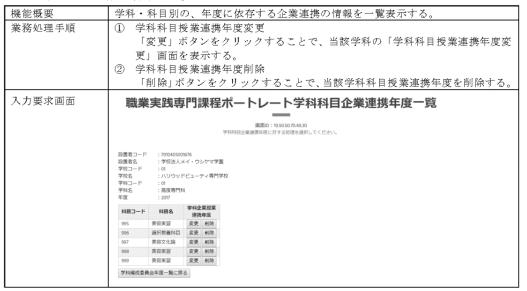
機能概要	学科の、年度に依存する企業連携の概要情報を変更する。
業務処理手順	① 学科科目企業連携概要年度変更
	基本方針、連携内容、その他学科科目企業連携概要年度情報を入力し、「変更」
	ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目企業連携概要年度変 更
	画面ID: 10.50.50.70.40.10 学科科ロ企業連携航受年度債務を変更してください。
	設価者3一ド : 7010405001676 設価者名 : 学校法人メイ・ヴシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : パレヴッドヒューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高度専門科 中国 : 2010 東西・諸田守にお : 該担張である美音客・化粧品会社等の実務者から、専門職と ける企業者との連 ける企業者との連 計
	実国・海国等にお ける企業等との選 携内容 様内容 様内容 東京と 東京と 東京と 東京と 東京と 東京と 東京と 東京と

(58) 学科科目企業連携年度登録画面の入力要求

機能概要	学科・科目別の、年度に依存する企業連携の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	学科科目基本情報を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科科目企業連携年度登録
	科目コード、科目名、科目概要、企業連携等を入力し、「登録」ボタンをクリ
	ックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目企業連携年度登録
	運搬し: 10.50.5070.40.20 学科科由企業連携停車情報を登録してください。
	学科科目基本情報コピー : 選択してください ・ コピー
	設置を1一ド : 700405000576 設置を名 : 学校法人メイ・ウシセマ学園 学校2 - : 100 学校2 : : 100プラドビューティ専門学校 学科3 - F : 101
	デキュート : 01 学料名 : 高度専門科 年度 : 2017 科目コード :
	科目版要 :
	企業連携等
	登録 学科科目企業連携板要年度一覧に戻る

(59) 学科科目企業連携年度一覧画面の入力要求



(60) 学科科目企業連携年度変更画面の入力要求

機能概要	学科・科目別の、年度に依存する企業連携の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科科目企業連携年度変更
	科目名、科目概要、企業連携等を入力し、「変更」ボタンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目企業連携年度変更
	画面の: 10.505070.4030.10 学科科日企業連携年度情報を変更してください。
	設備者コード : 70014045001576 設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学題 学校コード : 01 学校名 : パレヴッドとユーティ得門学校 学科コード : 01 学科名 : 温度専門科 年度 : 2007 科目コード : 395 科目名 : 美音楽器 科目概要 : サロンワーク全般を学ぶ
	企業連携等 : (每)田谷 宴更 学科科目企業連携年度一覧に戻る

(61) 学科教員研修年度登録画面の入力要求

(/) (1/2/2///	
機能概要	学科の、年度に依存する教員研修の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科教員研修年度登録
	年度、基本方針、その他教員研修実績情報を入力し、「登録」ボタンをクリッ
	クする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教員研修年度登録
	_
	画面 D: 1050507050 学科教員研修り関連報告目録しくください。
	既弁データコピー: 選択してください・ 年度 コピー
	設置者コード : /70(49500%/6
	設価者名 : 学院
	学校名 : パリウッドビューティ専門学校 学科コード : の
	学科名 温度原門科 年辰 (西座年4年)
	教員に対する研
	修、研究の <u>國本万</u> 針
	会校分野における: 実際に関する研修
	ラベル・ロフ ながか 毎の実務
L	

(62) 学科教員研修年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教員研修の情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科教員研修年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科教員研修年度変更」
	画面を表示する。
	② 学科教員研修年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科学科教員研修年度を削除する。

入力要求画面 職業実践専門課程ポートレート学科教員研修年度一覧 画面の: 10,50,50,70,60 学科教員研修年度一覧 製造者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校8 : パレウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高度専門科 年度 学科教員 研修年度 (207) 変更 周施 学科企業連携 長に戻る

(63) 学科教員研修年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する教員研修の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科教員研修年度変更
	基本方針、その他教員研修実績情報を入力し、「変更」ボタンをクリックする。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科教員研修年度変更
	画面的: 105.0.50.70.6.010 学科教員研修华度情報を変更してください。
	設置者コード : 700405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : ハリウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 高度専門科 年度 : 207 教員に対する研す : 教題員としてふさわしい人格・教書・指導力・技術の向上を 特・研究の基本方 針 : 「教題員としてふさわしい人格・教書・指導力・技術の向上を 「おかわせるために、時代に即立する教教員そしての責賞を 構えられるよう、学内・学外研修を行う。 - 専攻分野における : 国家試験委員による。 講話を実施した。 ごれに よの、国家試験会員者にいるを実施した。 ごれに よの、国家試験会員者にいると実践も定じた。 ごれに よの、国家試験会員権等のできる実践も要形によって シード・ユーウ社と国家試験課題に対する 理論の ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1

(64) 学科学校関係者評価委員会年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員会の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科学校関係者評価委員会年度登録
	年度、基本方針、その他学校関係者評価委員会年度情報を入力し、「登録」ボ
	タンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員会年 度登録 画面D: 1050507070 7H76版係任用委員会年度開報を登録してください。
	版存データコピー: 選択してください・年度 コピー 設備者コード: 701946501676 設備者名: 学校元人メイ・ヴシヤマ学園 学校二十: 101 学校名: バルヴッドピューティ専門学校 学科コード: 101 学科名: 高度専門科 年度: 一面部年4旧) 学校局係者評価の: 基本方針

(65) 学科学校関係者評価委員会年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員会の情報を一覧表示する。
業務处理手順	 ② 学科学校関係者評価委員会年度変更 「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員会年度変更」画面を表示する。 ② 学科学校関係者評価委員会年度削除 「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科学校関係者評価委員会年度を削除する。 ③ 学科学校関係者評価委員年度登録 「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員年度登録」画面を表示する。 ④ 学科学校関係者評価委員年度一覧
入力要求画面	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員 年度一覧」画面を表示する。 職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員会年
	度一覧 画面の: 1050507080 字科学校院係哲評価委員会中間に対する処理を選択してください。 設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校走人メイ・ウシヤマ学園
	学校2 - ド : 01 学校3 : ハリウッドビューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 温度専門科 学校期報告 学校期報告 学校期報告 学校期報告 学校期報告 学校課報 学校期報告 学校課報 学校课報 学校課報 学校報 学校課報 学校報 学校報

(66) 学科学校関係者評価委員会年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員会の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科学校関係者評価委員会年度変更
	基本方針、その他学校関係者評価委員会年度情報を入力し、「変更」ボタンを
	クリックする。

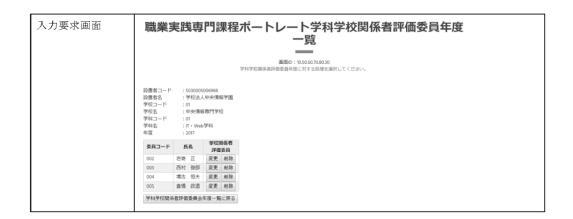
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員会年 度変更
	画面の: 105.05.070.80.10 学科学校類係省評価委員会年度演教を変更してください。
	設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校店 : //ハ/ウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学科名 : 画原専門4 年度 : 2017 学校開格部評価の: 学校と思想に関係する名方医への理解促進、またそれらとの 連携により、教育活動・学校運営の改善を目指す。
	「等体学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 教育理念・目標 : 同左

(67) 学科学校関係者評価委員年度登録画面の入力要求

	T
機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	学校関係者評価委員基本情報を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科学校関係者評価委員年度登録
	委員コード、氏名、所属、その他評価委員年度情報を入力し、「登録」ボタン
	をクリックする。
	<u> </u>
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員年度
	登録
	画面(D: 10.50.50.70.80.20 学科学校関係者評価委員年度情報を登録してください。
	学校院係評価委員基本情報コピー : 選択してください・ コピー
	設価者コード : 70/0405001676 設価者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園
	学校コード : 01 学校名 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
	学科コード : 01
	学科名 : 高度専門科 年度 : 2017
	要員コード : 任名
	所属:
	任期間始年月日: (YYYYMMOD形式) 任期終了年月日: (YYYYMMDD形式)
	種別 :
	登録 学科学校發係老評価委員会年度一覧に厚る
	A TO A CONTROL OF THE ACT OF THE

(68) 学科学校関係者評価委員年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員の情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科学校関係者評価委員年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者評価委員
	年度変更」画面を表示する。
	② 学科学校関係者評価委員年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科学校関係者評価委員年度を削
	除する。



(69) 学科学校関係者評価委員年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者評価委員の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科学校関係者評価委員年度変更
7.7.7.	氏名、所属、その他評価委員年度情報を入力し、「変更」ボタンをクリックす
	5.
	′చం
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者評価委員年度 変更
	画面の: 105.056/7080.3010 学科学校原係由評価委員年度情報を変更してください。
	設置者コード : 5030005006968 設置者名 : デセス・中央情報学園 学校二 : 01 学校名 : 中央情報学問 学科二 F : 01 学科名 : IT・Web学科 年度 : 2017 委員コード : 002 氏名 : 担告 正 「公益制団法人共工環情報サービス産業協会 耐会長、ディーエ 任期附給年月日 : 2010401 (アソアメMMDO形式) 権別 : ②単発音 目 : 201033311 (アソアメMMDO形式)
	(権力) : 企業寺委員 変更 学科学収録係者評価委員年度一覧に戻る

(70) 学科学校関係者情報提供年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者に対する情報提供の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科学校関係者情報提供年度登録
	年度、基本方針、その他学校関係者情報提供年度情報を入力し、「登録」ボタ
	ンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者情報提供年度 登録 画面: 10,50,50,70,50 字科学校際所質情則提供提供網報登録してください。
	照存データコピー: 選択してください 年度 コピー 設備者名 : デジュード : 5030005009698 設備者名 : デジュード : 01 デジム : 中央情報専門学校 デジム : ロー・ : 01 デザオコード : 01 デザオコード : 01 デザオ : 11 Web デ科 年度 : (西路午4桁) 企業句のデジス様に : 者に対する情報提 他の都本方針
	「専門学校における情報提供等への歌組に関するガイドライン」の項目との対応 学校の概要、目標: 及び計画

(71) 学科学校関係者情報提供年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者に対する情報提供の情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科学校関係者情報提供年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科学校関係者情報提供
	年度変更」画面を表示する。
	② 学科学校関係者情報提供年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科学校関係者情報提供年度を削
	除する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者情報提供年度
八八叉水四面	一覧
	_
	画面D: 10.50.50.70.100
	学科学校関係各情報提供年度に対する処理を選択してください。
	設面者コード :7010405001676
	設備者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01
	学校ユード : 01
	学科コード :01
	学科名 : 高度専門科
	年度 情報提供
	2017 変更 削除
	学科企業連携一覧に戻る

(72) 学科学校関係者情報提供年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する学校関係者に対する情報提供の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科学校関係者情報提供年度変更
	基本方針、その他学校関係者情報提供年度情報を入力し、「変更」ボタンをク
	リックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科学校関係者情報提供年度 変更 画画 1950597010010 学科学校開係前側の目標を受してください。
	設置者2 ド 7010405001676 設置者名 : アゼル人メイ・ウンヤマ学園 デゼロード : 01 デザス : バリウッドヒューティ専門学校 デギュード : 01 デギス : 風鬼専門神 : 207 企業等の学形が : 美華美国等の指導体験を前提に、当校の教育理念から実践的 報に対する清晰版 : 検別が自止意るまで、全体を情報提供する。 「南門学校における清晰版 : 表表表情報提供する。 「南門学校における清晰版 : 国産 : 周彦

(73) 学科科目一覧画面の入力要求

,	
機能概要	学科の、各年度の科目の概要情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科科目概要年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目概要年度登録」
	画面を表示する。
	② 学科科目概要年度一覧
	「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目概要年度一覧」
	画面を表示する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目一覧
	画面D: 10,50,50,80 学科科目L対 8.502単分組入でくたでい。
	THI HEND SCHEDING AND TO
	設備者 : 字校法人メイ・ウシヤマ学園
	学校コード :01 学校名 :ハリウッドビューティ専門学校
	学科3一ド 学科名
İ	01 高度再門科 學報 一戰
ı	学校一覧に戻る

(74) 学科科目概要年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の概要情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	既存データの年度を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科科目概要年度登録
	年度、科目数、単位時間、卒業要件、学期区分、授業期間を入力し、「登録」
	ボタンをクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目概要年度登録
	画版ID: 1050508010 学科科目概要年度情報を登録してください。
	既存データコピー: 選択してください・ 年度 コピー
	設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校志人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学校名 : ハリウッドピューティ専門学校 学科コード : 01 学校名 : 高度専門科 年度 : 低語降4桁) 報目 : 相目 :
	万法 1 学年の学期区分:

(75) 学科科目概要年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の概要情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科科目概要年度変更 「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目概要年度変更」
	画面を表示する。 ② 学科科目概要年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科科目概要年度を削除する。 ③ 学科科目年度登録
	「登録」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目年度登録」画面 を表示する。
	④ 学科科目年度一覧 「一覧」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目年度一覧」画面 を表示する。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目概要年度一覧
	画面ID: 1050508020 学科科日概要年後に対する危壁を選択してください。
	設価者3 一ド : 7010405001676 設価者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校2 : 1 学校名 : パリウッドピューティ専門学校 学科3 : 高度専門科
	年収 学科科目 現在主席 学科科目年収 2077 変更 別除 登録 一致 学科科目一覧に戻る

(76) 学科科目概要年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の概要情報を変更する。
業務処理手順	① 学科科目概要年度変更
	科目数、単位時間、卒業要件、学期区分、授業期間を入力し、「変更」ボタン
	をクリックする。

入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目概要年度変更
	画面(): 10,50,50,80,20,10 字科科回载要年度情報を変更してください。
	設置者2 : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校2 : 7010年 : 01

(77) 学科科目年度登録画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の情報を登録する。
業務処理手順	① 既存データコピー
	学校科目基本情報を指定し、「コピー」ボタンをクリックする。
	② 学科科目年度登録
	科目コード、科目名、科目分類、その科目年度情報を入力し、「登録」ボタン
	をクリックする。
	£ / / / / / Wo
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目年度登録
	画面ID: 10.50.50.80.20.20
	学科科目年度情報を登録してください。
	学科科目基本情報コピー : 選択してください ・ コピー
	お価者コード : 7010405001676 設置者名 : 学校法人メイ・ウシヤマ学園 学校コード : 01 学科名 : 高度専門科 年度 : 2017 和目コード : 授業科目経費 : 選択してください・ 選択してください・ 選択してください・
	配当年次 : 配当学期 : 授業時款 : 雖位數 :

(78) 学科科目年度一覧画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の情報を一覧表示する。
業務処理手順	① 学科科目年度変更
	「変更」ボタンをクリックすることで、当該学科の「学科科目年度変更」画面
	を表示する。
	② 学科科目年度削除
	「削除」ボタンをクリックすることで、当該学科科目年度を削除する。



(79) 学科科目年度変更画面の入力要求

機能概要	学科の、年度に依存する科目の情報を変更する。
業務処理手順	① 学科科目年度変更
	科目名、科目分類、その科目年度情報を入力し、「変更」ボタンをクリックす
	る。
入力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科科目年度変更
	_
	画面D:10505080203010 字科科自年度情報を変更してください。
	設置者コード : 7010405001676 設置者名 : 学院太人メイ・ウシヤマ学園 学校ユード : 01 学校名 : ハリウッドビューティ専門学校 学科ユード : 01 学科名 : 高度専門科 年度 : 2017 科目コード : 001 授業科目と : 関係法令・制度 科目分類 : 必修 ・

5.2 出力要求

5.2.1 出力要求の一覧

出力の各機能における出力要求について、表にまとめる。

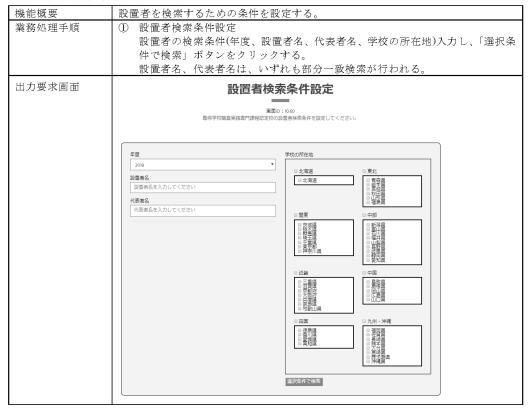
No.	機能名	出力名	目的・内容	キー・全項目	利用部門
(1)	設置者検索	設置者検索条件	設置者を検索す	年度、設置者名、代	ポートレート
		設定	るための条件を	表者名、都道府県コ	システム閲覧
			設定する。	<u> К</u>	者
(2)		設置者検索結果	設置者の検索結	都道府県コード、設	ポートレート
		一覧	果を、都道府県別	置者コード、年度、	システム閲覧
			に一覧表示する。	都道府県名、設置者	者
(3)			設置者の検索結	名 設置者コード、年	ポートレート
(5)		以 直 名 本 作 和	果の詳細を表示	度、設置者名、設立	システム閲覧
			する。	認可年月日、代表者	者
			, 50	名、郵便番号、都道	_
				府県コード、市区町	
				村、地番、建物、電	
				話番号、URL	
(4)	学校検索	学校検索条件設	学校を検索する	年度、設置者名、代	ポートレート
		定	ための条件を設	表者名、学校名、校	システム閲覧
			定する。	<u>長名</u> 、 <u>都道府県コー</u> ド	者
(5)			 学校の検索結果	<u>ー</u> 都道府県コード、設	ポートレート
(0)		覧	を、都道府県別に	置者コード、学校コ	システム閲覧
		75	一覧表示する。	<u>ード</u> 、年度、都道府	者
				<u></u> 県名、学校名	·
(6)		学校基本情報	学校の検索結果	設置者コード、学校	ポートレート
			の詳細を表示す	<u>コード</u> 、 <u>年度</u> 、設置	システム閲覧
			る。	者名、学校名、設置	者
				認可年月日、校長	
				名、郵便番号、都道 府県コード、市区町	
				村、地番、建物、電	
				話番号、URL	
(7)	学科検索	学科検索条件設	学科を検索する	年度、学校名、学科	ポートレート
		定	ための条件を設	名、課程名、分野コ	システム閲覧
			定する。	<u>ード、専門士、高度</u>	者
				専門士、クラス担任	
				有無、独自奨学金有	
				無、教育訓練給付対象、第三者評価有	
				<u>※、 泉二旬 計画作</u> 無、都道府県コード	
(8)		学科検索結果一	学科の検索結果	都道府県コード、設	ポートレート
(5)		覧	を、都道府県別に	置者コード、学校コ	システム閲覧
			一覧表示する。	<u>ード、学科コード</u> 、	者
				<u>年度</u> 、都道府県名、	
L.,				学校名、学科名	
(9)		学科基本情報	学科の検索結果	設置者コード、学校	ポートレート
			の基本情報を表	<u>コード、学科コー</u>	システム閲覧
			示する。	<u>ド、年度</u> 、学校名、 学科名、分野コー	者
				ド、課程名、認定年	

月日、専門士、高度 原門力、学科生化・一下、修 下が開放を対象を 東門力、 ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 下が開放を ・ 一下、修 一下、修 一下、修 一下、修 一下、 一下、 一下、 一下、 一下、 一下、 一下、 一下、	報	専門士、慶修年限 、 履修年限 、 履修年限 、 優修年 限 、 優修年 限 、 優修年 限 、 優修年 限 、 優修年 の ド、 修丁 数、講 間 数、時 実 間 数、 制 ラ 海 表 類 表 表 数 育 割 課 経 か 表 、 数 育 割 課 終 会 と は 職 な 条 中 の と の と な ま ま ま で ま ま で ま な ま ま ま で ま ま ま ま で ま ま ま ま
URL、歴修中限コード、修修 でコード、優でコード、修修 でコード、優でコード、修修 でコード、修作 できない にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい に	報	URL、履修年限コート を で で で で で で で で で で で で で で で で で で
一ド、展夜コード、修字単成 無義時間 数、照義時間、数、病菌数、実時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実技時間数、実力ス担、成績評価方法、減級条の一方活動、サールパラ金を向対容、数条件、飛送金子の対容、数条件、混合、サールで変を全合的対容、数条件、混合、サールで、全体を発音、数点、数音等的合、光上、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、一下、	報	一ド、修 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で で で ま で ま で を で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま
(多)	報	修業単位コード、修 了時間数、講義時間 数、講義時間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実間数、実
では、	報	丁時間数、講義時間数、講義時間数、時間数、実時間数、実時間数、実時間数、実時間数、実時間数、実時間数、実践時間数、実践を表して、という。 一点のでは、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
製、液習時間数、実 密・調料数、実験が、学期制度、長期休業、クラス担任有無、成績評価有 無、級者評価信有 無、級者評価信有 無、級者評価者 無、級者副連續給付対象。 報	報	数、演習時間数、実習時間数、実習時間数、実験時間数、実験時間数、実験時間数、実験時間数、実技時間数、実力ラス担任有評価の別指導、成績評価方法、進級条件、別指導、成績評価方法、進級条件、別指導、が当時では、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、
2	報	習時間数、実験時間数、実験時間数、実技時間数、実技時間数、実力ラス担任有無、個別指導、成績評価方法、進級条件、課動有無、成績評価方法、進級条件、課動有無、独自訓練給付実績置者一ド、学位の容、教育訓練給付実績置者一ド、学位名、教育訓練給付実績置者一ド、学校名、教育訓練給付実績である。 科の検索結果生徒・教員情報表示する。 科の検索結果生徒・教員情報表示する。 科の検索結果生徒・教員情報表示する。 科の検索結果生徒・教員情報表示する。 科の検索結果生徒・教育訓練給付実施強に対している。 本の検索結果とは、学科名、学科名、定員、生徒、留職、企業、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、対策、
製、実技時間数、学期所体業 (日本)	報	数、実技時間数、学期制度、長期休業、クラス担任有無、個別指導、成績評価有無、成績評価方法、進級条件、課動有無、成績評価方法、進級条件、課動有無、独自對等金內容、教育訓練給付実績 置者コード、学校 つらで、教育訓練給付実績 置者コード、学校名、教育訓練給付実績 として、学科名、学科名、学科名、生人、科名、生人、学校総に 員、生徒、留学生数、就職名数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者
期制度、長寿体業、 クラス担任有無(個)別指導、成績評価有無、個別指導、成績評価方法、進級条中一クル活動有無、成績評価方法、進級条中の上海動育無、独自 担 学 全 合 内容 歌 教育訓練給付支 激	報	期制度、長期休業、 クラス担任有無、個別指導、成績評価有無、成績評価方法、 進級条件、課外活動、サークル活動金有無、独自負奨学金内容、教育訓練給付実績 置者コード、学校 空ード、学校名、教育訓練給付実 遺置者コード、学校 コード、学校名、学科名、 学科名、生養、学校名、学科名、生養経留貴、生徒、発表、生養、全費、、、業者、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
(10) タース担任有無、個別指導、成績評価方法、進級条件、活動・サークル受金有無、独自規学金内内容、教育副訓練給付表。教育副訓練給付表。教育副訓練給付表。教育副訓練給付表。教育副訓練給付表。教育副訓練給付表。教育問訓練給付表。教育問訓練給付表。教育問訓練給付表。教育問訓練治學之一下、学校之、学科を定其、生養、財職、完業者、財職者教、主等者、財職者教、主等者、財職者教、主等、政職者教、中、政等、政策者教、中、政等、政策者、中、政等、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、	報	クラス担任有無、個別指導、成績評価有無、成績評価有無、成績評価方法、進級条件、課外活動、サークル活動有無、独自奨学金内容、教育訓練給付実績
(10) 学科生徒・教員情 学科の検索結果 成職評価方法、進級共一 2 中 4 中 9 中 9 全 6 中 5 来 教育訓練給付为 象 教育訓練給付为 2 中 1 下 2 中 2 中 2 中 2 中 2 中 3 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 4 中 3 中 5 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 5 中 6 中 3 中 6 中 5 中 6 中 3 中 6 中 5 中 6 中 5 中 6 中 5 中 6 中 5 中 6 中 5 中 6 中 6	報	別指導、成績評価有無、成績評価有無、成績評価方法、進級条件、課外活動、サークル活動有無、独自奨学金内容、教育訓練給付実績 科の検索結果 生徒・教員情報表示する。 科の検索結果 生徒・教員情報表示する。 整置者コード、学校コード、学校コード、学校名、学科名、生徒総ピートで、学校名、学校名、学校名、学科名、生徒総ピートで、学生数、就職先、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数
無、成績評価方法、 進級条件、課外動有 無、独自型學学会有 無、独自型學学会有 無、独自型學学会有 素教育訓練給付契 象教育訓練給付支 象教育訓練給付支 を表示する。 学科生徒・教員情報 を表示する。 学科生徒・教員情報 を表示する。 学科生徒・教員情報 を表示する。 学科生徒・教員所 生徒、留 生徒、留 大工 生養、別、就職者教、就職者教、就職者教、就職者教、之 主題者教、就職部一年,19年 中退時、、学校 心及者教、当年 世由、中退時、、学校 心及者教、当年 世由、中退時、、学校 心及者教、当年 世由、中退時、、学校 心及表別自然 を表示する。 学科学修成果情報 を表示する。 学科を後定 生後、定 学科之一下、学校 心及教、当年 世由、中退時、、学校 心及教、当年 世由、中退所、、業者 教、教、教、主 主事任、 を教、当年 と一下、学校 心及教、当年 と一下、学校 心及教、当年 と、大工 一下、生徒、定 一下、生徒、定 長、生徒、総定 一下、生徒、定 一下、生徒、定 一下、生徒、定 長、生徒、定 長、生徒、総定 全、教、就職者、職、 、、就職者、職、 、、就職者、職、 、、就職者、主事、 、、就職者、主事、 、、、、、就職者、 、、、、、、就職者、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	報	無、成績評価方法、 進級条件、課外活動、サークル活動有無、独自奨学金内容、教育訓練給付対象、教育訓練給付対象、教育訓練給付実績 科の検索結果 生徒・教員情報表示する。
(10)	報	進級条件、課外活動、サークル活動有無、独自奨学金有無、独自奨学金内容、教育訓練給付対象、教育訓練給付実績 科の検索結果生徒・教員情報表示する。
(10) 学科生徒・教員情 学科の検索結果 の生徒・教員情報を表示する。 学科生徒・教員情報を表示する。 学科生徒・教員情報を表示する。 学科生徒・教員情報を表示する。 学科名、生徒・留学生教、放職者教、就職者教、就職等者教、就職等者教、就職事者教、就職事者教、党政、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职、政职	報	動、サークル活動有無、独自奨学金有無、独自奨学金内容、教育訓練給付対象、教育訓練給付実績 科の検索結果生徒・教員情報表示する。 <u>数置者コード、学校</u> コード、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職者数、就職者数、就職率、
無、独自奨学金会内無、独自頻学会会内無、独自頻学会会内無、独自頻学会会内容、教育訓練給付效象、教育訓練給付效象、教育訓練給付支線。教育訓練給付支線。教育訓練給付支線。教育訓練給付支線。在一下、学科コート、学校名、生徒表員、全様表見、空科を、全部の大学、大学校、大学科を、生徒表別、教職者割合、進学者教、放職者割会、政策、中退率、中退率、中退理由、中退程由、中退性、兼任、総数員教の学修成果情報を表示する。 「111」 「学科学修成果情報を表示する。 「学科の検索結果の学修成果情報を表示する。」 「学科学修成果情報を表示する。」 「学科学修成果情報を表示、対策を表示する。」 「学科学修成果情報を表示、対策を表示する。」 「学科学修成果情報、表示、対策を表示する。」 「学科学修成果情報、表示、対策を表示する。」 「学科学修成果情報、表示、対策を表示する。」 「学科学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学	報の質	無、独自奨学金有 無、独自奨学金内 容、教育訓練給付対 象、教育訓練給付実 績 科の検索結果 生徒・教員情報 表示する。 <u>数置者コード、学校</u> コード、学科コー 下、年度、学校名、 学科名、生徒総定 員、生徒実員、留業 生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
(10) 無	報の質	無、独自奨学金内容、教育訓練給付対象、教育訓練給付実績 科の検索結果 生徒・教員情報表示する。 整置者コード、学校コード、学校コード、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職者数、就職率、
(10)	報	容、教育訓練給付対象、教育訓練給付実績 科の検索結果 生徒・教員情報表示する。 <u>設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、学科コード、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職希望者数、就職者数、就職率、</u>
(10) 学科生徒・教員情 学科の検索結果 の生徒・教員情報 空上下、学校 2 二上下、学校 2 二上下、学校 2 二上下、学校 2 2 一下、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、生徒実長、就職 指導内容、卒業者 数、職職者制合、進学者 数、職職者制合、進学者 数、就職年以上、,就職者ある、進学者 数、就職年月日、申退降、前年度在学者数、中退理 由、中退降、美保、学修成果、專任、総教員数 2 二上下、学校 2 二上下、学校名、学科名、生徒総定員、生徒寒員、留達 2 生徒寒員、親職 2 本子 2 大字 4 名、生徒総定員、生徒と、党科名、生徒総定員、生徒、美具、組織 2 大字 4 名、生徒総定員、生徒、美員、親職 4 教、就職者 3 教、就職帝 望者数、就職帝 望者数、就職帝 望者数、就職帝 望者数、就職者要、,就職者数、就職者要、,就職者以之〉ト、或職職者以之〉ト、或職者数、允、職等者数、就職者以之〉ト、或職者数、允、職等者数、就職者以之〉ト、或職者数、允、職等者数、就職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之〉ト、或職者以之之〉ト、或者数、允、董学者数、并任定之。	報	象、教育訓練給付実 績 科の検索結果 生徒・教員情報 表示する。 <u>設置者コード、学校</u> ユード、学科コー ド、年度、学校名、 学科名、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
(10) 学科生徒・教員情 学科の検索結果 の生徒・教員情報 を表示する。 学校名、学校名、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職 指導内容、卒業者教、就職者、32以下、就職 教教、就職中、24以下、就職 教教、主义之下、党科名、生徒 後間 学生教、就職工以之下、就職 教育副合、進学者教、主通理由、中退者 女中退理由、中退者 女中退理由、中退者 大学修成 成果 員 教、中退理由、中退者 大学修成 大学 (11) 学科学修成果情 安示する。 学科名、生徒総留学生教、就職者教会、就職者教会、就職者教会、就職者教会、就職者教会、连举者教、就職者教会、连举者教、就職而以之下、就職職者教会、选进学者教、就職而以上下、成職職者教会、选生徒。 (21) 建筑 (2	報	續 和の検索結果 生徒・教員情報 表示する。 設置者コード、学校 コード、学科コード、学科コード、 年度、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職希望者数、就職者数、就職率、
(10) 学科生徒・教員情 学科の検索結果 の生徒・教員情報 を表示する。 整置者コード、学校 コード、学科コード、年度、学校名定員、生徒総定員、生徒と紹介 東京	報	科の検索結果 生徒・教員情報 表示する。 <u>2 ロード、学科コートンテム関係を表示する。</u> <u>1 1 </u>
報 の生徒・教員情報 を表示する。	報	生徒・教員情報 表示する。 <u>ド、年度</u> 、学校名、 学科名、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
下、年度、学校名、	1 1 2	表示する。
学科名、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職者劉合、進学者 数、就職子國子之と下、 就職子個一年月日、中 退者数、当年度在学者数、当年度在学者数、当年度在学者数、当年度在学者数、当年度在学者数、当年度在学者数、上。 使在學者数、上。 使在學者数、生養。 一下、学校一一下。 一下、学校一一下。 一下、学校名定 長、学校名、一定、学校名、一定、学校名、一定、学校名、一定、学校名、上、一个。 一下、学科之一、大、学校名、一定、学校名、上、学校名、一定、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、上、学校名、、一、大、大、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、		学科名、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導內容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
員、生徒実員、留学生数、就職先、就職指導内容、望者数、就職者割、進学者数、就職者數」。進学者数、就職者數」。進学者数、就職評価年月日、中退者数、中者数、当年度在学者数、中者数、当年度在学者数、中。		員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導內容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
(11) 生数、就職先、就職 指導內容、卒業者 教、就職者對為、就職率。 就職者對為、進学者 教、就職四二月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、出年 度在学者数、出年 度在学者数、出年 度在学者数、出年 一下、学校 成果、負数 2000年度、学校名、 学科名、生徒総定 員、生徒寒覧先、就職 指導內容、卒業者 教、就職者對。人、此職者 、就職者對。一下、 、定員、生徒、留学 生数、、就職 指導內容、卒業者 教、就職者 、就職者對。一下、 、定員、生徒、 、定員、生徒、 、定員、生徒、 、成職者 、就職者 、就職者 、就職者 、就職者 、就職者 、就職者 、就職者 、就		生数、就職先、就職 指導內容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
指導内容、卒業者 数、就職者数、就職率、 就職者割配コメント、 就職配無工月率、前 年度在学者数、中退理 由、中、退理 由、中、退班 由、中、選手 要任、業任、 総教員数 登置者コード、学校 コード、学校名、 学科学修成果情報 を表示する。 登置者コード、学校名、 学科学校名、 学科を表、定 員、生徒総定 員、生徒総配 資生数、的職者、就職者 表、政職者 教、就職者都高 、進学者 数、就職者者制命、之ント、 就職者数、就職不望者数、 就職者数、就職不可以 、進学者 数、就職者者制命、之ント、 就職者数、就職者者制命、之ント、 就職都本、之と、 就職者数、就職可以 北、之下、 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、定員、生徒、配 、成、一 、本、一 、本、一 、本、一 、本、一 、本、一 、本、一 、一 、一 、一 、一 、一 、一 、一 、一 、一		指導內容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
数、就職希望者数、 就職者對合、進学者 数、就職四メント、 就職評価年月日、前 年度在学者数、中退理 由、中退防止、学修 成果、専任、兼任、 総数員数 一下、学科の検索結果 の学修成果情報 を表示する。		数、就職希望者数、 就職者数、就職率、
就職者教、就職率、 就職者割合、進学者 数、就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、中退理 由、中退防止、兼任、 総教員数 一下、学校 コード、学科コー 下、生度、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、学科コー 下、生産、生徒総定 員、生徒、経定 員、生徒、監責 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、		就職者数、就職率、
就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当理 由、中退防止、学修 成果、責 。 <u>2000年</u> (2000年) 一下、学校 2000年 200		
数、就職コメント、 就職部価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年 度在学者数、当理 由、中退防止、学修 成総数量数 参数量数 参数量数 参数量数 一下、学校 コード、学校 コード、学校 コード、学校 コード、学校 シオ を表示する。 を表示する。 学科名、生徒総定 員、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導内容、卒者数、 就職者割高」メント、 就職の者、就職子者数、 就職者割高」メント、 就職部十二十二十一十 退者数、 就職者都高」メント、 就職部十二十二十一十 退者数、 就職者割高」メント、 就職配年月日、中 退者数、中退率、 中度在学者数、当年		取職者劃令 電学者
就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年 度在学者数、当年 度在学者数、当理 由、中退防止、学修 成果、專任、兼任、 総教員数 学科学修成果情報 を表示する。 一下、学校 コード、学科コー 上、年度、学校名、 学科名、生徒総定 員、生徒寒鼠、留職 指導内容、卒業者 数、就職者割合、迷学者 数、就職者割合、メント、 就職都不要者数、 就職者割合、メント、 就職都不要者数、 就職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職職者割合、メント、 就職部のよる、 就職者、 就職のよる、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 就職者、 、其一年 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
退者数、中退率、前年度在学者数、当年度在学者数、当年度在学者数、中退理由、中退防止、学修成果、専任、兼任、総数員数 設置者コード、学校コード、学科コード、学科コード、学科コード、学科コード、学科コード、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生数、就職先、就職指導内率、卒業者数、就職者割合、進学者数、就職者割合、進学者数、就職者割合、進学者数、就職コメント、就職評価年月日、中退者数、中退率、前年度在学者数、当年		
(11) 学科学修成果情報を表示する。 学科の検索結果 の学修成果情報を表示する。 学科の検索結果 の学修成果情報を表示する。 学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生数、就職名数、就職名数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者数、就職者		
(11)		
田、中退防止、学修成果、専任、兼任、総教員数 学科学修成果情報を表示する。 世子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(11) 学科学修成果情 学科の検索結果 の学修成果情報を表示する。 整置者コード、学校コート、学校コート、学校コート、学校名、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生数、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職者数、就職率、就職者数、就職率、就職者割合、進学者数、就職コメント、就職評価年月日、中退者数、中退率、前年度在学者数、当年		
(11) 学科学修成果情報の学修成果情報を表示する。 学科の検索結果の学修成果情報を表示する。 要置者コード、学校コード、学科コード、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生数、就職先、就職指導内容、卒業者数、就職者数、就職率、就職者数、就職率、就職者割合、進学者数、就職コメント、就職評価年月日、中退者数、中退率、前年度在学者数、当年		
報 の学修成果情報を表示する。 コード、学科コード、学科コード、生度、学校名、学科名、生徒総定員、生徒実員、留学生教、就職先、就職指導内容、卒業者教、就職者教、就職率、就職者教、就職率、就職者割合、進学者教、就職コメント、就職評価年月日、中退者数、中退率、前年度在学者数、当年		総教員数
報 の学修成果情報を表示する。	(11) 学科学修成果情 学	科の検索結果 設置者コード、学校 ポートレー
を表示する。	報 の:	
学科名、生徒総定 員、生徒実員、留学 生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		
生数、就職先、就職 指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		
指導内容、卒業者 数、就職希望者数、 就職者数、就職率、 就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		員、生徒実員、留学
数、就職希望者数、 就職者数、就職率、 就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		生数、就職先、就職
就職者数、就職率、 就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		指導内容、卒業者
就職者割合、進学者 数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		数、就職希望者数、
数、就職コメント、 就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		就職者数、就職率、
就職評価年月日、中 退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		就職者割合、進学者
退者数、中退率、前 年度在学者数、当年		数、就職コメント、
年度在学者数、当年		
度在学者数、中退理		1 2 1 2 2 1 2 2 1 2
		度在学者数、中退理
由、中退防止、学修		
成果、専任、兼任、		
		成果、専任、兼任、
1 (10) 1		成果、専任、兼任、 総教員数
· · · - · · · · · · · · · · · · · ·	情報 の	成果、専任、兼任、 総教員数 科の検索結果 <u>設置者コード、学校</u> ポートレー

	1	T	1	
		報を表示する。	<u>ド、年度</u> 、学校名、 学科名、第三者評価 有無、評価団体、受	者
			審年月、評価結果 URL、評価結果	
(13)	学科教育課程編 成情報	学科の検索結果 の教育課程編成	<u>設置者コード、学校</u> <u>コード、学科コー</u>	ポートレート
	AATR TA	情報を表示する。	<u>ド、年度、委員コー</u>	者
			<u>ド</u> 、学校名、学科名、 基本方針、位置付	
			け、委員会日時、意 見活用状況、委員名	
			第日付、氏名、所属、	
			任期 FROM、任期 TO、種別コード	
(14)	学科企業連携授	学科の検索結果	設置者コード、学校	ポートレート
	業情報	の企業連携授業 情報を表示する。	<u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度、科目コー</u>	システム閲覧 者
			<u>ド</u> 、学校名、学科名、 基本方針、連携内	
			容、科目名、概要、	
(15)	学科教員研修情	学科の検索結果	連携企業 設置者コード、学校	ポートレート
	報	の教員研修情報 を表示する。	コード、学科コー	システム閲覧
		を放かりる。 	<u>ド、年度</u> 、学校名、 学科名、基本方針、	者
			専攻研修実績、指導 力研修実績、専攻研	
			修計画、指導力研修	
(16)	学科学校関係者	学科の検索結果	計画 設置者コード、学校	ポートレート
	評価情報	の学校関係者評価情報を表示す	<u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度、委員コー</u>	システム閲覧者
		画情報と扱 なり	<u>「ド</u> 、学校名、学科名、	70
			基本方針、教育理 念、学校運営、教育	
			活動、学修成果、学 生支援、教育環境、	
			学生募集、財務、法	
			令遵守、社会貢献、 国際交流、評価活用	
			状況、委員名簿日	
			│ 付、氏名、所属、任 │ 期 FROM 、 任 期	
			TO、種別、公表方 法、公表時期、URL	
(17)	学科学校情報提	学科の検索結果	設置者コード、学校	ポートレート
	供情報	の学校情報提供 情報を表示する。	<u>コード、学科コー</u> <u>ド、年度</u> 、学校名、	システム閲覧 者
			学科名、基本方針、	
			目標、教育、教職員、 キャリア教育、教育	
			環境、生活支援、修 学支援、財務、学校	
			評価、国際連携、そ	
(18)	学科授業科目情	学科の検索結果	の他、URL 設置者コード、学校	ポートレート
	報	の授業科目情報	コード、学科コー	システム閲覧

	を表示する。	<u>ド、年度</u> 、学校名、 学科名、科目数、単	者
		位時間、卒業要件、	
		学期区分、授業期間、科目分類コー	
		ド、科目名、概要、 年次、学期、時数、	
		単位数、講義、演習、 実技、校内、校外、	
		専任、兼任、企業連 携、備考	

(1) 設置者検索条件設定の出力要求



(2) 設置者検索結果一覧の出力要求

機能概要	設置者の検索結果を、都道府県別に一覧表示する。
業務処理手順	① 設置者基本情報表示
	設置者基本情報を表示する設置者名をクリックする。

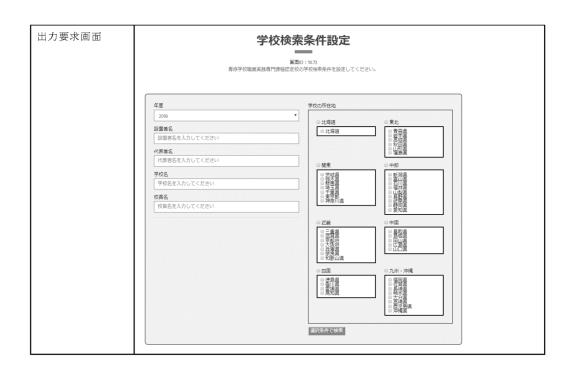
出力要求画面	職美	美実践専門課程ポートレート設置者検索結果一覧 画面D: 10,6010 設置名検索執限一覧から採売を表示する設置名を選択してください。	
	東京都	QAPHE学園	
	大阪府	学校法人修成学国	
	大阪府	学校法人大阪滋慶学園	
	大阪府	学校法人古武学国	
	島根県	学校法人山陰理容美容学園	
	岡山県	学校法人三友学園	
	岡山県	学校法人朝日医療学園	

(3) 設置者基本情報の出力要求



(4) 学校検索条件設定の出力要求

機能概要	学校を検索するための条件を設定する。
業務処理手順	① 学校検索条件設定
	学校の検索条件(年度、設置者名、代表者名、学校名、校長名、学校の所在地)
	入力し、「選択条件で検索」ボタンをクリックする。
	設置者名、代表者名、学校名、校長名は、いずれも部分一致検索が行われる。



(5) 学校検索結果一覧の出力要求

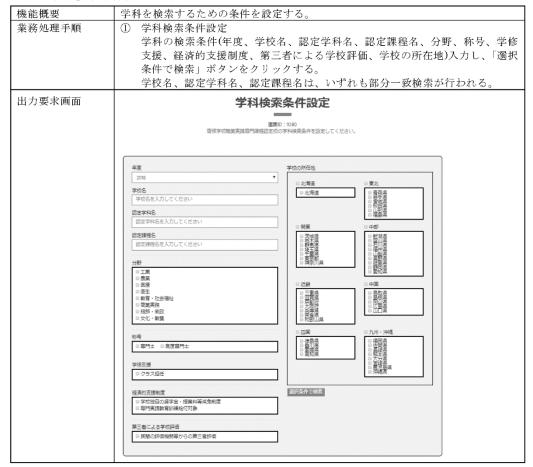


(6) 学校基本情報の出力要求

機能概要	学校の検索結果の詳細を表示する。
業務処理手順	① 学校基本情報表示
	学校基本情報を表示する。
	② 学科基本情報表示
	学科名をクリックすることで、学科基本情報を表示する。



(7) 学科検索条件設定の出力要求



(8) 学科検索結果一覧の出力要求

機能概要	学科の検	索結果を、都道府県別に一覧表示する。	
業務処理手順	 学校 	基本情報表示	
71		基本情報を表示する学校名をクリックする。	
		基本情報表示	
	字科	学校基本情報を表示する学科名をクリックする。	
出力要求画面	職業実践専門課程ポートレート学科検索結果一覧		
		画面ID:10.80.10 字科検索結果一覧から詳細を表示する字校を選択してください。	
	群馬県	高崎動物専門学校	
	ペットビジネス	7.学科	
	埼玉県	中央情報専門学校	
	IT・Web学科		
	ビジネスデザー	イン学科	
	東京都	COMETI専門学校	
	A学科		
	B学科		
	大阪府	修成確設專門学校	
	第1本科(昼)	空間デザイン学科	
	大阪府	大阪八イテクノロジー専門学校	
	スポーツ科学科	4	
	大阪府	高津理容美容専門学校	
	理容科		

(9) 学科基本情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の基本情報を表示する。	
業務処理手順	① 学科基本情報表示	
	学科基本情報を表示する。	
	② 学科関連情報表示	
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業	
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック	
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。	



(10) 学科生徒・教員情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の生徒・教員情報を表示する。
業務処理手順	① 学科生徒・教員情報表示
	学科生徒・教員情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(11) 学科学修成果情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の学修成果情報を表示する。
業務処理手順	① 学修成果情報表示
	学修成果情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(12) 学科第三者評価情報の出力要求



(13) 学科教育課程編成情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の教育課程編成情報を表示する。
業務処理手順	① 教育課程編成情報表示
	教育課程編成情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(14) 学科企業連携授業情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の企業連携授業情報を表示する。
業務処理手順	① 企業連携授業情報表示
	企業連携授業情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(15) 学科教員研修情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の教員研修情報を表示する。	
業務処理手順	① 教員研修情報表示	
	教員研修情報を表示する。	
	② 学科関連情報表示	
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業	
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック	
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。	



(16) 学科学校関係者評価情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の学校関係者評価情報を表示する。
業務処理手順	① 学校関係者評価情報表示
	学校関係者評価情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(17) 学科学校情報提供情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の学校情報提供情報を表示する。
業務処理手順	① 学校情報提供情報表示
	学校情報提供情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



(18) 学科授業科目情報の出力要求

機能概要	学科の検索結果の授業科目情報を表示する。
業務処理手順	① 授業科目情報表示
	授業科目情報を表示する。
	② 学科関連情報表示
	「基本情報」「生徒・教員」「学修成果」「第三者評価」「教育課程編成」「企業
	連携」「教員研修」「学校関係者評価」「学校情報提供」「授業科目」をクリック
	することで、クリックされた学科関連情報を表示する。



6 品質·性能要求

6.1 システム全体についての要求

6.1.1 性能要求

通常時で5秒以内、繁忙期で10秒以内のレスポンスであること。

6.1.2 品質要求

① 使用性(操作性)の要求

ポートレート情報検索機能は、操作説明書なしで容易に操作できる使用性であること。 ユーザアカウント管理やポートレート情報登録機能は、一般的な事務職程度の IT スキル があれば、操作説明書を見ながら操作できる使用性であること。

② 保守性の要求

国内データセンターでサーバ管理を行うこと。

③ 信頼性の要求

データセンターの稼働率は、計画的システム停止を除き 99.9%以上とする。 防火・地震対策システム、停電対策・24 時間管理体制などを備えていること。 過去 5 日分以上のバックアップを保有し、必要に応じてリストアできること。 複数のバックボーン回線を有すること。

6.2 個々の機能に関連する要求

6.2.1 性能要求

検索機能の利用時には、複数テーブルの直積が発生し、大量のメモリを消費することが 想定される。

検索によるテーブルの結合が発生した場合でも、スラッシングによる大幅遅延が発生しないこと。

6.2.2 品質要求

① 移植性の要求

Web アプリケーションのデファクトスタンダードである LAMP(Linux、Apache、MySQL、PHP)環境を利用し、容易に移植ができること。

② 接続性の要求

利用者は、一般的なインターネット環境 (TCP/IP による接続、ブラウザによる Web ページ表示機能) があれば、システムが利用可能であること。

③ 拡張性の要求

データ量の増大に対して、容易にデータベース容量が追加できる構成であること。 業務処理量の増大に対して、容易に高性能なサーバ環境に移行可能であること。

7 セキュリティ要求

7.1 セキュリティポリシー

情報セキュリティ基本方針

情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、社会の信頼に応えるべく、情報セキュリティ基本方針を定め、当社の情報セキュリティに対する取り組みの指針とする。

1.情報セキュリティポリシーの整備

セキュリティの維持及び改善のために必要な管理体制を整備し、必要な情報セキュリティ 対策を定める。

2. リーダーシップにおける責任および継続的改善

本方針の遵守により、情報資産が適切に管理されるよう主導する。

3. 法令、契約上の要求事項の遵守

事業活動で利用する情報資産に関連する法令、規制、規範及びお客様との契約上のセキュ リティ要求事項を遵守する。

4. 利用者の取組み

情報セキュリティの維持及び改善のために必要とされ知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにする。

5. 違反及び事故への対応

情報セキュリティに関わる法令、規制、規範及びお客様との契約に関わる違反及び情報セキュリティ事故への対応のための体制を整備し、違反及び事故の影響を低減する。

7.2 不正アクセスの防止

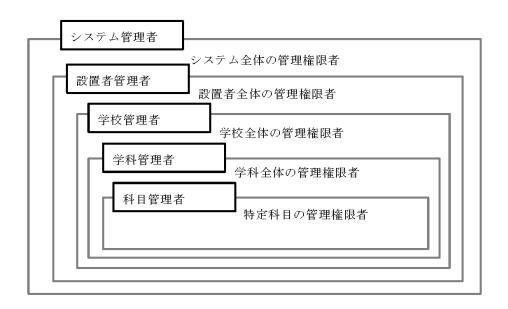
7.2.1 不正侵入への対策

Dos、ポートスキャン、バッファオーバーフロー、ワーム、スプーフィング、ブルートフォースアタック、SQL インジェクション、クロスサイトスクリプティング等の不正アクセスを検知できる機能を有すること。

アカウントを有する正当な利用者以外は、システムの利用ができない機能を備えること。 利用者のアクセス権を適切に管理するため、利用者が用いるアカウント(ユーザ ID、パスワード、権限等)を管理(登録、更新、停止、削除等)するための機能を備えること。

7.2.2 内部利用者のアクセス制御

内部利用者は、システム全体の管理権限を有する「システム管理者」、特定の設置者に関連する情報の管理権限を有する「設置者管理者」、特定の学校に関連する情報の管理権限を有する「学校管理者」、特定の学科に関連する情報の管理権限を有する「学科管理者」、特定の科目に関連する情報の管理権限を有する「科目管理者」に分類し、自己の権限の範囲内に限定したアクセスを許可する。



7.3 情報の保護

7.3.1 伝送データの保護

通信回線に対する盗聴行為や利用者の不注意による情報の漏えいを防止するため、通信 回線を暗号化する機能を備えること。

全ての利用者は、HTTPS 等の暗号化プロトコルを利用してシステムを利用すること。 運用・保守オペレーションにおいて運用管理端末からサーバにアクセスする際は、SSL、 SSH 等のセキュアなプロトコルを使用すること。

7.3.2 データベースの保護

情報システムに蓄積された情報の窃取や漏えいを防止するため、情報へのアクセスを制限 できる機能を備えること。

利用者を認証するための情報をデータベース上に保存する場合は、暗号化やハッシュ化等の措置を行い、データベースの情報が漏洩した場合でもパスワードの解析が不可能な状態で保存すること。

データベースを格納するハードディスクは、ディスク 1 台の故障ではデータを失わない 冗長構成であること。

過去 10 日分以上のバックアップを自動的に保有し、必要に応じてリストアできること。 自動的なバックアップ以外に、随時、手動でバックアップが取得可能であること。

7.4 ウイルス対策

第三者によるセキュリティ診断サービス等を利用し、ネットワーク上の脆弱性を客観的 かつ厳格にチェックできること。

B ポートレート入力操作説明書

職業実践専門課程 ポートレートシステム操作説明書 (データ入力編)

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構

1

目 次

内容		
0. はじめに		4
1. ログイン		9
2. 設置者の登録		10
3. 設置者一覧の表示	-	11
4. 学校情報の登録変	至更	14
4.1. 学校情報の3	学録	14
4.2. 学校情報の変	变更	14
4.3. 学校年度の3	登録、変更	15
4.3.1 学校年度	の登録	15
4.3.2 学校年度	で変更	17
5. 学科の登録、変更		17
5.1. 学科登録		17
5.2. 学科の変更.		18
6. 学科基本情報の登	经绿変更	19
6.1. 学科基本情報	眼の表示	19
6.1.1. 学科資	格の登録、変更	20
6.2. 科目基本情報	根の登録、変更	21
6.2.1. 学科科	目の登録	21
6. 2. 2. 学科科	目の一覧表示と変更	22
6.3. 学科教育課程	呈編成委員基本情報の登録、変更	22
6.3.1. 学科教	育課程編成委員基本情報の登録	23
6.3.2. 学科教	育課程編成委員基本情報の変更	23
6.4. 学校関係者詞	平価委員基本の登録、変更	24
7. 学科一覧からの年	度登録	25
7.1. 学科履修年歷	度の登録	25
7. 2. 学科実績年月	度の登録	26
7.3. 学科資格年歷	度の登録	26
7.4. 学科評価年月	度の登録	28
8. 学科企業連携の登	经绿	28
8.1. 教育課程編成	戈委員会の登録	29
8.1.1. 教育課	程編成委員会の一覧の表示	29
8.1.2. 学科教	育課程編成委員の年度登録	30
8.2. 企業連携概要	要の登録	30

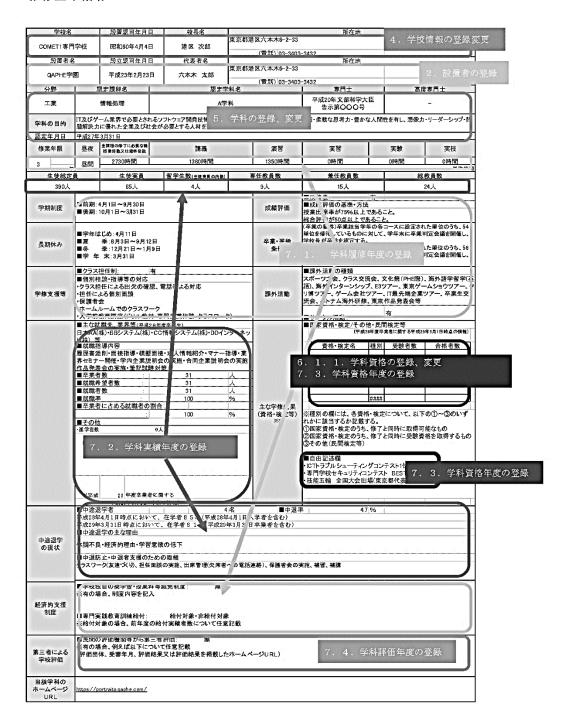
8. 2. 1. 学科科目企業連携概要年度一覧の表示	31
8. 2. 2. 学科科目企業連携年度の登録	31
8. 3. 教員研修の登録	32
8.4. 学校関係者評価委員会の登録	32
8.4.1. 学校関係者評価委員会一覧の表示	33
8.4.2. 学校関係者評価委員の登録	33
8. 5. 学校関係者情報提供の登録	34
9. 学科科目の一覧	35
9. 1. 学科科目概要年度の登録	35
0.2 学科科日午	36

0. はじめに

職業実践専門課程ポートレートシステムには、職業実践専門課程認定様式に記載されている認定学科の「別紙様式4」のデータを入力する。「別紙様式4」をここでは、「基本情報」と呼び、この入力方法について説明する。

基本情報は大きく3つの様式に分かれているが、この3様式の各部分の入力については、下図に示す章の説明を参照されたい。

[図]基本情報1



〔図〕基本情報2-1

)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方	法の改善・工夫等を含む。)によ	おける企業等との連携に関する基本方針
	1 李本钿织怎 4 香品人の	고상 A크
)教育課程編成委員会等の位置付け	1. 教育課程編成委員会の	空 蠍
教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記		
		-
)教育課程編成委員会等の全委員の名簿		平成〇年〇月〇日
Z 110	PIT IE	17部
6.3.学科教育課程編成委員基本情報8.1.2.学科教育課程編成委員の年別		
0.1.2.于何教育珠住棚成委員の下	2 丘 5次	
 を真の種別の欄には、委員の種別のうち以下の(載すること
①業界全体の動向や地域の産業振興に関するま]見を有する業界団体 職能団体	
地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の ②学会や学術機関等の有職者)役職員は該当しませし。)	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を	有する企業や関係施 殳の役職	員
次月床住側吸支貝式寺の午川州唯奴及り州作内)	
間の開催数及び開催時期)		
催日時(実績))		
准口吋(关模/)		
	2.2	
	, 1900 - 1	
)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意	見の活用状況	
「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以	下「実習・演習等」という。)の授	後業を行っていること。」関係
実習・演習等における企業等との連携に関する基	本万針	
実習・演記 8.2.企業連携概要の登録		
業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の	評価における連携内容を明記	
- 日 14164、		* 体 ^ 类 位
된 다 선 시 기계	· 目 概 要	連携企業等
科目名		
科目名		

〔図〕基本情報2-2

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野にお	らける実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
✓ 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下)研	修等という。)の基本方針
7 IE and 1 14 07 3% Sell-21 7 Challes 1917 Class 1 1 191	18943CV 767公安平77周
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
②指導力の修得・向上のための研修等	8.3. 教員研修の登録
2/10分/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/	
(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
2指導力の修得・向上のための研修等	
5.担告27の18月・同工のどの2001回8年	
	する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評
曲を行うに当たっては、当該専修字校の関係者と	して企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
(1) 3位即反表证件の基本士科	
(1) 字校関係者評価の基本方針	
2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項	百日との対応
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	TIX D SIX F WILLIAM SKI
(2)学校運営	
(3)教育活動	
(4)学修成果	
(5)学生支援 8	. 4. 学校関係者評価委員会の登録
(6)教育環境	. 4. 学校関係者評価委員会の登録
(7)学生の受入れ募集	
(8)財務	
(9)法令等の遵守	71 - 1
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	
((10)及び(11)については任意記載。	
(*) 学校関係者評価結果の活用状況	
(A) ####################################	
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿	平成〇年〇月〇日現在
1 名 脚	カゴ 唐
	management to the control of the con
6.4. 学校関係者評価委員	基本の登録、変更
8.4.2. 学校関係者評価	委員↑ 登録
	O C M CANCERDO AND FEBRUARY ACCE
(例)企業等委員、PTA、卒業生等	- A MICANICATING OF WHITE HOME A MACCO
5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期	
5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため	か、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する
情報を提供していること。」関係	
(*)企業等の学校関係者に対する情報提供の基	本方針
/LX4071 KINK BIE/17 OINTRIEDO	
(2)「専門学校における情報提供等への取組に関	するガイドライン」の項目との対応
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
ガイドラインの項目 (1)学校の概要、目標及び計画	
(0) 久受社生の数百	E ASSET BE 150 15 14 14 14 14 15 11 10 19 14
(3)教職員	5. 学校関係者情報提供の登録
(4)キャリア教育・実践的職業教育	
(5)様々な教育活動・教育環境	
(6)学生の生活支援	
(7)学生納付金・修学支援	
(8)学校の財務	
(9)学校評価	
(10)国際連携の状況	
(11)その他	
(11)その他	

〔図〕基本様式3

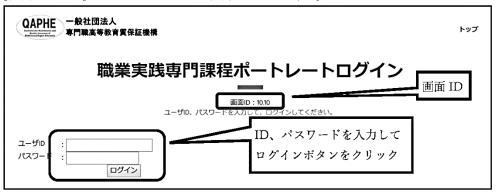
					授	受業科	目等の	既要											
R	001	東門	課程○○学科)	平成〇〇年度							(1111)				((()))		(000)		
	分類											授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名		授業科	目概要			配当年次・学期	業時	単位数	講義	演 習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
				6. 2.	科目基本	な情報 の	つ登録	亦 更											
				9. 1.	学科科目														
								2											
															Maria Ma		Nation and the		
		-	台計					科目	- Company				- Linux	畢	位时	间(畢	11/2
78	2000	e ta		卒業要件	及び履修方	法	9. 学	科科目の	一覧					哲 の学 の授	期区		等		明
1	- (こつ)	か授いて) 業科目について は、主たる方法 との連携につい	について〇を作	すし、そのイ	他の方法	まについ	て△を付	けこ	٤.									

1. ログイン

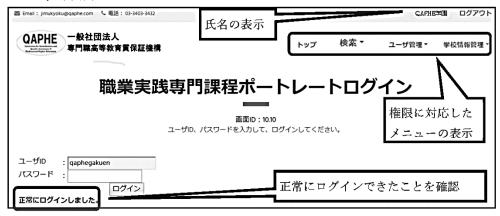
【画面 ID:10】トップページでログインをクリックする



【画面 ID:10.10】ユーザ ID とパスワードを入力してログインする。



ログイン完了画面



9

2. 設置者の登録

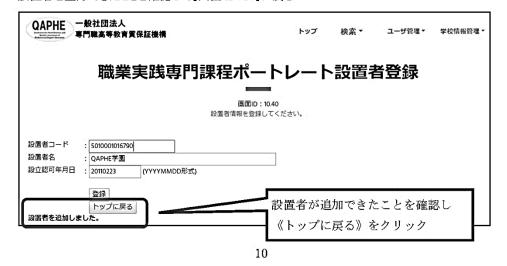
「設置者登録」が済んでいない場合は、《設置者登録》をクリックする



【画面 ID: 10.40】設置者登録画面



設置者を登録できたことを確認して【画面 ID:10】に戻る

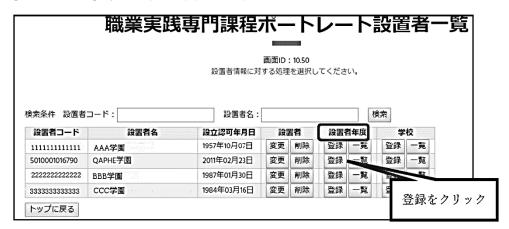


3. 設置者一覧の表示



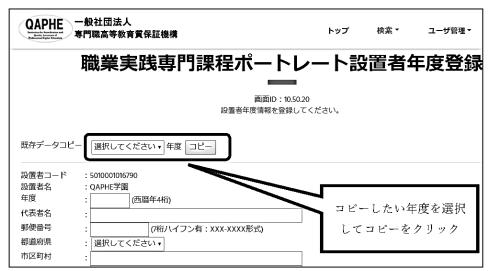
3.1. 設置者年度の登録

【画面 ID:10.50】設置者の年度の情報を登録する



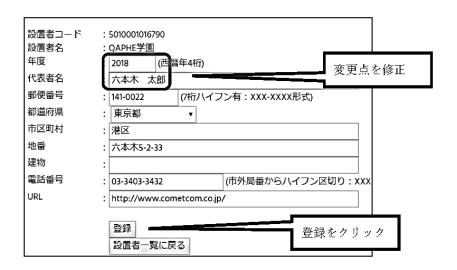
【画面 ID:10.50.20】設置者年度登録画面

登録する年度の基本情報に記載された設置者についてのデータを登録する。



過去のデータをコピーしたいときは、その年度を選択してコピーをクリックする。 「[図]基本情報1」の表の黄色の部分で「代表者名」「所在地」などに変更がないか確認する。

既存データコピ	-:	2017 ・ 年度 コピー
設置者コード 設置者名	-	5010001016790 QAPHE学園
年度		2017 (西曆年4桁)
代表者名	:	江島 夏実
郵便番号	:	141-0022 (7桁ハイフン有: XXX-XXXX形式)
都道府県	:	東京都 ▼
市区町村	:	港区
地番	:	六本木5-2-33
建物	:	
電話番号	:	03-3403-3432 (市外局番からハイフン区切り: XXX-
URL	:	http://www.cometcom.co.jp/
		登録 設置者一覧に戻る





データが追加できたことを確認して《設置者一覧に戻る》をクリックして【画面 ID:10.50】設置者一覧 画面に戻る。

4. 学校情報の登録変更

4.1. 学校情報の登録

【画面 ID:10.50】で「学校」の欄の《登録》をクリックする。



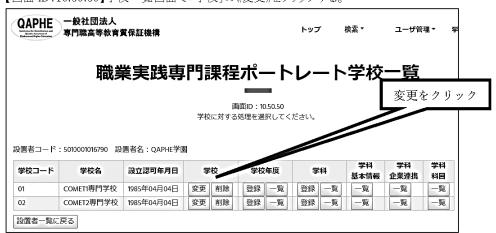
【画面 ID:10.50.40】で学校情報の登録を行う。「学校コード」は、01、02、…など、任意の番号でよい。設置者登録と同様「学校コード」「学校名」「設置認可年月日」を入力して《登録》する。

4.2. 学校情報の変更

【画面 ID:10.50】「学校」の《一覧》をクリックする。

	職業実践専	門課程	<u>ポー</u>	- -	レー	- -	设置	者-	-覧	
		設置者情報に対す	画面ID: する処理:		てくださ	۱۱.			_	
										学校一覧を
検索条件 設置者		設置者名:					索			クリック
設置者コード	設置者名	設立認可年月日	設盟	置者	設置	旨年度	学	校	7	
11111111111111	AAA学園	1957年10月07日	変更	削除	登録	一覧	登録	一覧		1
5010001016790	QAPHE学園	2011年02月23日	変更	削除	登録	一覧	登録	一覧		
22222222222	BBB学園	1987年01月30日	変更	削除	登録	一覧	登録	一覧		
3333333333333	CCC学園	1984年03月16日	変更	削除	登録	一覧	登録	一覧		
トップに戻る										

【画面 ID:10.50.50】学校一覧画面で「学校」の《変更》をクリックする。



【画面 ID:10.50.50.10】で「学校名」「設置認可年月日」などの変更、訂正が行える。ただし、「学校 コード」の変更はできない。

4.3. 学校年度の登録、変更

4.3.1 学校年度の登録

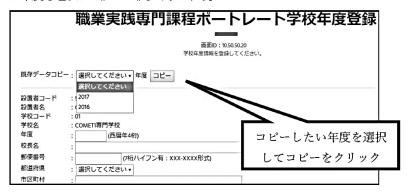
【画面 ID:10.50.50】学校一覧画面で「学校年度」の《登録》をクリックする。



【画面 ID:10.50.50.20】学校年度登録画面

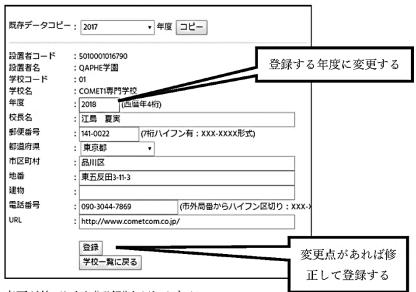
登録する年度の基本情報に記載された学校にについてのデータを登録する。

既に登録してある過去のデータを利用したい場合は、「設置者年度」の登録と同様に、コピーしたい年度を選択して《コピー》をクリックする。



【画面 ID:10.50.50.20】過去のデータをコピーしたいときは、その年度を選択してコピーをクリックする。

「〔図〕基本情報1」の表の緑色の部分で「校長名」「所在地」などに変更がないか確認する。

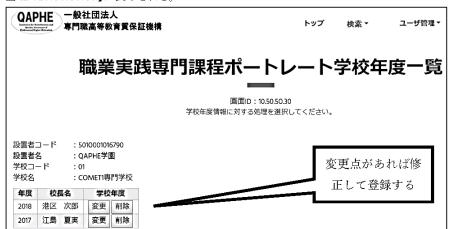


変更が終了したら《登録》をクリックする。

データが追加できたことを確認して《学校一覧に戻る》をクリックして【画面 ID:10.50.50】学校一覧 画面に戻る。

4.3.2 学校年度の変更

【画面 ID:10.50.50】で「学校年度」の《一覧》をクリックすると、登録された学校年度情報の一覧【画面 ID:10.50.50.30】が表示される。

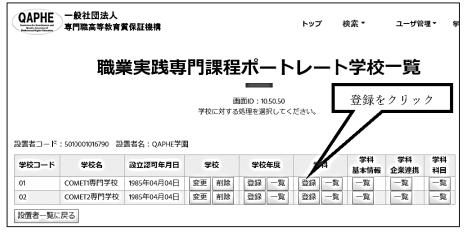


入力済みの年度情報を変更したい場合は、《変更》をクリックすると、【画面 ID:10.50.50.30.10】が表示され、その画面で変更、修正が行える。また、《削除》をクリックすると、年度の情報が削除される。

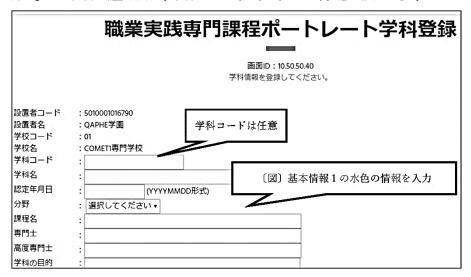
5. 学科の登録、変更

5.1. 学科登録

【画面 ID:10.50.50】学校一覧画面で「学科」の《登録》をクリックする。

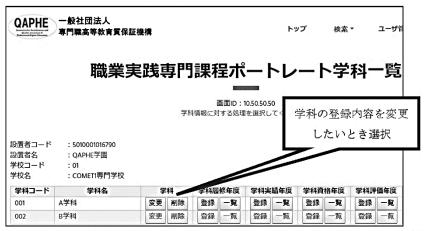


【画面 ID:10.50.50.40】登録画面に「[図] 基本情報1」の表の水色の部分の情報「学科名」「認定年月日」などを入力し《登録》する。学科コードは、01、02、…など、任意に設定できる。



5.2. 学科の変更

【画面 ID:10.50.50】学校一覧に戻って「学科」の《一覧》を選択をすると、登録された学科の一覧 【画面 ID:10.50.50.50】が表示される。



登録した学科の内容を変更するときは、「学科」の《変更》をクリックし、表示される【画面 ID: 10.50.50.50.10】から内容を変更することができる。

学科が登録できたら、【画面 ID:10.50.50.50】画面に戻る。

※「学科基本情報」を登録してから、各年度の情報を登録すると効率的である。

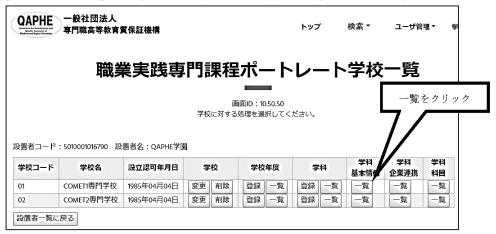
6. 学科基本情報の登録変更

各年度で共通であることが多い「資格」「科目」「教育課程編成委員」「学校関係者評価委員」の 元データを、基本情報としてあらかじめ登録しておくことで、それらを各年度の登録の際に選択・コ ピーでき、登録の効率化が図れる。

ここでは、「資格」「科目」「教育課程編成委員」「学校関係者評価委員」の基本情報を登録する。 なお、基本情報の登録・変更は、各年度のデータ登録を行う前に行っておくと有効活用できる。

6.1. 学科基本情報の表示

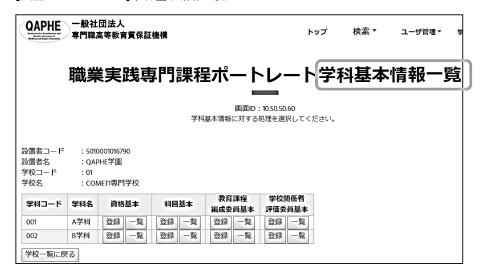
【画面 ID:10.50.50】学校一覧に戻って、「学科基本情報」の《一覧》をクリックする。



【画面 ID:10.50.50.60】学科基本情報一覧が表示される。

この画面から各学科で取得できる資格、履修する科目、教育課程編成委員、学校関係評価委員の各基本情報を登録することができる。

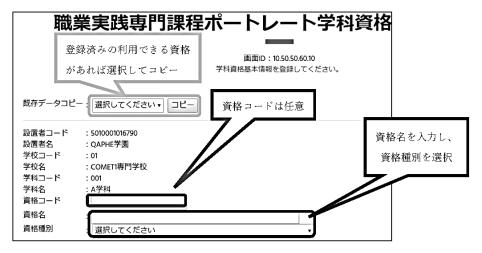
【画面 ID: 10.50.50.60】学科基本情報一覧



6.1.1. 学科資格の登録、変更

【画面 ID:10.50.50.60】画面で「基本資格」の《登録》をクリックする。

【画面 ID:10.50.50.60.10】画面で「[図]基本情報1」紺色の部分に該当する資格情報を登録する。 資格コードは 01、02、…など任意につける。

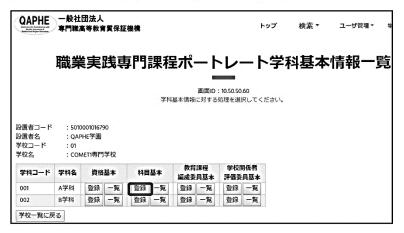


登録できた資格は「資格基本」の《一覧》を選択して、【画面 ID:10.50.50.60.20】で確認できる。 登録内容を変更したいときは、変更したい資格の《変更》をクリックして【画面 ID:10.50.50.60.20.10】 で変更できる。ただし、資格コードは変更できない。

6.2. 科目基本情報の登録、変更

6.2.1. 学科科目の登録

【画面 ID:10.50.50.60】で「科目基本」の《登録》をクリックする。



「科目資格」の《登録》をクリックする。

【画面 ID:10.50.50.60.30】画面で「[図]基本情報3」赤色の部分に該当する「授業科目等の概要」情報を登録する。科目コードは 01、02、…など任意につける。

すでに登録した科目で同様の内容の科目があれば、その科目をコピーすることができる。コピー後、 異なる点を変更して登録する。



6.2.2. 学科科目の一覧表示と変更

【画面 ID:10.50.50.60】で「科目基本」の《一覧》をクリックすると、登録された科目の一覧が表示される。(【画面 ID:10.50.50.60.40】)

職	業実践専	門訓	果程	ポートレート
			学	画面ID:10.50.50.60.40 科科目基本情報に対する処理を選択し
設置者名 学校コード	: 01 : COMET1専門学校 : 001	¢		
科目コード	科目名	学科科	目基本	
001	情報セキュリティ	変更	削除	
002	ICT利用実践	変更	削除	
003	経営戦力理論	変更	削除	
004	関連法規	変更	削除	
005	コンプライアンス	変更	削除	

ここから科目の変更・削除ができる。

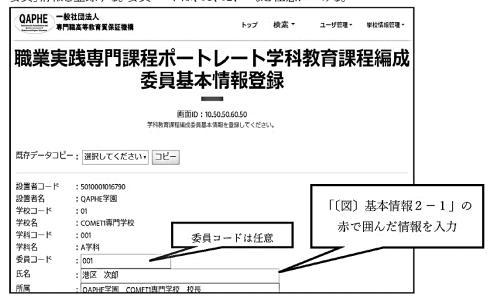
《変更》をクリックすると表示される【画面ID: 10.50.50.60.40.10】画面は、科目の登録の【画面ID: 10.50.50.60.30】と、ほとんど同じである。ただし、科目コードを変更することはできない。

6.3. 学科教育課程編成委員基本情報の登録、変更

6.3.1. 学科教育課程編成委員基本情報の登録

【画面 ID: 10.50.50.60】で「教育課程編成委員基本」の《登録》をクリックする。

【画面 ID:10.50.50.60.50】画面で「[図]基本情報2-1」赤色の部分に該当する「教育課程編成委員」情報を登録する。委員コードは、01、02、…など任意につける。



6.3.2. 学科教育課程編成委員基本情報の変更

【画面 ID:10.50.50.60】画面で「教育課程編成委員基本」の《一覧》をクリックすると、登録された委員の一覧が表示される。(【画面 ID:10.50.50.60.60】)

			*	画面ID:10.50.50.60.60 学科教育課程編成委員基本情報に対する処理を選択してくだ
設置者名 学校コード	: COMET1専	1		
委員コード	氏名		課程	
AA- 1	24	編成	委員	
01	山田 太郎	変更		
01	山田 太郎	変更	削除	
01	山田 太郎 鈴木 惠子	変更変更	削除削除	
01 02 03	山田 太郎 鈴木 惠子 港区 次郎	変更 変更 変更	削除削除	

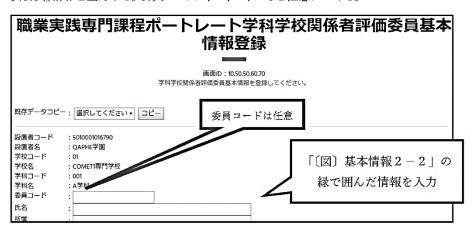
ここから委員情報の変更・削除ができる。

《変更》をクリックすると表示される【画面 ID: 10.50.50.60.60.10】画面は、委員情報の登録の【画面 ID: 10.50.50.60.50】と、ほとんど同じである。ただし、委員コードを変更することはできない。

6.4. 学校関係者評価委員基本の登録、変更

【画面 ID:10.50.50.60】で「学校関係者評価委員基本」の《登録》をクリックする。

【画面 ID:10.50.50.60.70】画面で「[図]基本情報2-2」緑色の部分に該当する「学校関係者評価委員」情報を登録する。委員コードは、01、02、…など任意につける。

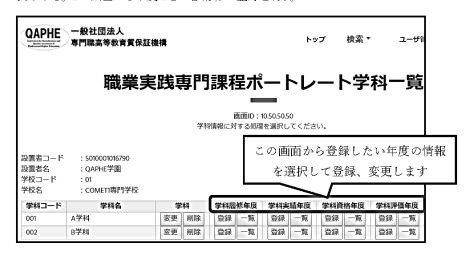


教育課程編成委員会の委員情報の変更・削除と同様、学科基本情報一覧【画面 ID:10.50.50.60】の「学校関係者評価委員基本」の《一覧》をクリックすると、登録された委員の一覧 が表示される。(【画面 ID:10.50.50.60.80】)

この一覧から委員情報の変更・削除ができる。

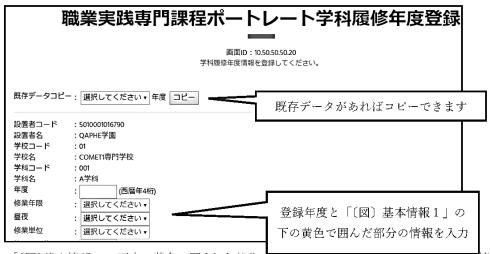
7. 学科一覧からの年度登録

【画面 ID:10.50.50】学校一覧から「学科」の《一覧》を選択して【画面 ID:10.50.50.50】学科一覧を表示する。この画面から年度ごとの各情報の登録を行う。



7.1. 学科履修年度の登録

「学科履修年度」の《登録》で【画面 ID: 10.50.50.50.20】を表示する。

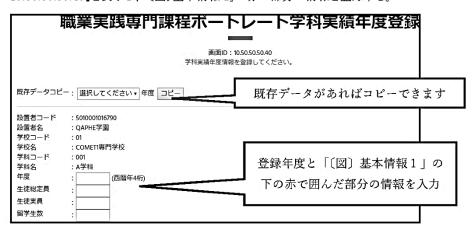


「[図]基本情報1」の下方の黄色で囲まれた部分、「「履修年度」の情報を登録する。 削年度の情報が利用できる場合は、コピーする。

学科履修年度一覧の表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

7.2. 学科実績年度の登録

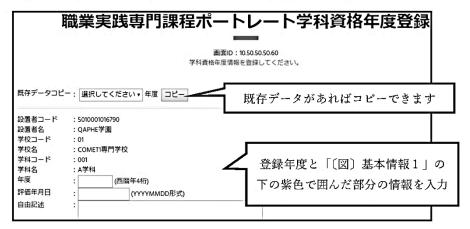
【画面 ID:10.50.50.50】学科一覧から、「学科実績年度」の《登録》をクリックして【画面 ID: 10.50.50.50.40】を表示し、「[図]基本情報1」の赤い部分の情報を登録する。



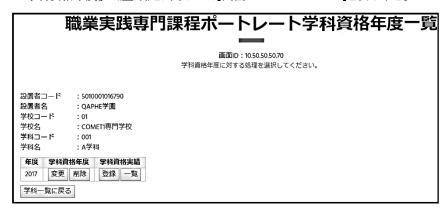
学科実績年度一覧の表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

7.3. 学科資格年度の登録

【画面 ID:10.50.50.50】学科一覧から、「学科資格年度」の《登録》をクリックして【画面 ID: 10.50.50.50.60】を表示し、「[図]基本情報 1」の紫部分の情報を登録する。

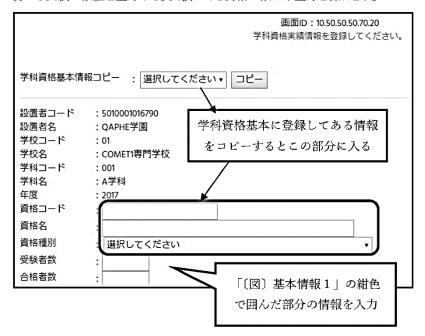


「学科資格年度」の《登録》をクリックして【画面 ID:10.50.50.50.70】を表示する。



ここで登録したい年度の「学科資格実績」の《登録》を行う。

【画面 ID:10.50.50.50.70.20】で学科資格基本情報からコピーして「[図]基本情報 1」の紺色の部分から実績の数値を登録する。実績のある資格の数だけ登録を繰り返す。



学科資格年度一覧の表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

7.4. 学科評価年度の登録

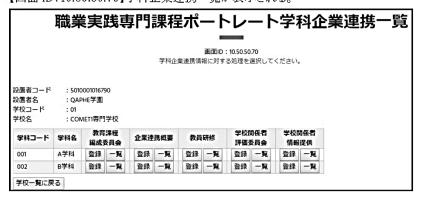
【画面 ID:10.50.50.50]学科一覧から、「学科評価年度」の《登録》をクリックして【画面 ID: 10.50.50.50.80】を表示し、「[図]基本情報1」の下の水色部分の情報を登録する。

Ħ	職業実践専門課程ホートレート字科評価年度登録
	画面ID: 10.50.50.80 学科評価年度情報を登録してください。
既存データコピー	-: 選択してください▼ 年度 □ピー
設置者コード 設置者名 学校コード 学校名	: 5010001016790 : QAPHE学園 : 01 : COMETI専門学校
学科名 年度	: 001 : A学科 :(西醫年4桁)
第三者評価有無 評価団体 受審年月	: (有の場合にチェック) : :

学科評価年度一覧の表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

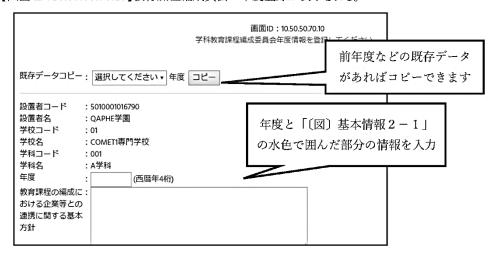
8. 学科企業連携の登録

【画面 ID:10.50.50】学校一覧に戻って、「学科企業連携」の《一覧》をクリックする。 【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧が表示される。



8.1. 教育課程編成委員会の登録

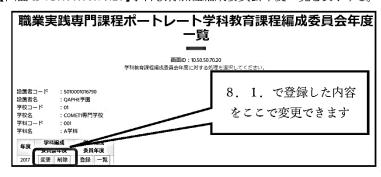
【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧で「教育課程編成委員会」の《登録》をクリックすると 【画面 ID:10.50.50.70.10】教育課程編成員会の年度登録が表示される。



【画面 ID:10.50.50.70.10】で「[図]基本情報2-1」の水色部分の情報を登録する。

8.1.1. 教育課程編成委員会の一覧の表示

【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧の「教育課程編成委員会」の《一覧》をクリックして 【画面 ID:10.50.50.70.20】学科教育課程編成委員会年度一覧を表示する。



8.1.2. 学科教育課程編成委員の年度登録

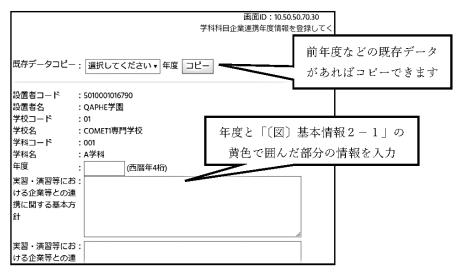
【画面 ID:10.50.50.70.20】学科教育課程編成委員会年度一覧の画面で「学科編成委員」の《登録》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.20.20】を表示して、「[図]基本情報2-1」の赤部分の情報を登録する。事前に登録した教育課程編成委員の基本情報の中から、登録年度の教育課程編成委員を選択してコピーし、登録する。



「学科編成委員」の一覧の表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

8.2. 企業連携概要の登録

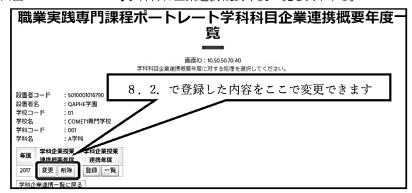
【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧で「企業連携概要」の《登録》をクリックすると【画面 ID:10.50.50.70.30】学科科目企業連携概要年度登録が表示される。



この画面から「[図]基本情報2-1」の黄色部分の情報を登録する。

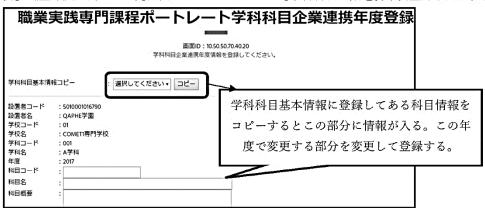
8.2.1. 学科科目企業連携概要年度一覧の表示

【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧の画面で、「企業連携概要」の《一覧》をクリックして 【画面 ID:10.50.50.70.40】学科科目企業連携概要年度一覧を表示する。



8.2.2. 学科科目企業連携年度の登録

【画面 ID:10.50.50.70.40】学科科目企業連携概要年度一覧の画面で、「学科企業授業連携年度」の《登録》をクリックして、【画面 ID:10.50.50.70.40.20】学科科目企業連携年度登録を表示する。

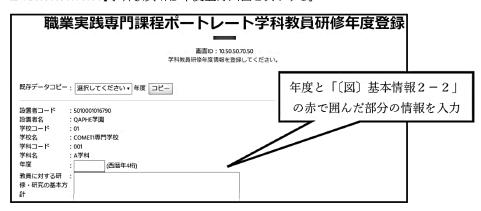


「[図]基本情報2-1」の緑部分の情報を入力し登録する。学科科目基本情報にこの科目も登録しておくと、この画面の入力も速やかに行える。

登録した授業は、《一覧》から参照できる。

8.3. 教員研修の登録

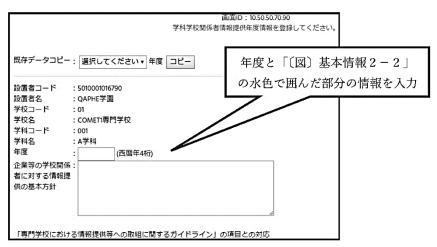
【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧の画面で、「教員研修」の《登録》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.50】学科教員研修年度登録画面を表示する。



「[図]基本情報2-2」の赤色の部分に該当する情報を登録する。。既存データがあれば、コピー機能を利用できる。。「教員研修」の一覧表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

8.4. 学校関係者評価委員会の登録

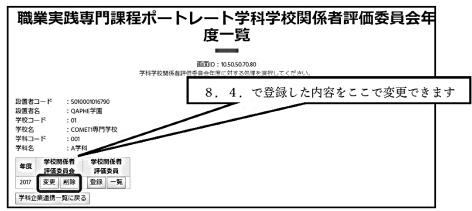
【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧画面の「学校関係者評価委員会」で《登録》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.70】学科学校関係者評価委員会年度登録画面を表示する。



この画面から「[図]基本情報2-2」の水色部分の情報を登録する。

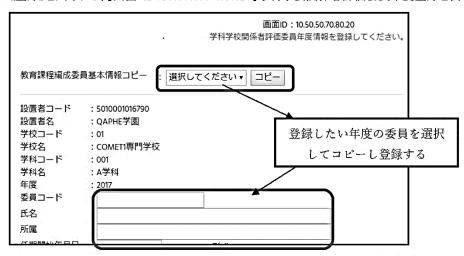
8.4.1. 学校関係者評価委員会一覧の表示

【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧画面の「学校関係者評価委員会」で《一覧》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.80】学校関係者評価委員会年度一覧を表示する。



8.4.2. 学校関係者評価委員の登録

【画面 ID:10.50.50.70.80】学校関係者評価委員会年度一覧画面の「学校関係者評価委員」で《登録》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.80.20】学科学校関係者評価委員年度登録を表示する。

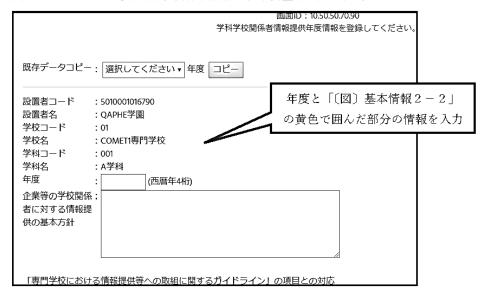


この画面で「「図」基本情報2-2」の緑色部分の情報を登録する。あらかじめ学校関係評価委員 基本情報を登録しておけば、それをコピーして速やかに登録できる。

「学校関係者評価委員」の一覧表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

8.5. 学校関係者情報提供の登録

【画面 ID:10.50.50.70】学科企業連携一覧の「学校関係者情報提供」で《登録》をクリックし、【画面 ID:10.50.50.70.90】学科学校関係者情報提供年度登録を表示する。



この画面で「[図]基本情報2-2」の黄色部分の情報を登録する。「学校関係者情報提供」の一覧表示、登録内容の変更はこれまでの操作と同様である。

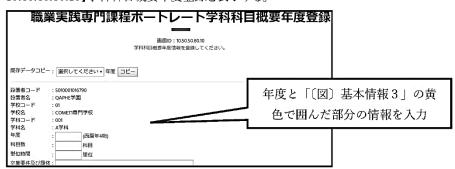
9. 学科科目の一覧

【画面ID:10.50.50】学校一覧画面で「学科科目」の《一覧》をクリックし、【画面ID:10.50.50.80】学科科目一覧を表示する。



9.1. 学科科目概要年度の登録

【画面 ID:10.50.50.80】学科科目一覧で「学科科目概要年度」の《登録》をクリックし、【画面 ID: 10.50.50.80.10】学科科目概要年度登録を表示する。



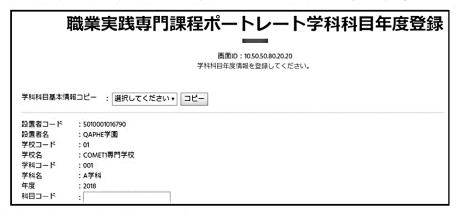
この画面で「[図]基本情報3」の黄色の部分を登録する。

「学科科目概要年度」の《一覧》をクリックすると【画面 ID:10.50.50.80.20】学科科目概要年度一覧が表示される。ここで「学科科目年度」の《登録》をクリックする。



9.2. 学科科目年度登録

【画面 ID:10.50.50.80.20.20】学科科目年度登録画面で、「6.2 科目基本情報の登録、変更」で登録した学科科目基本情報から該当年度の科目を選択してコピーし、登録する。



登録した科目の一覧表示や変更、削除は、これまでの操作と同様である。

C ポートレート検索操作説明書

職業実践専門課程 ポートレートシステム操作説明書 (データ検索編)

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構

1

目 次

内容

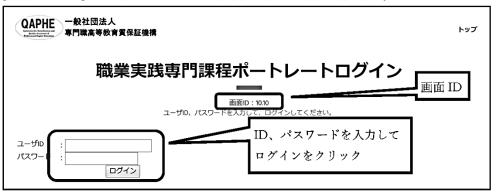
1.	ログイン	.3
2.	設置者検索条件設定	.5
3.	学校検索条件設定	.6
4.	学科检索条件設定	7

1. ログイン

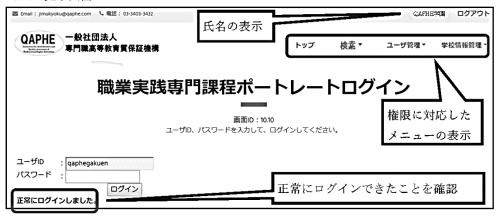
【画面 ID:10】トップページで《ログイン》をクリックする。



【画面 ID:10.10】でユーザ ID とパスワードを入力して《ログイン》をクリックする。



ログイン完了画面



3

トップ画面【画面 ID:10】で《検索》から3通りの条件で検索を行うことができる。



2. 設置者検索条件設定

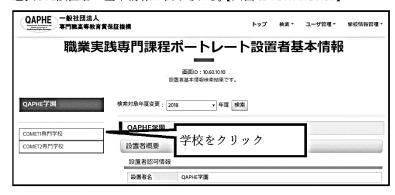
【画面 ID:10.60】検索条件を入力し、《選択条件で検索》をクリックする。



条件を満たす設置者とその所在都道府県名が表示される。【画面 ID:10.60.10】



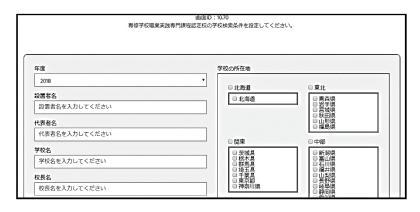
選択した設置者の基本情報が表示される。【画面 ID:10.60.10.10】



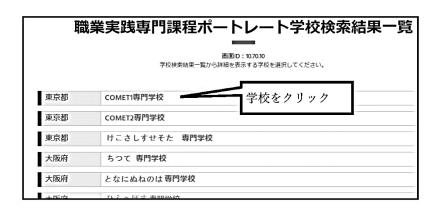
選択した学校の「学校基本情報」が表示される(表示される画面については「3. 学校検索条件設定」参照)

3. 学校検索条件設定

「学校検索条件設定」を選択すると学校検索条件設定画面が表示される。 【画面 ID:10.70】



検索条件を設定して《選択条件で検索》をクリックすると「学校検索結果一覧」が表示される。【画面 ID:10.70.10】



学校を選択すると「学校基本情報」が表示される。【画面 ID:10.70.10.10】



選択した学科の「学科基本情報」が表示される(表示される画面については「4. 学科検索条件設定」参照)

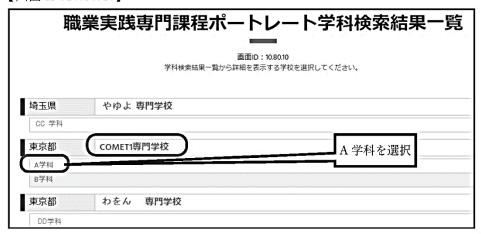
4. 学科検索条件設定

「学科検索条件設定」を選択すると学科検索条件設定画面が表示される。【画面 ID:10.80】

この画面で検索条件を入力して《選択条件で検索》をクリックする。



検索条件を満たす学科とその学科のある学校が「学科検索結果一覧」に表示される。 【画面 ID:10.80.10】



この画面で学校を選択すれば「3. 学校検索条件設定」の「学校基本情報」が表示される。また、学科を選択すれば、「学科基本情報」表示される。

以下に、同じ専門学校の中に条件を満たす学科が二つあり、A 学科を選択した場合の画面を示す。【画面 ID:10.80.10.10】



この画面から、上図で青枠で囲んだ様々な情報を選択して閲覧することができる。

D 意見聴取フォーム

回答用紙

学	校名		
回	答者名	回答者役職	

A データベースシステムの必要性

利用者(受験者、保護者、行政など、学校関係者ではない利用者)の観点から見ると、「職業実践専門課程の基本情報(以下、「基本情報」)の様式は定められているものの、そのファイルを学校のホームページから探し出す手間は大きな負担です。その点、基本情報が一元的に管理されたデータベースシステムがあれば、利用者にとって、必要な情報を探す手間が省ける分、その利便性が大きく拡大すると期待されます。本事業で開発したポートレートシステム(以下「実験システム」)は、全国の職業実践専門課程の基本情報を一元的に管理するものとして試験的に開発したものです。

以上のことを共通認識として、Aでは、そもそもそのようなデータベースシステムが必要なのか? その点について、情報を提供する側(学校側)の視点から見たご意見を伺いたいと思います。なお、以下のA1~C3にご回答をいただくにあたっては、現在の「基本情報」のフォームは所与としてお考えください(この項目は基本情報に相応しくないとか、このような項目も開示すべきであるといったご意見がある場合は、最後の自由意見記述欄にご記入ください)。

- A1 実験システムを実際に操作してみて、その必要性に関する率直なご意見を下欄にご記入ください。現在、貴校では基本情報を毎年更新するための業務が存在すると思います。その業務フローを思い浮かべたとき、Excel のフォームを編集して PDF に変換し、「情報公開」のページに公開する手間が、実験システムのように置き換わることになります。置き換わった後の基本情報の編集業務フローを想定したとき、現在の業務フローと比べてどのようなメリット(デメリット)があるか、といった視点からご回答をお願いします。
- A2 その他、実験システムのようなシステムの必要性、存在意義に関係したご意見があれば、下欄にご記入ください。具体的な機能性や操作性に関することは B でおたずねします。

B データベースシステムに求める機能性、操作性

- B1 実験システムは、
 - ・文部科学省が提供する基本情報のひな形にできる限り忠実に、かつ、
 - ・データベースシステムに求められるデータの整合性を確保する

という観点から仕様を定義し、開発しました。その検討の過程で、情報公開の時間的範囲をどのようにするかという大きな問題がありました。現在、多くの職業実践専門課程の場合、最新の「基本情報」のみを公開しています。言い換えると、新しい年度の「基本情報」によって前年度の「基本情報」を置き換えています。この点、文部科学省の「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」や、同規程に関する「実施要項」では、最新のもののみ公開するのでよいのか、複数年度のものを公開すべきかについて明示していません。ただ、全専各の「『職業実践専門課程』に係る手引書」では、

学校は、過去の別紙様式 4 及び全ての情報提供項目を最新の情報に置き換えるのではなく、公開を開始した年度から直近の年度まで時系列に区分して、公開することが望ましいと思料されます。

としています¹。本事業ではこの点を重視し、<u>複数年度にわたって情報を記録できるテーブル仕様</u>のもとに、データベースシステムを設計しました。したがって、たとえば、平成 30 年 4 月から学校名が変わったとしても、平成 29 年度の学校名(旧名)も、平成 30 年度の学校名(新名)も正しく記録されるようにしています。

このようにすることで、データの時間的整合性を保てる反面、データベースシステム としては、ファイルやメモリーの中でより多くのデータの記憶が必要となり、開発面の 負担も大きくなりますし、学校側の操作も、そのことを考慮して行わなければならない 分負担が増えます。

まず、この点、すなわち、実験システムのように、複数の年度にわたってデータを記録することについて、どのようなご意見をお持ちか、下欄にご記入ください。

B2 実験システムでは、入力の簡素化、データの整合性の保持を目的として、次の①~④ について、その内容を登録したり、コピーしたり、必要に応じて参照したりする機能があります。それぞれについてのご意見を下欄にご記入ください。

① 資格

¹ 全国専修学校各種学校総連合会「職業実践専門課程」に係る手引書(第120回理事会 報告版)、平成27年3月、27ページ http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/027/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2015/07/08/1359467_14.pdf

様式4「主な学修成果」欄に記入する「資格」は、認定課程ごとにある程度標準化されていると思われます。実験システムでは、この欄に記述する「資格」を別テーブルに記録し、毎回同じ資格を繰り返し記述しなくても済むようにしています。この点についてのご意見を下欄にご記入ください。

② 科目

様式 4 (3)「授業科目等の概要」記述欄に記述する「科目」の情報の多くは年度間で共通であると思われますので、実験システムでは、様式 4-3 に相当する「科目」の内容を別テーブルに記録するようにしました。このようにすることにより、たとえば、様式 4 (2) のうち、「2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係」の中で示すべき、「(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。」の入力において、「科目」テーブルから必要な情報を選択することができるようにしてあります。この点についてのご意見を下欄にご記入ください。

③ 教育課程編成委員

教育課程編成委員会の委員の任期は2年となっていますが、現実には、更新を重ねていく、つまり、2年以上は固定されるケースが多いと推察されます。したがって、実験システムでは「教育課程編成委員」を別テーブルに登録、参照できるようにしました。この点についてのご意見を下欄にご記入ください。

④ 学校関係者評価委員

学校関係者評価委員会の委員の任期は2年となっていますが、現実には、更新を重ねていく、つまり、2年以上は固定されるケースが多いと推察されます。したがって、実験システムでは「学校関係者評価委員」を別テーブルに登録、参照できるようにしました。この点についてのご意見を下欄にご記入ください。

B3 実験システムでは、前記①~④を登録できるようにしたうえで、様式 4 の一定の塊ごとにメニューを用意し、年度ごと・その塊ごとに画面を作成して入力ができるようにしています。その際、その塊について、過去に入力したある年度の情報をまとめてコピーすることにより、当該年度の入力の手間を省く機能を用意しています。この点についてのご意見を下欄にご記入ください。

B4 別添とした資料は、実験システムの「メニュー体系図」です。メニューがこのように多岐に渡ってしまう要因は、B1 および B2 に記述した通り、複数の年度の情報を、整合性をもって記録することにあります。そのこともご理解いただいたうえで、また、実際に操作をしてみただいたうえで、実験システムの使い勝手について、ご意見を下欄にご記入ください。もし、使い勝手がよいと感じない場合でも、遠慮なくそのことを記述していただき、その場合は抽象的でも構いませんので、こういう風にしたらどうか、こういう風にはできないのか、といったご提案を、合わせてご記入いただければ幸いです。

C データベースシステムに求める非機能要件

- C1 実験システムでは、各アカウントの権限をすべて「システム管理者」、すなわち、どのデータでも編集可能な状況にしていますが、本番では、「システム管理者」のほかに、学校側向けに「設置者」、「学校」、「学科」の管理者のアカウントを設ける予定です。一方、一般利用者側(学校側でない側)には、基本的に編集権限は一切持たない(参照のみ)アカウントを発行する予定です。 アカウントの権限の設定に関するご意見・ご要望を下欄にご記入ください。
- C2 実験システムでは、通常のセキュリティレベルのレンタルサーバの中に、qaphe.com ドメインがあり、このドメインのサブドメインとして、

portraits.qaphe.com

をデータベースサーバーとして構築し、実験システムのアプリケーションやデータベースを配置しています。Web サイトを乗っ取るといった不正アクセスには標準以上のセキュリティレベルで対応していますが、各校の「基本情報」を預かる状況になった場合、現在のレベル以上のセキュリティが必要になるかもしれません。そのような外部からの不正アクセスに対するセキュリティレベルに関するご意見・ご要望を下欄にご記入ください(外部からの不正アクセスの中にはウイルスなども含めてお考えください)。

C3 C2 で記述した通り、実験システムは、通常のレンタルサーバ上に構築しており、 qaphe.com のホームページの利用者には迷惑をかけないようにとの配慮の下、一般より やや高いレベルのパフォーマンス(アクセス速度等)の契約としています。本番システムとなれば、全国で数千もの職業実践専門課程があり、そのような中で各校はデータの

編集を行うとともに、一般利用者も一定の頻度でアクセスをしてくることになります。 そのような本番状況を想定したときのサーバーの<u>バフォーマンスレベル</u>に関するご意 見・ご要望を下欄にご記入ください。

以上で、標準的に想定したご意見聴取の項目は終了です。以下、まったくご自由に、この種のシステムの在り方や、職業実践専門課程としての情報公開・情報提供にかかわるご意見など、ご記入いただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度文部科学省

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業

職業実践専門課程に相応しい ポートレートシステムの要件定義

事業成果報告書

発行日 平成 31年 3月

発行者 一般社団法人専門職高等教育質保証機構

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス 3F

■禁無断転載■